

# 相互運用 g サーバー操作マニュアル

2017/03/27

Version 2.4.1

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

## 変更履歴

バージョン	リリース日付	変更内容
1.0.0	2008/12/20	新規作成
1.1.0	2009/04/27	画面遷移追加、誤字修正
1.1.1	2009/07/10	図表更新、文言修正
1.1.2	2009/08/31	文言修正
1.1.3	2009/09/17	備考追加
2.0.0	2011/02/23	WCS マップ追加、選択マップ追加、スタイル設定追加
2.0.1	2011/09/27	スタイル設定修正、背景地図設定追加
2.1.0	2012/03/08	KML 登録マップ追加
2.1.1	2013/03/10	時系列マップ追加、文言修正
2.2.0	2013/07/10	レイヤーデータ編集追加、引用レイヤー追加
2.3.0	2014/10/31	SOS 機能追加
2.3.1	2015/10/01	クリアリングハウスのログインユーザー設定機能追加
2.3.1	2016/09/15	アップロード画面の送信済みファイル選択の修正
2.4.0	2017/01/30	ベクトルレイヤーに GeoJSON の登録機能を追加 時系列データ登録機能にタイムゾーン設定の追加 動作環境を Java8 に変更
2.4.1	2017/03/27	ベクトルレイヤーの定期更新機能の追加

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 利用申請と認可 .....	1
2.1. システム利用申し込み .....	1
3. システムの説明 .....	2
3.1. 各管理ページ .....	3
3.1.1. ログインページ .....	3
3.1.2. マップ管理ページ .....	4
3.1.3. データ登録マップ管理ページ .....	7
3.1.4. ユーザー選択マップ管理ページ .....	10
3.1.5. 設定管理ページ .....	12
3.1.6. プレビュー一覧画面 .....	15
3.2. マップ管理 .....	16
3.2.1. 地図一覧表 .....	16
3.2.2. 地図管理 .....	17
3.2.3. 新規マップ作成フォーム選択 .....	18
3.2.4. データ登録型マップ作成 .....	19
3.2.5. ユーザー選択マップの作成 .....	20
3.3. カテゴリ管理 .....	21
3.3.1. カテゴリ新規作成 .....	21
3.3.2. カテゴリ管理 .....	22
3.3.3. カテゴリ編集 .....	23
3.4. ベクトルマップ管理 .....	25
3.4.1. 基本情報設定 .....	25
3.4.2. アイコン管理 .....	26
3.4.3. マップ共有設定 .....	28
3.4.4. シェープファイルアップロード .....	29
3.4.5. シェープファイルアップロードファイル確認 .....	31
3.4.6. GeoJSON アップロード .....	33
3.4.7. GeoJSON アップロード確認 .....	34
3.4.8. レイヤー編集 .....	36
3.4.9. 共有マップからレイヤー引用 .....	38
3.4.10. メタデータ編集 .....	39
3.4.11. 問い合わせ先引用 .....	46
3.4.12. エディタ編集 .....	48
3.4.13. 出力確認 .....	49
3.5. ベクトルレイヤー管理 .....	50
3.5.1. レイヤー並び順変更 .....	50
3.5.2. レイヤー設定 .....	51
3.5.3. 属性設定 .....	52
3.5.4. 時系列設定 .....	53
3.5.5. データ編集 .....	54
3.5.6. 定期更新設定 .....	56

3.5.7.	凡例設定 .....	59
3.5.8.	スタイル設定 .....	60
3.5.9.	スタイル描画設定一覧.....	62
3.5.10.	スタイル自動描画設定.....	68
3.5.11.	スタイルエディタ .....	71
3.5.12.	メタデータ設定 .....	72
<b>3.6.</b>	<b>ラスターマップ管理 .....</b>	<b>73</b>
3.6.1.	基本情報設定 .....	73
3.6.2.	マップ公開管理 .....	74
3.6.3.	アップロード .....	74
3.6.4.	レイヤー編集 .....	76
3.6.5.	メタデータ編集 .....	77
3.6.6.	出力確認 .....	77
<b>3.7.</b>	<b>WCS マップ管理.....</b>	<b>78</b>
3.7.1.	基本情報管理 .....	78
3.7.2.	マップ公開管理 .....	78
3.7.3.	アップロード .....	79
3.7.4.	レイヤー編集 .....	81
3.7.5.	メタデータ編集 .....	82
3.7.6.	出力確認 .....	82
<b>3.8.</b>	<b>WCS レイヤー管理 .....</b>	<b>83</b>
3.8.1.	レイヤー並び順変更 .....	83
3.8.2.	レイヤー設定 .....	84
3.8.3.	凡例設定 .....	85
3.8.4.	スタイル設定 .....	85
3.8.5.	スタイル描画設定 .....	87
3.8.6.	スタイル自動描画設定.....	88
3.8.7.	スタイルエディタ .....	90
3.8.8.	メタデータ設定 .....	90
<b>3.9.</b>	<b>KML マップ管理.....</b>	<b>91</b>
3.9.1.	基本情報管理 .....	91
3.9.2.	マップ公開管理 .....	91
3.9.3.	アップロード .....	92
3.9.4.	レイヤー編集 .....	93
3.9.5.	メタデータ編集 .....	93
<b>3.10.</b>	<b>KML レイヤー管理 .....</b>	<b>94</b>
3.10.1.	レイヤー設定 .....	94
3.10.2.	更新設定.....	95
3.10.3.	凡例設定.....	96
3.10.4.	メタデータ設定.....	96
<b>3.11.</b>	<b>時系列マップ管理 .....</b>	<b>97</b>
3.11.1.	基本情報管理 .....	97
3.11.2.	マップ公開管理.....	97
3.11.3.	レイヤー登録 .....	98
3.11.4.	レイヤー編集 .....	102
3.11.5.	メタデータ編集.....	103
3.11.6.	出力確認.....	103
<b>3.12.</b>	<b>時系列レイヤー管理.....</b>	<b>104</b>
3.12.1.	レイヤー設定 .....	104

3.12.2.	時系列一覧 .....	106
3.12.3.	取得設定 .....	107
3.12.4.	凡例設定 .....	109
3.12.5.	スタイル設定 .....	110
3.12.6.	スタイル描画設定 .....	111
3.12.7.	スタイル自動描画設定 .....	112
3.12.8.	スタイルエディタ .....	113
3.12.9.	メタデータ設定 .....	113
3.13.	<b>SOS マップ管理</b> .....	114
3.13.1.	基本情報設定 .....	114
3.13.2.	ログ表示 .....	115
3.13.3.	レイヤー編集 .....	117
3.13.4.	メタデータ編集 .....	118
3.14.	<b>SOS レイヤー管理</b> .....	119
3.14.1.	レイヤー設定 .....	119
3.14.2.	属性設定 .....	119
3.14.3.	凡例設定 .....	120
3.14.4.	スタイル設定 .....	120
3.14.5.	プレビュー .....	124
3.15.	<b>ユーザー選択マップ管理</b> .....	126
3.15.1.	基本情報設定 .....	126
3.15.2.	レイヤー一覧 .....	127
3.15.3.	利用可能なマップ一覧 .....	128
3.15.4.	レイヤー追加フォーム .....	129
3.15.5.	メタデータ .....	129
3.16.	<b>設定画面</b> .....	130
3.16.1.	ユーザー設定 .....	130
3.16.2.	ユーザー新規登録 .....	131
3.16.3.	ユーザー編集 .....	132
3.16.4.	パスワード変更 .....	133
3.16.5.	ユーザー削除 .....	134
3.16.6.	問い合わせ先設定 .....	134
3.16.7.	新規問い合わせ先作成 .....	135
3.16.8.	問い合わせ先編集 .....	136
3.16.9.	背景地図設定 .....	137
3.16.10.	背景地図追加 .....	138
3.16.11.	クリアリングハウス設定 .....	139
3.16.12.	クリアリングハウスユーザー設定 .....	139
3.16.13.	gサーバー設定 .....	141
3.16.14.	マップ情報一覧 .....	142
3.17.	<b>プレビュー画面</b> .....	143
4.	<b>備考</b> .....	145
4.1.	対応フォーマット .....	145
4.2.	投影法 .....	146

## 1. はじめに

本操作マニュアルは、相互運用 g サーバーの利用方法に関して記述するものである。

## 2. 利用申請と認可

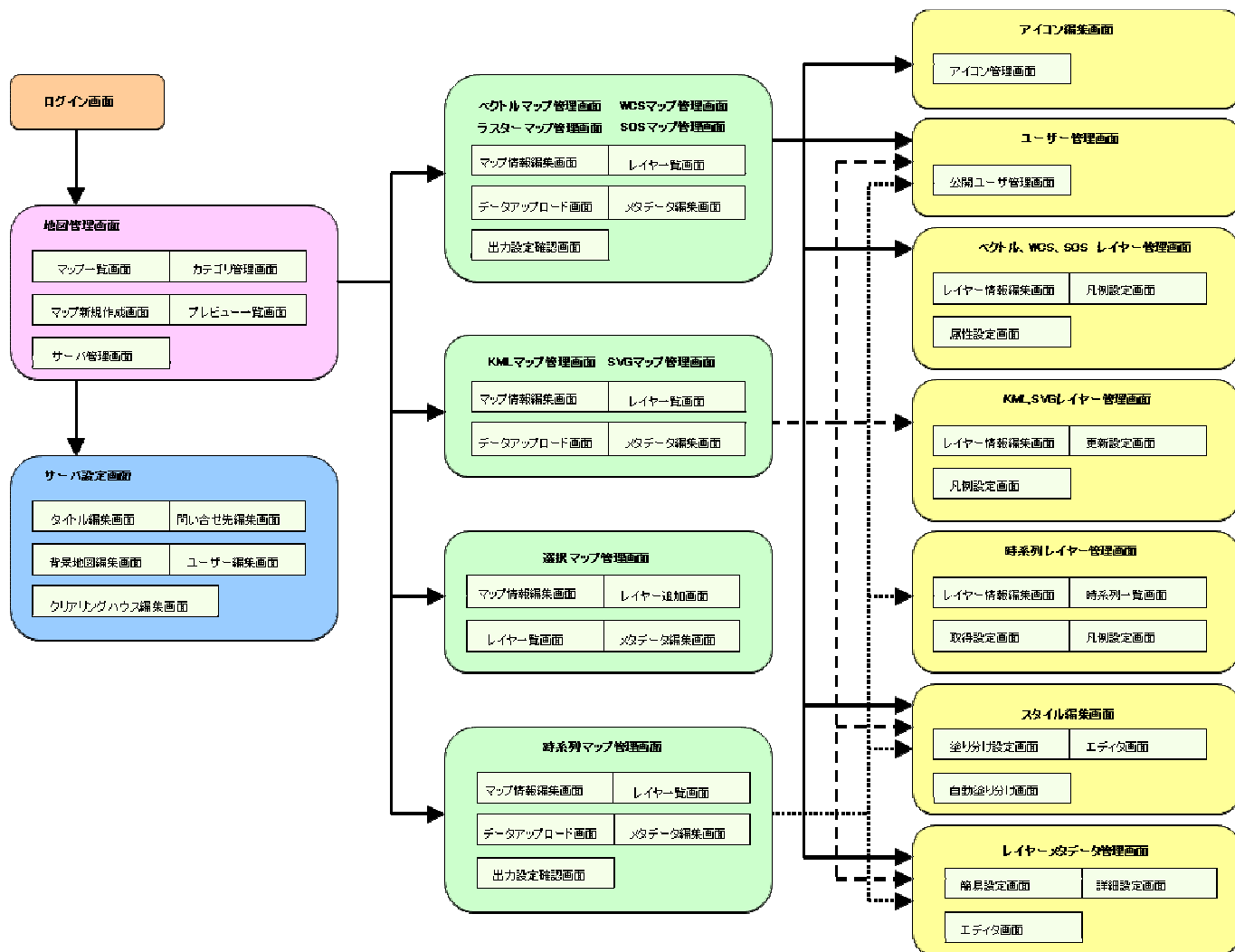
### 2.1. システム利用申し込み

相互運用 g サーバーの利用には事前のユーザー設定が必要なため、利用者はシステム管理者に対して、所定の方法で利用申請を行う必要があります。

利用申請を行うと、管理画面の URL の連絡と利用者毎に ID とパスワードの発行が行われますので、利用者はその ID とパスワードで、「3.1.1 ログインページ」でシステムへのログインを行います。

### 3. システムの説明

#### 画面遷移



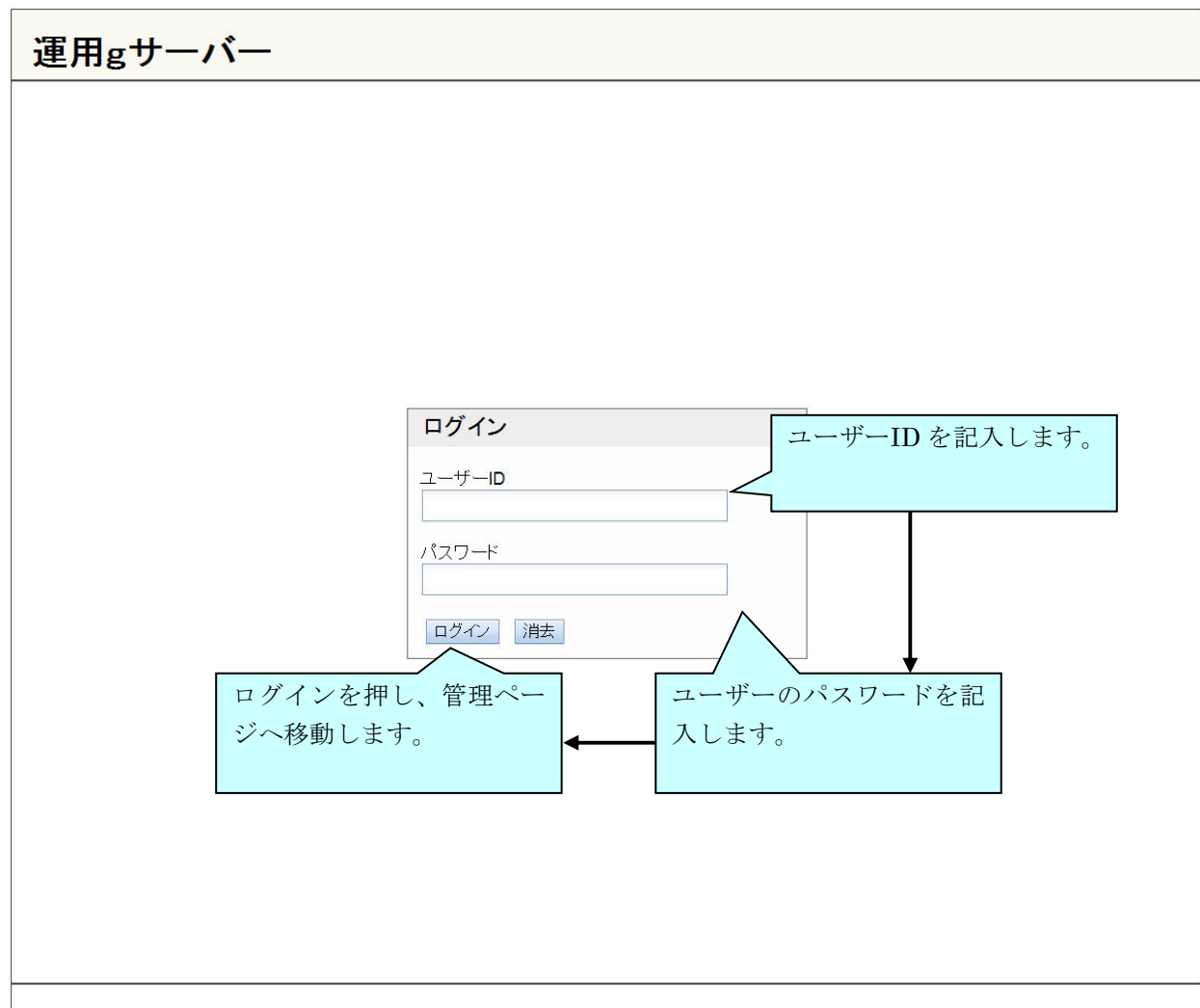
### 3.1. 各管理ページ

#### 3.1.1. ログインページ

利用申請時に連絡された相互運用 g サーバーのリンクを Web ブラウザで表示します。

ログイン画面で管理者から与えられた「ユーザーID」「パスワード」を記入し、管理画面にログインします。

<操作説明>



#### 操作手順

- 1) 管理者から与えられたユーザー名（英数字）を入力します。
- 2) パスワードを入力します。（大文字と小文字に注意してください）
- 3) 「ログイン」ボタンを押し、運用 g サーバーにログインします。



### 3.1.2. マップ管理ページ

マップ管理ページでは、登録するデータごとに分かれたマップの管理画面を表示します。マップの作成、マップの編集ページへの移動、マップの削除を行います。

作成できるマップの一覧

- ・ベクトルマップ
- ・ラスターマップ
- ・WCS マップ
- ・KML マップ
- ・時系列マップ
- ・SOS マップ
- ・ユーザー選択マップ

#### <操作説明>

The screenshot shows the '相互運用サーバ' (Interoperable Server) interface. The main content is a table of registered maps. Callouts provide the following instructions:

- 登録した地図 ID・タイトル・日時からマップを検索します。** (Search for maps by registered map ID, title, and date/time.)
- ▲▼で登録マップ一覧表の並び順を変更します。** (Change the sort order of the registered map list with ▲▼.)
- ログインユーザー名を表示します。ログアウト、設定画面への移動を行います。** (Display the login user name. Perform logout and move to the settings page.)
- 選択した種類のマップのみ表示します。マップの新規作成、カテゴリの管理を行います。** (Display only maps of the selected type. Perform new map creation and category management.)
- 登録マップへのデータの追加・編集、操作を行うページへ移動します。** (Move to the page for adding/editing data to the registered map.)
- マップと、マップに登録されているデータを全て削除します。** (Delete the map and all data registered to the map.)

地図ID	タイトル	編集	更新日	作成日	プレビュー	ユーザー	削除
select	select1	編集	2012年 06月27日	2012年 06月27日	表示	アドミン	削除
raster2	raster	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
wcs2	wcs	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
kml2	kml	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
wcs	wcs1	編集	2012年 06月28日	2012年 06月27日	表示	アドミン	削除
ame1	あめりか	編集	2013年 01月17日	2013年 01月17日	表示	アドミン	削除
bosai1	防災マップ	編集	2013年 02月20日	2013年 02月20日	表示	アドミン	削除
svg	svg	編集	2013年 03月05日	2013年 03月05日	表示	アドミン	削除
test2	test2	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
test3	test3	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
test4	test4	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
test5	test5	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
test6	test6	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
test7	test7	編集	2013年 03月12日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
vector2	vector	編集	2013年 03月15日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
raster1	raster	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
vector1	vector	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
vector	vector	編集	2012年 06月28日	2012年 06月28日	表示	アドミン	削除
testraster	testraster	編集	2013年 03月20日	2013年 03月20日	表示	アドミン	削除
usersselect	usersselect	編集	2013年 03月20日	2013年 03月20日	表示	アドミン	削除
test1	test1	編集	2013年 03月20日	2013年 03月12日	表示	アドミン	削除
testuser	testuser	編集	2013年 03月20日	2013年 03月13日	表示	アドミン	削除
kml	kml1	編集	2013年 03月20日	2012年 06月27日	表示	アドミン	削除
user1	user1	編集	2013年 03月21日	2013年 03月21日	表示	アドミン	削除
user2	user2	編集	2013年 03月21日	2013年 03月21日	表示	アドミン	削除
user3	user3	編集	2013年 03月21日	2013年 03月21日	表示	アドミン	削除
user4	user4	編集	2013年 03月21日	2013年 03月21日	表示	アドミン	削除

<画面説明>

1) 検索

各マップの「地図 ID」・「タイトル」を検索します。

検索文字列は、スペース・カンマで区切ることで、複数指定できます。

登録マップ一覧表で検索条件に一致したマップが表示されます。








日時検索にチェックを入れることで、地図の更新日、作成日でフィルタリングできます。

2) 登録マップ一覧表

登録した各マップの「作成日」・「地図 ID」・「タイトル」・「編集」ページへのリンク・「削除」ボタンを表示します。

「更新日時」・「作成日」・「地図 ID」・「タイトル」・「ユーザー」にある「▲」「▼」をクリックすることで、マップを昇順・降順で並び替えます。

地図 ID のアイコンはマップの種類を表しています。

-  ベクトルマップ
-  ラスタマップ
-  WCS マップ
-  KML マップ
-  時系列マップ
-  SOS マップ
-  ユーザー選択マップ

- 3) 編集  
基本情報の編集、レイヤーの登録・管理、メタデータの編集を行い、マップ情報の操作を行います。
- 4) プレビュー  
「レビュー」はマップの表示を確認します。
- 5) ユーザー名  
表示されているユーザー名をクリックすることで、ユーザーが作成したマップのみを表示します。
- 6) 削除  
「削除」ボタンは、マップに登録された「レイヤー」・「アイコン画像」・「スタイル設定」・「マップ情報」・「メタデータ」を「マップ」と同時に全て削除します。
- 7) マップ種類別表示  
選択したマップの種類のいずれかを「2) 登録マップ一覧表」に表示します。
- 8) マップ新規作成  
「地図 ID」「タイトル」を記入してマップを新しく作成します。  
データを登録しレイヤーを作成する「ベクトルマップ」「ラスターマップ」「WCS マップ」と、登録されているマップからレイヤーを引用する「ユーザー選択マップ」を作成できます。
- 9) カテゴリ  
「カテゴリ名」を選択することで、そのカテゴリに登録されたマップを「2) 登録マップ一覧表」に表示します。  
「カテゴリ新規作成」はマップを登録するカテゴリを作成します。  
「カテゴリ管理」はカテゴリの情報の編集、マップの登録管理を行います。
- 10) プレビュー一覧  
レビュー一覧画面へ移動します。
- 11) ログインユーザー  
現在ログインしているユーザーを表示します。  
「設定」 運用 g サーバーの設定画面へ移動します。  
「ヘルプ」 ヘルプ画面を表示します。  
「ログアウト」 運用 g サーバーからログアウトします。

### 3.1.3. データ登録マップ管理ページ

データ登録マップ管理ページでは、「ベクトルマップ」「ラスターマップ」「WCS マップ」「KML マップ」「時系列マップ」の基本情報の編集、レイヤーの管理、データのアップロード、メタデータの編集登録を行います。

「ベクトルマップ」はシェープファイル、GeoJSON、「ラスターマップ」「WCS マップ」は GeoTIFF、ワールドイメージ、「KML マップ」は KML、KMZ をアップロードする事で、レイヤーを追加します。

「時系列マップ」では FTP もしくはローカルのフォルダを定期的に参照して、作成されたレイヤーに時系列データを登録します。

メタデータの作成を行い、マップの情報をクリアリングハウスへ登録を行います。

#### <操作説明>

**相互運用gサーバ** 名前: ユーザー名  
設定 ヘルプ ログアウト

地図管理  
マップ一覧  
ベクタ  
ラスター  
WCS  
KML  
SVG  
時系列  
選択マップ  
マップ新規作成  
カテゴリ一覧  
cat1  
カテゴリ1  
カテゴリ新規作成  
カテゴリ管理  
プレビュー  
プレビュー一覧

**マップ設定画面** <<マップ一覧に戻る

マップタイトル: test

WMS Capabilities: <http://gserver.digitalearth-lab.net/gserver/wmscapabilities?id=vector>

WFS Capabilities: <http://gserver.digitalearth-lab.net/gserver/wfscapabilities?id=vector>

基本情報設定 | アップロード | レイヤー編集 | メタデータ | 出力形式一覧

マップ詳細情報編集

キーワード:

MinY: 34.671421  
MaxY: 35.466866

マップ公開設定  
他のユーザーへのマップ公開設定を行います。  
マップ公開設定

**Annotations:**

- マップのタイトル、Capabilities を取得する URL を表示します。
- タブをクリックする事で、マップの管理を行うページを表示します。
- マップの管理を行う画面を表示します。「基本情報設定」「レイヤー編集」「アップロード」「メタデータ」「出力形式一覧」

<画面説明>

- 1) マップタイトル  
編集中のマップのタイトルを表示します。
- 2) Capabilities  
マップで出力できる WMS・WFS・WCS の Capabilities の URL を表示します。
- 3) 基本情報設定  
マップの「タイトル」や「説明」等の情報を編集します。  
「公開設定」を行う事で、「マップの作成者」「管理者」以外の人にもマップ編集画面が観覧できるか設定します。  
ベクトルマップでは「アイコン管理」を行います。
- 4) アップロード  
データをアップロードする事でマップにレイヤーを追加します。  
データはブラウザからのアップロード、FTP を利用してあらかじめアップロードしたデータから登録できます。  
「時系列マップ」では「レイヤー登録」となります。

- 5) レイヤー編集  
登録されているレイヤーの管理を行います。  
基本情報」「属性データ」「凡例」「表示設定」「レイヤーのメタデータ」の編集を行います。
- 6) メタデータ  
マップのメタデータを作成し、地図情報クリアリングハウスへ登録します。
- 7) 出力形式一覧  
レイヤーが出力できる形式の一覧を表示します。  
「KML マップ」では表示されません。
- 8) 表示画面  
選択されたタブのページが表示されます。

### 3.1.4. ユーザー選択マップ管理ページ

ユーザー選択マップ管理ページでは、既に登録されているマップからレイヤーを引用しとめます。

「編集者」の権限のユーザーは、自分が作成したマップ、もしくは引用元のマップにおいて「公開設定」で公開するように設定されているマップからレイヤーを引用できます。

#### <操作説明>

運用gサーバ1

ログインユーザ: admin

設定 ヘルプ ログアウト

地図管理

- マップ一覧
- バック
- ラスタ
- WCS
- 選択マップ
- マップ新規作成
- カテゴリ一覧
  - newCat
  - newCat2
  - newCat3
  - test1
  - test4
  - test6
  - test7
  - test8
  - test9
  - cat1a
- カテゴリ新規作成
- カテゴリ管理
- プレビュー
- プレビュー一覧

マップ設定画面 <<マップ一覧に戻る

マップタイトル	ユーザテスト1
WMS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wmscapabilities?id=us
WFS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wfscapabilities?...
WCS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wcscapabilities?id=us

基本情報設定 レイヤー一覧 レイヤー追加 メタデータ

マップ詳細情報編集

test3です

キーワード

\*単語と単語の間を"カンマ"で区切って下さい。(例 防災 建物 避難)

nY: 33.622121  
35.727879

マップのタイトル、Capabilitiesを取得する URL を表示します。

タブをクリックする事で、マップの管理を行うページを表示します。

マップの管理を行う画面を表示します。「基本情報設定」「レイヤー一覧」「レイヤー追加」「メタデータ」

<画面説明>

運用gサーバ1

ログインユーザ: admin  
設定 ヘルプ ログアウト

地図管理  
マップ一覧  
バック  
リスト  
WCS  
選択マップ  
マップ新規作成  
カテゴリ一覧  
newCat  
newCat2  
newCat3  
test1  
test4  
test6  
test7  
test8  
test9  
cat1a  
カテゴリ新規作成  
カテゴリ管理  
プレビュー  
プレビュー一覧

マップ設定画面 <<マップ一覧に戻る

マップタイトル	ユーザテスト1
WMS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wmscapabilities?id=user1
WFS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wfscapabilities?id=user1
WCS Capabilities	http://gserver.digitalearth-lab.net/geoserver/wcscapabilities?id=user1

基本情報設定 レイヤー一覧 レイヤー追加 メタデータ

マップ詳細情報編集

ID: user1

タイトル\*必須: ユーザテスト1

説明: testa

キーワード: test3です

\*単語と単語の間を"/"で区切って下さい。(例 防災 建物 避難)

範囲: MinX: 131.107779 MinY: 33.622121  
MaxX: 139.501801 MaxY: 35.727879  
範囲取得

更新 リセット

- 1) マップタイトル  
編集中のマップのタイトルを表示します。
- 2) Capabilities URL  
Capabilities の URL を表示します。
- 3) 基本情報設定  
マップの「タイトル」や「説明」等の情報を編集します。
- 4) レイヤー一覧  
引用したレイヤーの一覧を表示します。「削除」ボタンは引用を削除しますが、引用元のレイヤーは削除されません。
- 5) レイヤー追加  
利用できるマップの一覧が表示されます。マップのレイヤーを選択し追加を行います。
- 6) メタデータ  
マップのメタデータを作成し、地図情報クリアリングハウスへ登録します。
- 7) 管理ページ表示  
選択されたタブのページが表示されます。



### 3.1.5. 設定管理ページ

設定管理画面ではユーザーの管理、問合せ先の管理、タイトルの編集を行います。  
新たにユーザー登録を行い、管理権限の変更やパスワードの変更を行います。  
問合せ先を作成する事で、マップのメタデータの問い合わせ先の引用元として利用できます。  
背景地図を登録することで、プレビュー画面の背景地図を編集します。

#### <操作説明>

相互運用サークル マップ管理ページへ戻ります。 名前: アドミン 設定 ヘルプ ログアウト

設定画面 <<マップ一覧に戻る

ユーザー設定 | 問い合わせ先設定 | タイトル設定 | 背景地図設定 | クリアリングハウス設定 | マップ情報一覧

ユーザー設定

タブをクリックする事で、設定の管理ページを表示します。

ユーザー一覧

登録されているユーザーを表示します。

ログインID	ユーザー名	役割	登録マップ一覧	編集	削除
admin	アドミン	管理者	ダウンロード	編集	
manager	マネージャー	管理者	ダウンロード	編集	削除

「ユーザー設定」「問い合わせ先設定」「タイトル設定」「背景地図編集」「クリアリングハウス編集」「マップ情報一覧」設定画面を表示します。

<画面説明>

相互運用gサーバ 名前: admin

設定画面 << マップ一覧に戻る

ユーザー設定 問い合わせ先設定 背景地図設定 クラスタリングハウス設定 サーバ設定 マップ情報一覧

### ユーザー登録

データの登録・閲覧を行うユーザを登録します。

新規ユーザ追加

### ユーザー一覧

登録されているユーザを表示します。

ログインID	ユーザ名	役割	登録マップ一覧	編集	削除
admin	アドミン	管理者	<a href="#">ダウンロード</a>	編集	
edituser	編集者	管理者	<a href="#">ダウンロード</a>	編集	削除

9

- 1) タイトル  
「タイトル設定」で設定されたタイトルが表示されます。
- 2) マップ一覧へ戻る  
マップ管理画面へ移動します。
- 3) ユーザー設定  
ユーザーの管理を行います。  
ユーザー名とパスワードを入力し権限を指定して、ユーザーを新規に「登録」します。  
登録されたユーザーはパスワードと権限を編集します。  
ユーザーの登録を削除した場合、そのユーザーの作成したマップは「管理者」の権限を持ったユーザーのみ編集できます。
- 4) 問い合わせ先設定  
メタデータを作成する際に引用できる、問い合わせ先の管理を行います。  
必要事項を記入し問い合わせ先を「新規作成」します。作成された問い合わせ先の編集を行います。

- 5) 背景地図編集  
プレビュー地図の背景地図の「追加」「編集」を行います。
- 6) クリアリングハウス編集  
メタデータを登録するクリアリングハウスの設定を編集します。防災科学技術研究所がリリースしている災害リスク情報クリアリングハウスの API の URL を入力してください。  
詳しくは災害リスク情報クリアリングハウスのドキュメントをご覧ください。
- 7) g サーバー設定編集  
相互運用 g サーバーのタイトル欄に表示されるタイトルの編集を行います。  
時系列データの登録の際に利用するタイムゾーンのデフォルト設定を行います。
- 8) マップ情報一覧  
相互運用 g サーバーに登録されているマップの情報を CSV 形式のテキストでダウンロードします。ログイン中のユーザーが登録を行ったマップのみマップ情報をダウンロードできます。
- 9) 管理ページ表示  
選択されたタブのページが表示されます。

### 3.1.6. プレビュー一覧画面

登録されたマップのプレビュー画面の一覧を表示します。

<操作説明>

運用gサーバー

マッププレビュー一覧 1-30 / 66件

先頭	前	次	後	最後			
地図ID ▲▼	タイトル ▲▼	更新日 ▲▼					
tor	wmstest	wmstest1aaaa	2010年06月30日				
stest	wcstest	2011年01月16日					
	w1						
map	vecMap						
user	user3	ユーザテスト3					
user	user2	ユーザテスト2	2011年02月14日				
user	user1	ユーザテスト1	2011年02月14日				
wcs	testwcs	testwcs	2010年11月11日				
raster	teststras	teststras	2010年11月17日				
vector	test9	test9	2011年02月16日				
vector	test8	test8	2010年11月16日				
vector	test7	tset					
vector	test51	test51					
vector	test50	test550					
vector	test5	test5	2010年06月30日				
vector	test49	test49	2011年01月24日				
vector	test48	test48	2010年06月30日				
vector	test47	test47	2010年06月30日				
vector	test46	test46	2010年06月30日				
vector	test45	test45	2010年06月30日				
vector	test44	test44	2010年06月30日				
vector	test43	test43	2010年06月30日				
vector	test42	test42	2010年06月30日				
vector	test41	ret	2010年06月30日				
vector	test40	test40	2010年06月30日				
vector	test4	test4	2010年06月30日				
vector	test39	test39	2010年06月30日				
vector	test38	test38	2010年06月30日				
vector	test37	test37	2010年06月30日				

マップの一覧の表のページを切り換えます。

▲▼でマップの並び順を降順、昇順で切り換えます。

マップのタイトルからプレビューを表示します。

## 3.2. マップ管理

マップ管理画面では、マップの一覧表と各管理画面への遷移を行います。

### 3.2.1. 地図一覧表

登録されている地図の一覧表が表示され、地図の編集、プレビュー、削除を行います。表は昇順、降順で並び替えが出来ます。また、地図の検索を行います。

1. 検索  
登録されたマップを検索し、一覧表に検索結果を表示します。

2. 並び替え  
▲▼を押す事で、表を昇順、降順で並び替えます。

3. マップの種類  
登録されたマップの形式を表示します。

4. マップ編集  
マップの編集ページを表示します。

5. プレビュー・ユーザー・削除  
プレビューの表示、ユーザーソート、マップの削除を行います。

地図ID	タイトル	編集	更新日	作成日	プレビュー	ユーザー	削除
ame1	あめりスク	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
bosai1	防災マップ	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
kml	kml1	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
kml2	kml	編集	2012年06月28日	2012年06月28日	表示	アドミン	削除
raster	raster1	編集	2013年03月16日	2012年06月27日	表示	アドミン	削除
raster2	raster	編集	2012年06月28日	2012年06月28日	表示	アドミン	削除
select	select1	編集	2012年06月27日	2012年06月27日	表示	アドミン	削除
svg	svg	編集	2013年03月05日	2013年03月05日	表示	アドミン	削除
test1	test1	編集	2013年03月20日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
test2	test2	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
test3	test3	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
test4	test4	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除
test5	test5	編集	2013年03月12日	2013年03月12日	表示	アドミン	削除

#### 操作手順

##### 1) 検索

登録されたマップの ID、タイトルを入力した文字列で検索します。検索結果はマップの一覧表に検索結果が表示されます。

日時検索にチェックを入れることで、検索の開始日、終了日を設定できます。マップの更新日、作成日の範囲を指定して検索できます。

##### 2) 並び替え

「地図 ID」「タイトル」「更新日」「作成日」の横にある▲▼を押す事で、降順、昇順で表を並び替えます。

##### 3) マップの種類

地図の種類を表示します。「[地図管理](#)」のマップ一覧を利用する事で、マップの種類別に地図一覧の表示が出来ます。

##### 4) マップ編集

マップの管理画面へ移動します。

「編集」はログインユーザーが、「マップの作成者」「管理者」であれば常に表示されます。

「マップの基本情報設定」において、公開設定でないユーザーは「編集」が表示されません。

## 5) プレビュー、ユーザー、削除

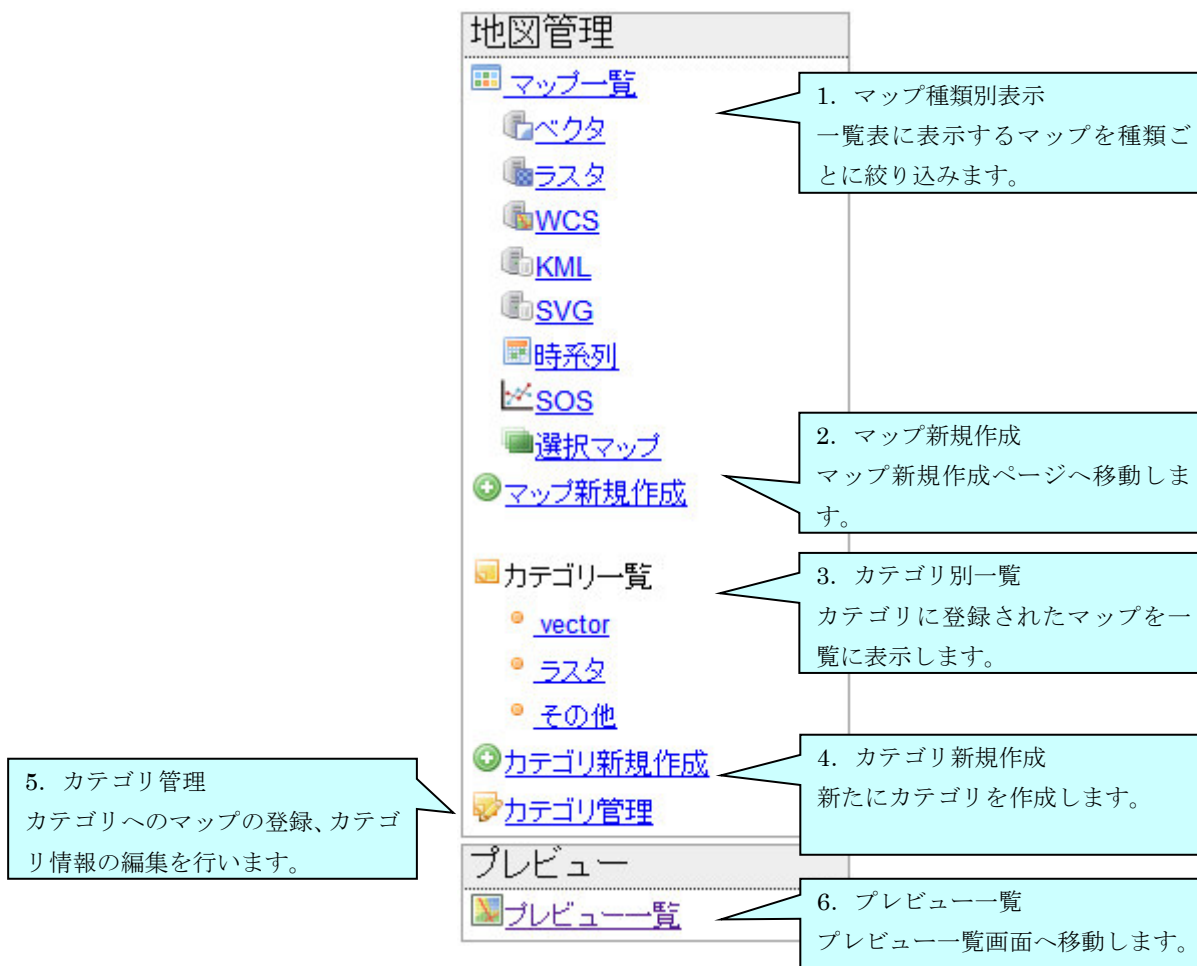
「プレビュー」はマップの全体プレビューを別画面で表示します。

「ユーザー」は作成したユーザーごとのマップを表示します。

「削除」はログインユーザーが、「マップの作成者」「管理者」の場合のみ表示されます。

### 3.2.2. 地図管理

マップ管理の左側に表示されます。



#### 操作手順

##### 1) マップ種類別表示

マップの種類別に絞り込んで、マップ一覧表に表示します。

- ベクトルマップ
- ラスターマップ
- WCS マップ
- KML マップ
- 時系列マップ
- SOS マップ
- 選択マップ

「マップ一覧」は全てのマップを表示します。

##### 2) マップ新規作成

マップの新規作成ページへ移動します。

### 3) カテゴリ別一覧

作成されたカテゴリの一覧が表示されます。カテゴリ名を選択するとマップの一覧表に、そのカテゴリに登録されているマップが表示されます。

### 4) カテゴリ新規作成

カテゴリの新規作成ページへ移動します。

### 5) カテゴリ管理

カテゴリ管理ページへ移動します。

### 6) プレビュー一覧

プレビュー一覧ページを別画面で表示します。

## 3.2.3. 新規マップ作成フォーム選択

作成するマップの選択を行います。

### データ登録マップの作成

データをアップロードすることで、レイヤを追加するマップを作成します。  
登録するデータに応じて、ベクター、ラスター、WCS、KML、SVG、時系列のマップを作成します。

[マップ作成ページ](#)

#### 1. データ登録マップ選択

データをアップロードまたは登録設定を行い、レイヤーを登録するマップを作成します。

### ユーザ選択マップの作成

公開されているマップから登録済みのレイヤを引用し地図を作成します。  
このマップではデータを登録する事は出来ません。ベクターマップ、WCSマップからのみ地図を引用できます。

[マップ作成ページ](#)

#### 2. ユーザー選択マップ

作成されたマップからレイヤーを引用することで、一つにまとめるマップを作成します。

### 1) データ登録マップ選択

データをアップロードまたは登録設定を行う事で、レイヤーを登録するマップを作成します。  
「ベクトルマップ」「ラスターマップ」「WCS マップ」「KML マップ」「時系列マップ」を作成する際は、こちらの「マップ作成ページ」ボタンを選択して下さい。

### 2) ユーザー選択マップ

既存のマップからレイヤーを引用する事で、別マップのレイヤーをまとめて表示するマップを作成します。

このマップは「ベクトルマップ」「WCS マップ」からのみレイヤーを引用できます。

### 3.2.4. データ登録型マップ作成

マップ作成画面では、「ベクトルマップ」「ラスターマップ」「WCS マップ」「KML マップ」「時系列マップ」「SOS マップ」の作成を行います。

マップ新規作成

マップ選択:

- ベクターマップ  
ベクトルデータをWMS,WFSで配信するマップを作成します。
- ラスターマップ  
画像データをWMSで配信するマップを作成します。主に航空写真等、カラーの画像をアップロードします。
- WCSマップ  
画像データをWMS,WCSで配信するマップを作成します。主にグレースケールのデータをアップロードします。
- KMLマップ  
KMLデータをWMS配信するマップを作成します。
- SVGマップ  
SVGデータをWMS配信するマップを作成します。
- 時系列マップ  
時系列データをWMS,WCSで配信するマップを作成します。
- SOSマップ  
SOS(Sensor Observation Service)データをWMS, WFSで配信するマップを作成します。  
\*必ずいずれかのマップを選択して下さい。

地図ID:  \*英数小文字で記入して下さい。

タイトル:  \*地図の名称を記入して下さい。

新規マップ作成

1. マップ選択  
どのマップを作成するか選択して下さい。マップごとにアップロードするデータが変わります。

2. 地図 ID, タイトル記入  
地図 ID とマップのタイトルを記入します。必ず記入して下さい。

3. 新規作成  
マップを新規作成します。

#### 操作手順

##### 1) マップ選択

新規作成するマップを選択して下さい。

##### 📁 「ベクトルマップ」

シェープファイル、GeoJSON をアップロードすることで、レイヤーを登録するマップを作成します。作成されたレイヤーは、WMS、WFS 形式で配信されます。

##### 📁 「ラスターマップ」

座標系を持ったラスター画像を登録します。主に航空写真等、複数の色情報を持ったカラー画像を登録します。

ラスターマップでは一つのマップに一つのレイヤーのみ登録できます。そのため、複数の画像を登録した際は一つのレイヤーとしてまとめられます。

作成されたレイヤーは WMS 形式で配信されます。

##### 📁 「WCS マップ」

座標系を持ったラスター画像を登録します。主にグレースケールや白黒画像を登録します。

WCS マップでは複数のレイヤーを登録できますが、一つのレイヤーにつき一枚の画像を登録します。作成されたレイヤーは、WMS、WCS 形式で配信されます。

##### 📁 「KML マップ」

KML, KMZ ファイルをアップロードすることで、レイヤーを登録するマップを作成します。

作成されたレイヤーは、WMS 形式で配信されます。

##### 📅 「時系列マップ」

時系列データを定期的を取得し、登録したレイヤーに追加するマップを作成します。

作成されたレイヤーは、WMS、WCS 形式で配信されます。

##### 📡 SOS マップ

SOS (Sensor Observation Service) データを定期的を取得し、レイヤーに追加するマップを作成し



ます。

作成されたレイヤーは、WMS、WFS 形式で配信されます。

## 2) 地図 ID, タイトル記入

「地図 ID」

固有の ID となりますので、他のマップとの重複は出来ません。

使用できる文字は半角英数字のみです。数字で始まる ID は WFS の仕様により登録できません。

「タイトル」

地図の名称記入して下さい。

特殊な文字や半角カナは、使用する環境によっては表示できない事があります。タイトルに使用するものは推奨されません。

## 3) 新規作成

マップを新規作成します。

登録内容にエラーがあった場合、エラー原因が表示されます。

### 3.2.5. ユーザー選択マップの作成

このマップの作成画面では、「ユーザー選択マップ」を作成します。

「ベクターマップ」「WCS マップ」に登録されているレイヤーを引用することで、別々のマップのレイヤーを一つのマップとして表示します。

ユーザー選択マップを作成します。

ベクターマップ、WCSマップに登録されているレイヤーを引用し、まとめて表示するマップを作成します。

マップ新規作成	
地図ID:	<input type="text"/> <small>英数小文字で記入して下さい。</small>
タイトル:	<input type="text"/> <small>地図の名称を記入して下さい。</small>
<input type="button" value="新規マップ作成"/>	

1. 地図 ID, タイトル記入  
地図 ID とマップのタイトルを記入します。必ず記入して下さい。

2. 新規作成  
マップを新規作成します。

#### 操作手順

##### 1) 地図 ID, タイトル記入

この項目は必ず記入して下さい。

「地図 ID」

固有の ID となりますので、他のマップとの重複は出来ません。

使用できる文字は半角英数字のみです。数字で始まる ID は WFS の仕様により登録できません。

「タイトル」

地図の名称記入して下さい。

特殊な文字や半角カナは、OS によっては読めないことがありますので、タイトルに使用するものは推奨されません。

##### 2) 新規作成

マップを新規作成します。登録内容にエラーがあった場合、エラー原因が表示されます。

### 3.3. カテゴリ管理

マップをカテゴリごとに分類し、表示するための設定を行います。

#### 3.3.1. カテゴリ新規作成

「3.2.2 地図管理」のカテゴリ新規作成から作成ページを開きます。

##### カテゴリの新規作成

カテゴリ名	<input type="text"/>
説明	<input type="text"/>
<input type="button" value="新規作成"/>	

2. 新規作成  
カテゴリを新規作成します。

1. カテゴリ名、説明記入  
カテゴリの名称と説明を記入します。

##### 操作手順

#### 1) カテゴリ名、説明記入

カテゴリ名は必ず記入して下さい。説明は記入していなくてもカテゴリは作成できます。

「カテゴリ名」

既に使用されているカテゴリ名でも登録できます。

特殊な文字や半角カナは、OS によっては読めないことがありますので、タイトルに使用するの  
は推奨されません。

「説明」

カテゴリの説明です。カテゴリの一覧で表示されます。










#### 2) 新規作成

カテゴリを新規作成します。

登録内容にエラーがあった場合、エラー原因が表示されます。

### 3.3.2. カテゴリ管理

「3.2.2 地図管理」のカテゴリ管理から、カテゴリの一覧を表示します。

カテゴリ一覧				
カテゴリ名	説明	編集	更新日時	削除
test1	test1	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test4	test4	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test6	test6	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test7	test7	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test8	test8	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
test9	test9	 編集	2010年 10月26日	<input type="button" value="削除"/>
cat1a	カテゴリ	 編集	2010年 10月27日	<input type="button" value="削除"/>
atest	atestd	 編集	2010年 10月28日	<input type="button" value="削除"/>
test5	test5a	 編集	2010年 10月28日	<input type="button" value="削除"/>

1. カテゴリ編集  
カテゴリの名称と説明、マップの登録を行う編集画面を開きます。

2. カテゴリ削除  
登録したカテゴリを削除します。

#### 操作手順

##### 1) カテゴリ編集

カテゴリの「名称」「説明」の編集、マップの登録を行う編集ページへ移動します。

##### 2) カテゴリ削除

登録されたカテゴリを削除します。

### 3.3.3. カテゴリ編集

カテゴリの編集を行います。「名称」「説明」の編集、マップの登録、登録解除を行います。

カテゴリ名称	test1
説明	test1
保存	

1. カテゴリ名称、説明記入  
カテゴリの名称と説明を記入します。

1. 保存  
変更した名称と説明を保存します。

#### 操作手順

- 1) カテゴリ名称、説明記入  
カテゴリの「名称」「説明」の変更を記入します。
- 2) 保存  
記入された「名称」「説明」を保存します。

1. 登録済みマップ一覧  
カテゴリに登録されているマップの一覧を表示します。

2. 未登録マップ一覧  
カテゴリに登録されていないマップの一覧を表示します。

3. 追加、削除、全削除  
カテゴリのマップの登録、登録の解除を行います。

マップID▲	タイトル	プレビュー
vector	vector1	

マップID▲	タイトル	プレビュー
ame1	あめリスク	
bosai1	防災マップ	
kml	kml1	
kml2	kml	
mh	MH	
mhstest	test	
mv	MV	
500	PR500	
ster	raster1	
ster2	raster	
500	RR500	
rs500	RS500	
select	select1	
svg	svg	
test1	test1	
test2	test2	
test3	test3	
test4	test4	
test5	test5	
test7	test7	

## 操作手順

### 1) 登録済みマップ一覧

カテゴリに登録されているマップの一覧を表示します。

### 2) 未登録マップ一覧

カテゴリに登録されていないマップの一覧を表示します。

### 3) 追加、削除、全削除

「←追加」

未登録マップ一覧表のチェックボックスが選択されているマップをカテゴリに登録します。

登録されているマップは未登録マップには表示されなくなり、登録済みマップ一覧に表示されます。

「削除→」

登録済みマップ一覧表のチェックボックスが選択されているマップの登録を削除します。

「全削除」

登録済みマップ一覧表に表示されているマップの登録を全て削除します。

### 3.4. ベクトルマップ管理

シェープファイル、GeoJSON をアップロードする事で、ベクトルデータを登録するマップの管理を行います。

#### 3.4.1. 基本情報設定

マップ詳細情報編集

ID	vector
タイトル *必須	vector1
説明	
キーワード	
範囲	MinX: 136.496535 MinY: 34.671421 MaxX: 139.488118 MaxY: 35.704728 <input type="button" value="範囲取得"/>

1. タイトル、説明、キーワード  
「タイトル」「説明」「キーワード」の編集を行います。  
タイトルの記述は必須となります。

2. 四隅の範囲  
マップを表示する全体の範囲を設定します。

3. 更新  
記入された変更を更新します。

#### 1) タイトル、説明、キーワード

マップの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。ここの情報は WMS、WFS の Capabilities に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 四隅の範囲

マップの最大範囲を設定します。任意の数値を登録できます。

「範囲取得」は登録されているレイヤーの範囲を表示します。

#### 3) 更新

記述された内容に従って、マップの情報を更新します。

### 3.4.2. アイコン管理

アイコンの管理は、レイヤーの表示設定で利用されるアイコン、テキストチャの管理を行います。

#### ② アイコン管理

The screenshot shows the 'Icon Management' dialog box with the following components and callouts:

- 1. アイコン管理表示**: アイコン管理フォームを表示します。
- 2. アイコン一覧**: 登録されているアイコンの一覧を表示します。名前欄は編集できます。
- 3. アイコン名称変更**: アイコンの名前を、記述された名前に変更します。
- 4. アイコン削除**: 選択されたアイコンを削除します。
- 5. アイコンのアップロード**: PC内の画像を選択し、アイコンをアップロードします。
- 6. アイコンのコピー**: 他のマップで登録されているアイコンをコピーします。
- 7. 選択されたマップのアイコン一覧**: 他のマップのアイコンを選択します。

画像	サイズ	名前	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	dot_E8B800.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	dot_E8B800.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	line_h.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 4×高さ: 4	line_v.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 4×高さ: 4	line_v.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更
<input type="checkbox"/>	幅: 8×高さ: 8	slash_I_F238A6.gif	名前変更

- 1) アイコン管理表示  
アイコンを管理するフォームをポップアップで表示します。
- 2) アイコン一覧  
登録されているアイコンの一覧とアイコンの情報を表示します。
- 3) アイコン名称変更  
アイコンの名称を記述された名前に変更します。同じ名称がある場合は名前の変更は出来ません。
- 4) アイコン削除  
「選択アイコン削除」から、チェックボックスで選択されているアイコンを削除します。  
アイコン・テキストチャ画像はマップに登録されているレイヤーで共有されています。ここでの操作が他のレイヤーの設定に影響を及ぼすことがあります。

5) アイコンアップロード

「参照」を押して自分のコンピュータのアイコン・テキスト画像を選択して下さい。「画像アップロード」を押すとアップロードされ画像一覧に表示されます。

6) アイコンのコピー

「他のマップで登録されているアイコンを取得する」のチェックボックスを選択します。

「マップ選択」が選択できるようになりますので、「マップ選択」から他のマップを選択します。

アイコンの一覧が表示されますので、チェックボックスを選択し、「選択したアイコンをコピーする」を押してアイコンをコピーします。

同じ名前のアイコンがあった場合、コピーされるアイコンの名前に日付が付け加えられます。

7) 選択されたマップのアイコン一覧

「マップ選択」で選択されたマップのアイコンを表示します。



### 3.4.3. マップ共有設定

ユーザーごとにマップの共有設定を行います。権限が「編集者」のユーザーとマップを共有するか設定します。

The screenshot shows the 'マップ共有設定' (Map Sharing Settings) form. It includes a title bar, a main instruction, a 'マップ共有設定' button, a '一括設定' (Bulk Settings) section with '全ユーザ' (All Users) and radio buttons for '共有' (Share) and '共有しない' (Do not share), an '個別設定' (Individual Settings) table with columns for 'ユーザ名' (User Name) and '共有設定' (Sharing Settings), and a '設定更新' (Update Settings) button at the bottom.

ユーザ名	共有設定
test1	<input checked="" type="radio"/> 共有 <input type="radio"/> 共有しない
test2	<input type="radio"/> 共有 <input checked="" type="radio"/> 共有しない

Callouts in the image:

- 1. マップ共有設定表示  
マップ共有設定フォームを表示します。
- 2. ユーザー表示  
「編集者」権限の他のユーザーを表示します。
- 2. 一括選択  
マップの共有設定を、一括選択します。
- 3. 個別設定  
マップの共有、非共有をユーザーごとに選択します。
- 4. 設定更新  
共有設定を更新します。

#### 1) マップ共有設定表示

マップを他のユーザーに公開するか設定するフォームをポップアップで表示します。

#### 2) 一括選択

「編集者」権限のすべてのユーザーを対象に共有設定を一括選択します。

#### 3) ユーザー表示

「編集者」権限のユーザーの一覧を表示します。

「管理者」権限のユーザーは常に編集可能なため、この一覧には表示されません。

#### 4) 個別設定

初期状態は、全て「共有しない」の設定になっております。「共有」することでマップの観覧を許可します。

#### 5) 更新

マップの共有設定を更新します。

### 3.4.4. シェープファイルアップロード

シェープファイルをアップロードすることでベクトルマップにレイヤーを登録します。

#### 新規レイヤ追加

シェープファイル登録 [GeoJSON登録画面を表示](#)

1. GeoJSON 登録画面  
GeoJSON 登録画面を表示します。

- ・ベクトルデータをアップロードし、レイヤを登録します。  
※シェープファイルは「shp」「shx」「dbf」の3つを、zipファイルに圧縮してアップロードして下さい。  
※複数のシェープファイルを一つのzipファイルに圧縮することで、一度に登録できます。  
※日本測地系データのアップロードは、投影パラメータの修正が必要です。

座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <span>座標系選択</span> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
文字コード	<input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF-8 ※属性ファイルの文字コードを選択します。
タイムゾーン	Asia/Tokyo ※属性にTimestamp型が含まれる場合、タイムゾーンを指定
ファイル選択	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。
	<input type="button" value="アップロード"/>

2. 登録設定  
登録するデータの座標系、属性データの文字コードを選択します。  
属性に Timestamp 型がある場合はタイムゾーンを選択します。

3. ファイル選択  
アップロードするファイルを選択します。

4. 送信  
選択した ZIP ファイルをアップロードします。

- ・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。  
※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。  
※座標系はEPSGコードを記入して下さい。

座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <span>座標系選択</span> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
文字コード	<input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF-8
タイムゾーン	Asia/Tokyo ※属性にTimestamp型が含まれる場合、タイム
ファイル選択	angle.zip
	<input type="button" value="登録"/>

5. 送信済みファイル選択  
あらかじめ送信したデータを選択して下さい。

6. 登録  
選択した ZIP ファイルを登録します。

#### 操作手順

##### 1) GeoJSON 登録画面

GeoJSON のアップロード画面を表示します。

##### 2) 登録設定

###### ・座標系選択

座標系が定義されていない(「prj」ファイルがない)シェープファイルをアップロードする際は、座標系を指定する必要があります。

あらかじめ座標系を定義したシェープファイルは、このフォームで指定した座標系を使用せず定義されている座標系を使用します。

「座標系選択」ボタンから、日本の代表的な座標系の一覧がポップアップで表示されます。座標系を選択すると、その座標系コード (EPSG コード) が反映されます。

現在の設定を変更したくない場合は、ポップアップの外をクリックして表示を消します。

座標系選択		
新測地系緯度経度	平面直角座標系 新19座標系	平面直角座標系 旧19座標系
○ <a href="#">4326 新測地系(JGD2000)</a>	○ <a href="#">2443 新1系</a>	○ <a href="#">30161 旧1系</a>
旧測地系緯度経度	○ <a href="#">2444 新2系</a>	○ <a href="#">30162 旧2系</a>
○ <a href="#">4301 旧測地系(Tokyo)</a>	○ <a href="#">2445 新3系</a>	○ <a href="#">30163 旧3系</a>
UTM座標系	○ <a href="#">2446 新4系</a>	○ <a href="#">30164 旧4系</a>
UTM 51~55(JGD2000)	○ <a href="#">2447 新5系</a>	○ <a href="#">30165 旧5系</a>
○ <a href="#">33097 UTM zone 51N</a>	○ <a href="#">2448 新6系</a>	○ <a href="#">30166 旧6系</a>
○ <a href="#">33098 UTM zone 52N</a>	○ <a href="#">2449 新7系</a>	○ <a href="#">30167 旧7系</a>
○ <a href="#">33099 UTM zone 53N</a>	○ <a href="#">2450 新8系</a>	○ <a href="#">30168 旧8系</a>
○ <a href="#">33100 UTM zone 54N</a>	○ <a href="#">2451 新9系</a>	○ <a href="#">30169 旧9系</a>
○ <a href="#">33101 UTM zone 55N</a>	○ <a href="#">2452 新10系</a>	○ <a href="#">30170 旧10系</a>
UTM 51~55(Tokyo)	○ <a href="#">2453 新11系</a>	○ <a href="#">30171 旧11系</a>
○ <a href="#">3092 UTM zone 51N</a>	○ <a href="#">2454 新12系</a>	○ <a href="#">30172 旧12系</a>
○ <a href="#">3093 UTM zone 52N</a>	○ <a href="#">2455 新13系</a>	○ <a href="#">30173 旧13系</a>
○ <a href="#">3094 UTM zone 53N</a>	○ <a href="#">2456 新14系</a>	○ <a href="#">30174 旧14系</a>
○ <a href="#">3095 UTM zone 54N</a>	○ <a href="#">2457 新15系</a>	○ <a href="#">30175 旧15系</a>
○ <a href="#">3096 UTM zone 55N</a>	○ <a href="#">2458 新16系</a>	○ <a href="#">30176 旧16系</a>
	○ <a href="#">2459 新17系</a>	○ <a href="#">30177 旧17系</a>
	○ <a href="#">2460 新18系</a>	○ <a href="#">30178 旧18系</a>
	○ <a href="#">2461 新19系</a>	○ <a href="#">30179 旧19系</a>

・ 文字コード

登録するシェープファイルの属性データの文字コードを選択します。

・ タイムゾーン

登録するシェープファイルの属性に Timestamp 型がある場合、タイムゾーンを指定します。登録の際に Timestamp 型のデータのタイムゾーンは UTC に変換して登録されます。

3) アップロードファイル選択

アップロードファイル選択の「参照」を押して、自分のコンピュータの中のファイルを選択して下さい。

ファイルは「shp」「shx」「dbf」の3つのファイルを ZIP 形式で圧縮したファイルが必要です。また、「prj」を上記3つのファイルと共に ZIP 形式で圧縮したファイルは、座標系を指定せずにアップロードできます。

スタイル設定の「sld」ファイルを「shp」ファイルと同じ階層に置き、ZIP 圧縮したファイルは、アップロード時に「sld」ファイルと同じ名前の「shp」ファイルのスタイルを設定します。

アイコン・テキストと一緒に ZIP 圧縮すると、アップロード時にアイコン・テキストが同時にアップロードされます。

複数のシェープファイルを一つの ZIP ファイルに圧縮したファイルをアップロードすることで、複数のレイヤーを一度に登録できます。

4) 送信

アップロードを開始します。送信を開始すると送信状況が表示されます。アップロードが 100%に達する事で、送信の完了を確認できます。



5) 送信済みファイル選択

インストール時に指定したディレクトリ(標準では/map)内に、アップロード用のディレクトリが作成されます。ユーザーごとにディレクトリが作成され、ログイン中のユーザーのフォルダ内に送信された zip ファイルの一覧が表示されます。

一覧に表示されたファイルから登録する zip ファイルを選択します。

・アップロード用ディレクトリへのパスの例

/map/upload/ユーザーID/vector/

6) 登録

選択されたファイルを登録します。

3.4.5. シェープファイルアップロードファイル確認

「3.4.5 シェープファイルアップロード」でアップロードしたシェープファイルの確認を行います。

以下のデータを登録します。

タイトル欄を変更することで、レイヤのタイトルを指定します。

シェープファイル名	タイトル	座標系
sample/line_sample1	line_sample1	新測地系 緯度経度
sample/line_sample2	line_sample2	新測地系 緯度経度
sample/line_sample3	line_sample3	新測地系 緯度経度
sample/line_sample4	line_sample	緯度
sample/line_sample5	line_sample	緯度
sample/line_sample6	line_sample	緯度
sample/point_sample1	point_sample1	新測地系 緯度経度
sample/point_sample2	point_sample2	新測地系 緯度経度
sample/point_sample3	point_sample3	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample1	polygon_sample1	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample2	polygon_sample2	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample3	polygon_sample3	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample4	polygon_sample4	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample5	polygon_sample5	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample6	polygon_sample6	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample7	polygon_sample7	新測地系 緯度経度
sample/polygon_sample8	polygon_sample8	新測地系 緯度経度
sample/座標無し	ポイントサンプル	新測地系 緯度経度
	ポリゴンサンプル	新測地系 緯度経度
	ラインサンプル	新測地系 緯度経度
	座標無し	座標系が定義して下さい

1.レイヤータイトル記入。  
レイヤーのタイトルを記入します。

3.座標系選択  
座標系が定義されていないファイルがあるため、座標系を選択します。

2.座標確認  
シェープファイルの座標系を確認します。

座標系が定義されていないファイルがあります。座標系を定義して下さい。

EPSG:  EPSG

※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326

操作手順

1) レイヤータイトルの記入

アップロードしたシェープファイルから作成されるレイヤーのタイトルを記入できます。通常は、シェープファイルの名称がそのまま入力されています。

レイヤーのタイトルはレイヤーの基本情報の編集で変更できます。

## 2) 座標系確認

アップロード時に指定した座標系、または、座標系が定義された（「prj」ファイルが含まれた）シェープファイルの座標系が表示されます。

座標系が指定されていない際は、「座標系を定義して下さい」と表示されます。

## 3) 座標系指定

座標系が定義されていないシェープファイルがアップロードされた場合、座標系選択フォームが表示されます。

## 4) エラー一覧

登録できないシェープファイル名とエラー原因の一覧を表示します。登録できなかったシェープファイルは、ファイルを確認、修正して再度アップロードして下さい。

### エラー一覧

シェープファイル	エラー原因
sample/エラーサンプル1	.shxが見つかりません。
sample/エラーサンプル2	.dbfが見つかりません。

## 5) 登録

「次へ」を押すと、シェープファイルを登録します。「登録進捗状況」が100%に達すると登録が終了します。

基本情報設定 | **アップロード** | レイヤー編集 | メタデータ | 出力形式一覧

登録が終了しました。

登録情報	
ファイル名	angle.zip
座標系	
アップロード進捗状況	
100%	
登録進捗状況	
100%	
ログ	
登録が終了しました。	

### 3.4.6. GeoJSON アップロード

GeoJSON をアップロードすることでベクトルマップにレイヤーを登録します。

#### 新規レイヤ追加

##### GeoJSONファイル登録 [シェープファイル登録画面に移動](#)

- ・GeoJSONファイルをアップロードして、ベクトルレイヤを登録します。
- ※GeoJSONファイルのアップロードはファイルを一つずつzip形式に圧縮してアップロード
- ※圧縮ファイルに含まれるGeoJSONファイルの拡張子は「.json」「.geojson」「.txt」のいずれか

タイトル	<input type="text"/>
文字コード	<input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF-8 ※GeoJSONファイルの文字コードを選択します。
ファイル選択	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません
	<input type="button" value="アップロード"/>

- ・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。
- ※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。

タイトル	<input type="text"/>
文字コード	<input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF-8
ファイル選択	forest.zip
	<input type="button" value="FTP登録"/>

#### 操作手順

- 1) シェープファイル登録画面  
シェープファイルのアップロード画面を表示します。
- 2) 登録設定
  - ・タイトル  
登録するベクトルレイヤータイトルを入力します。
  - ・文字コード  
GeoJSON の文字コードは仕様で UTF-8 と決まっておりますが、SJIS で作成された場合 UTF-8 に変換して登録を行います。
- 3) アップロードファイル選択  
アップロードファイル選択の「参照」を押して、自分のコンピュータの中のファイルを選択して下さい。  
ファイルは GeoJSON を ZIP 形式で圧縮したファイルが必要です。GeoJSON ファイルの拡張子は「txt」「json」「geojson」のいずれかにして下さい。  
スタイル設定の「sld」ファイルを GeoJSON と同じ階層に置き、ZIP 圧縮したファイルは、アップロード時にレイヤーのスタイルに設定されます。  
アイコン・テクスチャと一緒に ZIP 圧縮すると、アップロード時にアイコン・テクスチャが同時にアップロードされます。  
GeoJSON アップロードは 1 つの ZIP ファイルに 1 つの GeoJSON をアップロードできます。

#### 4) 送信

GeoJSON のアップロードを開始します。アップロード後に属性情報の確認画面が表示されます。「[GeoJSON アップロード確認](#)」を参照して下さい。

#### 5) 送信済みファイル選択

インストール時に指定したディレクトリ(標準では/map)内に、アップロード用のディレクトリが作成されます。ユーザーごとにディレクトリが作成され、ログイン中のユーザーのフォルダ内に送信された zip ファイルの一覧が表示されます。

一覧に表示されたファイルから登録する zip ファイルを選択します。

- ・アップロード用ディレクトリへのパスの例

```
/map/upload/ユーザーID/json/
```

#### 6) 登録

選択されたファイルを登録します。属性情報の確認画面が表示されます。「[GeoJSON アップロード確認](#)」を参照して下さい。

### 3.4.7. GeoJSON アップロード確認

アップロードを行った GeoJSON の確認を行います。登録前に GeoJSON の属性設定を行います。

タイトル	json		
EPSGコード	4326		
属性設定			
登録	属性名	属性タイプ	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	予測困難な	文字列	2
<input checked="" type="checkbox"/>	位置点名等	文字列	49
<input checked="" type="checkbox"/>	標高_m	数値(整数型)	4
<input checked="" type="checkbox"/>	活火山名	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	現在異常	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	番号	数値(整	
<input checked="" type="checkbox"/>	英名	文	
<input checked="" type="checkbox"/>	読み	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	近年噴火活	日付型	
<input checked="" type="checkbox"/>	過去100年程	文字列	2
タイムゾーン	Asia/Tokyo ※属性型で日付型を指定した場合、タイムゾーンを指定して下さい。		
GeoJSONファイル登録			

1.レイヤータイトル  
レイヤーのタイトルを記入します。

2.属性登録設定  
登録を行う GeoJSON の属性設定を行います。  
・登録設定  
・属性名  
・属性タイプ  
・属性の長さ

3.タイムゾーン  
属性タイプで timestamp 型を選択した際の、タイムゾーンを設定します。

4.GeoJSON 登録  
属性設定に従って GeoJSON を登録します。

#### 操作手順

##### 1) レイヤータイトル

作成されるベクトルレイヤーのタイトルを記入します。レイヤーのタイトルはレイヤー設定で編集できます。

## 2) 属性登録設定

GeoJSON の属性一覧が表示されます。ベクトルレイヤーに登録する属性設定を行います。

### ・登録

チェックボックスのチェックを外すことで、その属性データは登録されません。

### ・属性名

登録する際に属性名を変更します。同じ属性名は利用できません。

### ・属性タイプ

登録する属性のタイプを選択します。設定できる属性タイプは以下の通りです。

「文字列型」                    文字列を格納します。

「数値(整数型)」                整数を格納します。

「数値」                        小数点を含む数値を格納します。

「日付型」                    「yyyy/MM/dd」の形式で記述された日付を格納します。

「日時型」                    「HH:mm:ss」の形式で記述された時間を格納します。

「タイムスタンプ型」 「yyyy/MM/dd HH:mm:ss」の形式で記述された日時を格納します。

登録の際に、選択された属性タイプに変換できない文字列があるデータが含まれる場合、登録に失敗することがあります。

### ・サイズ

登録する属性データのサイズを整数で指定します。入力されている数値は GeoJSON の属性を読み取った際の最大サイズです。

## 3) タイムゾーン

登録するシェープファイルの属性に Timestamp 型がある場合、タイムゾーンを指定します。登録の際に Timestamp 型のデータのタイムゾーンは UTC に変換して登録されます。

## 4) GeoJSON ファイル登録

属性設定に従って、GeoJSON の登録を開始します。



### 3.4.8. レイヤー編集

マップに登録されたレイヤーの管理を行います。レイヤーの基本情報、メタデータの編集から公開情報の編集を行います。また、スタイル設定や並び順を変更する事で、マップの描写を編集します。

レイヤー情報の編集の詳細は「[ベクトルレイヤー管理](#)」を参照して下さい。

vector3\_15は引用元のマップasdfsdf(作成ユーザ:ユーザ)で削除されました。

通知を削除する

⑮

① 選択レイヤー削除 ② 先頭 ③ 上へ ④ 下へ ⑤ 最後 ⑥ 地図プレビュー ⑦ 一括ダウンロード: Shape | JSON

レイヤー一覧

ID	名称	編集	スタイル	メタデータ	プレビュー	ダウンロード	公開設定	削除
<input type="checkbox"/> vec2_1	h22100_001_12 (引用元マップ:vector 作成ユーザ:アドミン)				表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_1	1km4326	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_2	utm-1km-line	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_3	utm-1km-line	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_4	1km23853	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_5	utm-1km-polygon_4326	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_6	point_sample3	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_7	point_sample3	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/> aa_8	point_sample3	編集	設定	編集	表示	Shape   JSON	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除

共有マップからレイヤー引用

公開されているマップからレイヤーを引用する。

公開マップ一覧: アドミン vector

レイヤー一覧: h22100\_001\_12

選択レイヤー引用

#### ① 選択レイヤー削除

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーを削除します。

#### ② レイヤー並び順変更

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーの並び順を変更する事で、レイヤー全体の並び順を変更します。

#### ③ 地図プレビュー

マップに登録されているレイヤー全てを表示するプレビュー画面を、別ウィンドウで表示します。

#### ④ 一括ダウンロード




マップに登録されている全レイヤーをシェープファイル、GeoJSON形式でZIPに圧縮したファイルをダウンロードします。作成されたメタデータ、アイコン画像、スタイル設定もファイルに含まれ

ます。

引用されたレイヤはダウンロードできません。

#### ⑤ レイヤーの種類

登録されたレイヤーのジオメトリの種類をアイコンで表示します。

-  ポイント
-  ライン
-  ポリゴン

#### ⑥ レイヤー情報編集

レイヤーの基本情報、属性、凡例を編集するフォームをポップアップで表示します。

「[レイヤー設定](#)」を参照して下さい。

#### ⑦ スタイル設定

レイヤーの表示設定を編集するフォームをポップアップで表示します。

[スタイル設定](#)」を参照して下さい。

#### ⑧ レイヤーメタデータ編集

レイヤーのメタデータを編集するフォームをポップアップで表示します。

「[メタデータ設定](#)」を参照して下さい。

#### ⑨ レイヤープレビュー

レイヤーのみを表示するプレビュー画面を別ウィンドウで表示します。

#### ⑩ レイヤーダウンロード

シェープファイル、GeoJSON 形式で ZIP に圧縮したファイルをダウンロードします。

作成されたメタデータ、アイコン画像、スタイル設定もファイルに含まれます。

#### ⑪ レイヤー公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうか設定します。初期設定では「公開」する設定になっております。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

#### ⑫ レイヤー削除

レイヤーを削除します。

#### ⑬ 引用レイヤー

共有マップから引用したレイヤーです。引用レイヤーは観覧のみ許可されます。

#### ⑭ 共有マップからレイヤー引用

共有設定されているマップからレイヤーを引用します。

共有マップを選択し、レイヤー一覧を表示します。レイヤーを選択して引用します。

#### ⑮ 通知

マップに対しての通知が表示されます。通知を削除するまで表示されます。

### 3.4.9. 共有マップからレイヤー引用

利用可能なマップで登録されたレイヤーを引用します。同じユーザーが登録したレイヤー、もしくは「[マップ共有設定](#)」で公開設定されたマップのレイヤーを引用できます。

引用されたレイヤーは、Capabilities でマップのレイヤーとして記述されますが、レイヤーの編集、スタイル編集、ダウンロードを行うことはできません。

共有マップからレイヤー引用

公開されているマップからレイヤーを引用する

公開マップ一覧: vector

レイヤー一覧: h22100\_001\_12

選択レイヤー引用

#### 1) 引用レイヤーフォーム表示

引用レイヤー設定フォームを表示します。

#### 2) 公開マップ一覧

引用可能なマップの一覧からマップを選択します。

#### 3) レイヤー一覧

公開マップ一覧からマップを選択すると、マップのレイヤー一覧が表示されます。

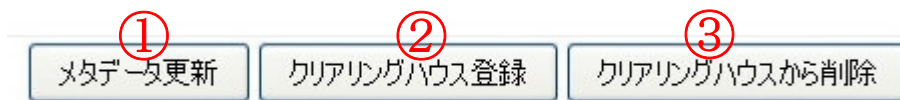
#### 4) 選択レイヤー引用

選択したマップのレイヤーを、引用レイヤーとしてマップに追加します。

### 3.4.10. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

クリアリングハウスへ編集を行う場合、設定画面でクリアリングハウスの URL とクリアリングハウスのログインユーザーの設定が必要となります。



#### 1) メタデータ更新

表示されている内容でメタデータを更新し、保存します。

#### 2) クリアリングハウス登録

表示されている内容で、メタデータを地図情報クリアリングハウスに登録します。

#### 3) 地図情報クリアリングハウスから削除

このマップのメタデータを地図情報クリアリングハウスから削除します。

*登録情報	
▼メタデータ登録情報	
クリアリングハウス	
サイト URL	http://sample.com/sample?&test=test&
登録情報	登録無し
登録日時	①
メタデータ更新情報	
更新日時	2013-08-31
編集状況	編集中

#### 1) メタデータ登録情報

メタデータのクリアリングハウスへの登録状況が記載されます。この項目は編集する事が出来ません。

▼Capabilities詳細情報	
配布書式	
データ形式	WMS
バージョン	1.1.1
オンライン	
リンク	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/geoserver/wmscapabilities?id=test8
記述	WMS
符号	JGD2000(B,L) ①
リンク	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/geoserver/wfscapabilities?id=test8
記述	WFS
符号	JGD2000(B,L)

#### 1) Capabilities 詳細情報

クリアリングハウス経由で、公開する地図の情報を取得するための URL が記載されます。この項目は編集する事が出来ません。

▼メタデータ詳細	
ファイル識別子	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/main/metadata/test8.xml
言語	日本語
文字集合	utf8
親識別子	
日付(メタデータ作成日)	1970-01-01
メタデータ規格の名称	JMP
メタデータ規格の版	2.0

▼参照系情報	
タイトル	test8
作成日	2011-02-17
刊行日	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">1</span>
改訂日	
要約	
目的	
状態	計画済み ▼
主題分類	<input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 生物相 <input type="checkbox"/> 境界 <input type="checkbox"/> 気象 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 高さ <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 地球科学の情報 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 全地球基本地図画像 <input type="checkbox"/> 軍事情報 <input type="checkbox"/> 陸水 <input type="checkbox"/> 位置 <input type="checkbox"/> 大洋 <input type="checkbox"/> 土地台帳計画 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 構造物 <input type="checkbox"/> 運輸 <input type="checkbox"/> 公共事業・通信

1) 作成日、刊行日、改訂日

この項目は日付型のみ入力できます。「年-月-日」の形式で入力する必要があります。入力フォームを選択するとカレンダーが表示されますので、日付を選択して下さい。

2月						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
2010年			2011年	2012年		

▼ データの図示に関する情報

ファイル名

①  
 マップのサムネイルを作成して、図の更新を行います。

②  
 画像をアップロードして、図の更新を行います。

 ③

ファイル型

記述

1) 図の更新

マップのサムネイル画像を作成します。

レイヤー追加、削除、スタイルの更新など、表示が変わった場合は「図の更新」からサムネイル画像を再度作成します。

2) 図のアップロード

画像をアップロードすることでサムネイルを指定した画像に差し換えることができます。

3) 図示サンプル

作成されたサムネイルが表示されます。現在のマップの状態ではありませんので、修正が必要な場合は更新して下さい。

▼ 範囲設定

設定

範囲

上:

① 左:  右:

下:

②

地理記述

③ 垂直要素 最低値:  最高値:  単位:

④ 時間要素 開始日:  終了日:

1) 範囲

この項目では、数値のみ記入できます。また、小数点以下 6 桁以降の値は四捨五入します。

2) 範囲取得

マップに登録されているレイヤーの最大範囲を取得し、「範囲」に反映します。

3) 垂直要素

この項目では、数値のみ記入できます。また、小数点以下 6 桁以降の値は四捨五入します。

4) 時間要素

この項目は日付型のみ入力できます。「年-月-日」の形式で入力する必要があります。

▼ キーワード一覧

記述的キーワード

キーワード

型

①

記述的キーワード

キーワード

型

②

- 1) 削除  
「記述的キーワード」の項目を削除します。
- 2) キーワード追加  
「記述的キーワード」の項目を追加します。

▼ データの利用制限

利用制限

①

**▼ 責任者情報**

組織

組織名

役職名

個人名

役割  問い合わせ先

住所

国

郵便番号

都道府県名

市区町村

住所詳細

電話番号

ファクシミリ番号

電子メールアドレス

問合せ案内

案内時間

問合せのための手引き

リンク

記述

②

③

**レイヤ責任者情報一括更新**

- 1) 責任者情報  
 マップの責任者の情報を記入します。ここで記入された情報は、今後このマップで作成されるメタデータの責任者の情報に引用されます。
- 2) 問合せ先引用  
 「設定管理ページ」の「問い合わせ先管理ページ」で編集した問い合わせ先を引用します。  
 「[問い合わせ先引用](#)」を参照して下さい。
- 3) レイヤー責任者情報一括更新  
 マップの責任者情報を、レイヤーごとに作成済みのメタデータの責任者情報に反映します。



▼問合せ先1

組織

組織名

役職名

個人名

役割  問い合わせ先

住所

国

郵便番号

都道府県名

市区町村

住所詳細

電話番号

ファクシミリ番号

電子メールアドレス

問合せ案内

案内時間

問合せのための手引き

リンク

記述

①      ②

③

1) 問合せ先引用

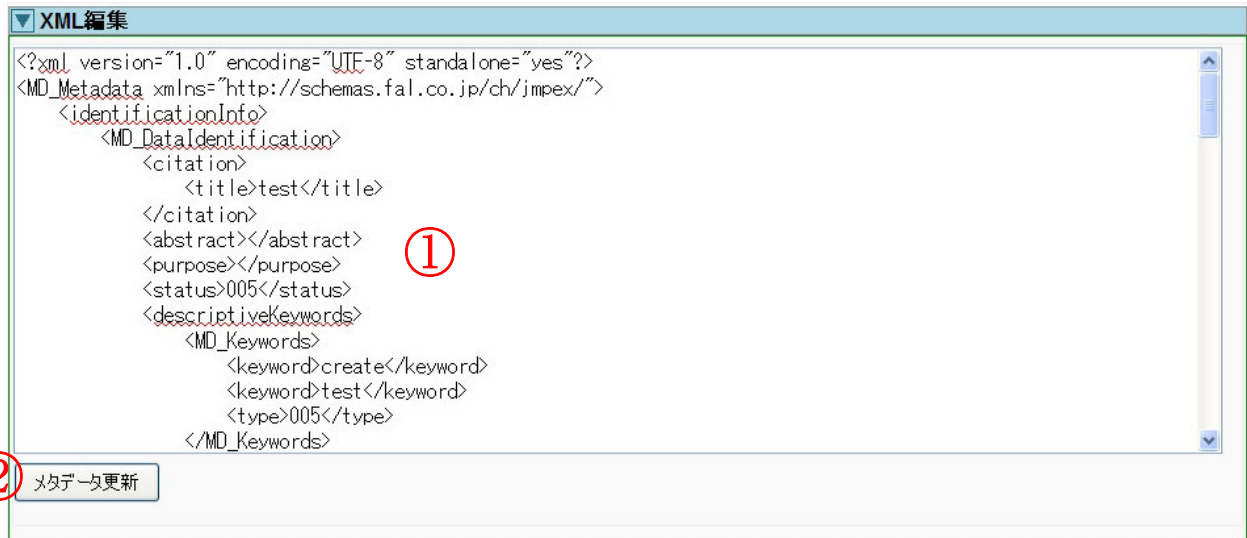
「設定管理ページ」の「問い合わせ先管理ページ」で編集した問い合わせ先を引用します。  
「[問い合わせ先引用](#)」を参照して下さい。

2) 問合せ先削除

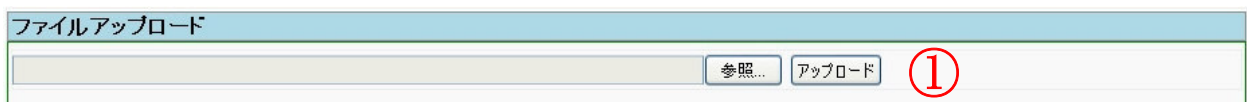
表示されている問い合わせ先を削除します。

3) 問合せ先追加

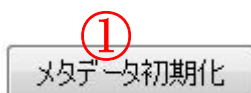
問い合わせ先の項目を追加します。



- 1) エディタ  
メタデータを直接編集します。「[エディタ編集](#)」を参照して下さい。
- 2) メタデータ更新  
エディタに記述されたXMLにメタデータを更新します。



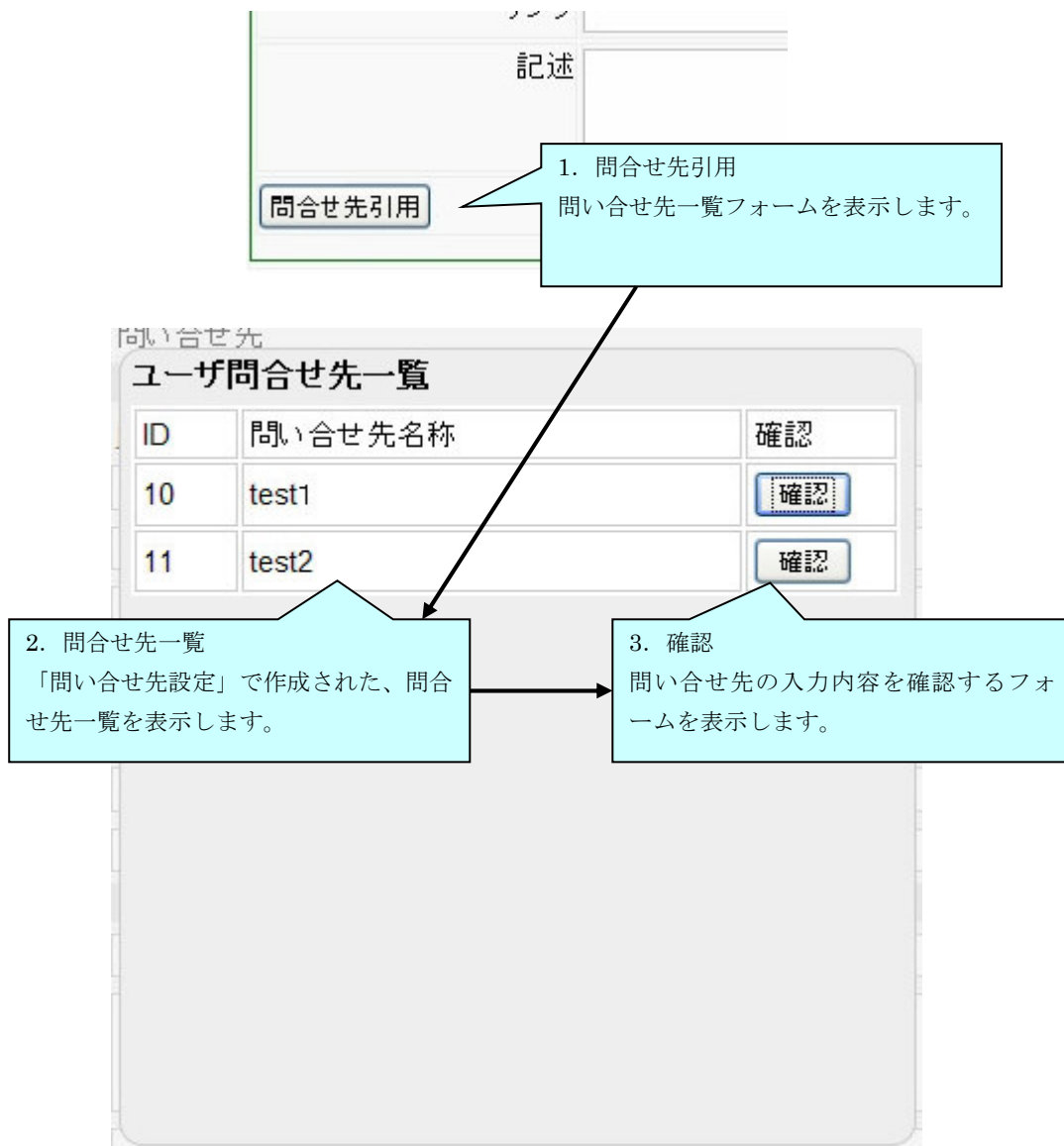
- 1) ファイルアップロード  
メタデータの記述されたXMLファイル、ZIPファイルをアップロードしてメタデータを登録することが出来ます。  
ZIPファイルに含まれるメタデータは、レイヤーまたはマップのタイトル・IDのいずれかと一致する名称のXMLファイルを用意してください。



- 1) メタデータ初期化  
メタデータを編集前の初期状態に戻します。

### 3.4.11. 問い合わせ先引用

メタデータ作成時、「責任者情報」「問い合わせ先」の項目に「設定管理ページ」の「問い合わせ先管理」に登録された問合せを引用します。

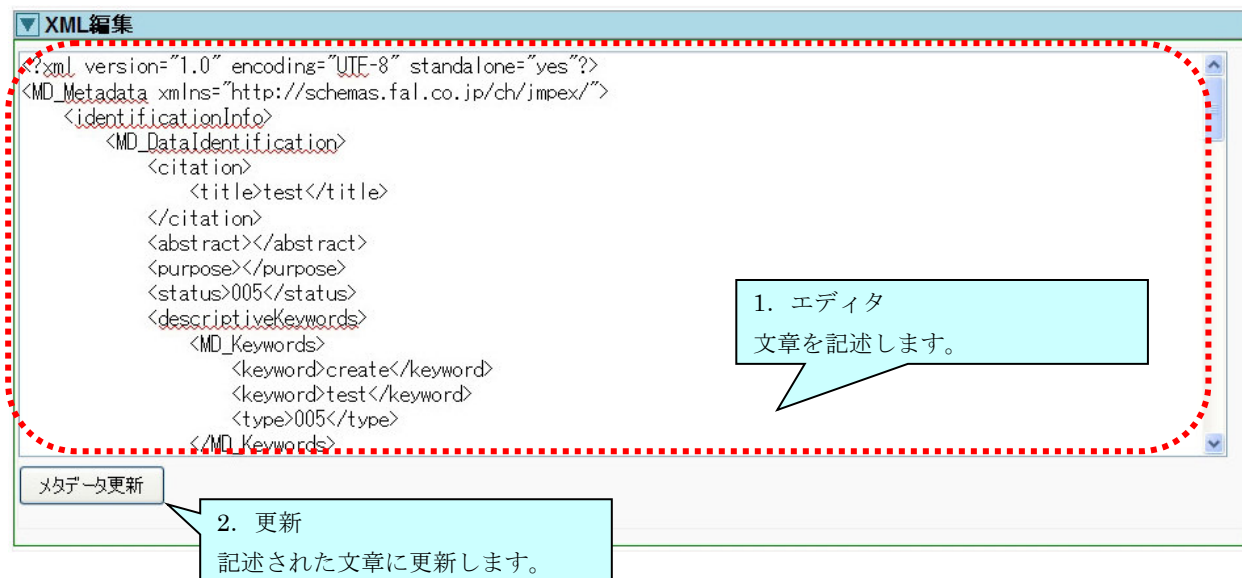


- 1) 問い合わせ先引用  
問い合わせ先一覧を表示するフォームをポップアップで表示します。
- 2) 問い合わせ先一覧  
「設定管理ページ」の「問い合わせ先管理」で作成された問い合わせ先の一覧を表示します。  
引用を中止する場合は、ポップアップ画面外をクリックする事でポップアップを消します。
- 3) 確認  
問い合わせ先の入力内容を確認するフォームをポップアップで表示します。



### 3.4.12. エディタ編集

エディタを利用して直接文章を編集します。



#### 操作手順

##### 1) エディタ

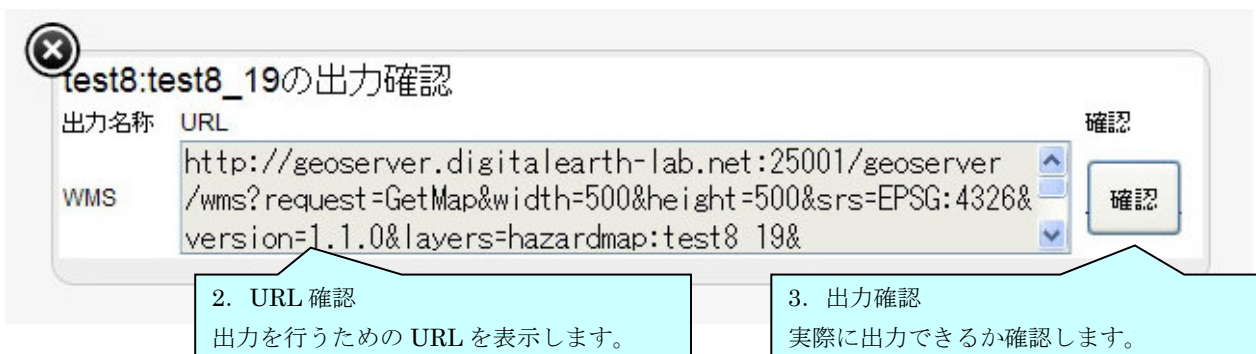
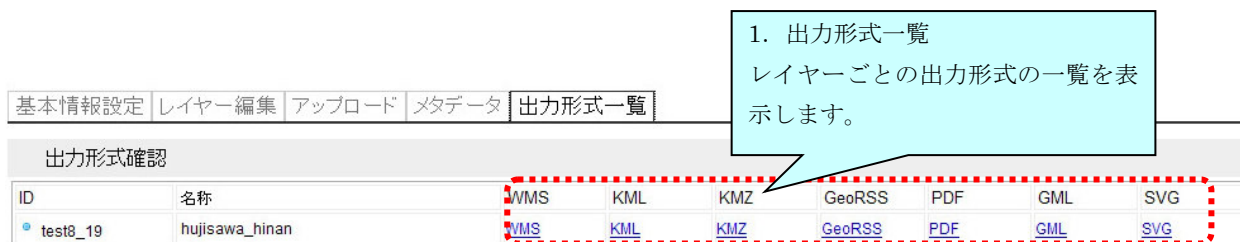
エディタ内の文章を直接編集するか、既存の文章をテキストエディタで開き、コピーアンドペーストでエディタに貼り付けて下さい。

##### 2) 更新

エディタに記述された文章に更新します。

### 3.4.13. 出力確認

登録したレイヤーの出力形式を確認します。



#### 1) 出力形式一覧

レイヤーが出力できる形式の一覧を表示します。形式の名前をクリックすると、出力確認フォームがポップアップで表示されます。

#### 2) URL 確認

出力形式を取得するための URL を表示します。

#### 3) 出力確認

実際に出力が可能かどうか確認を行います。

#### 各出力の説明

WMS	WMS を利用した相互運用のための Capabilities 情報を取得するための URL
KML	GoogleEarth 等で利用可能な KML フォーマットの XML データを取得するための URL
KMZ	圧縮された KML ファイルを取得するための URL
GeoRSS	GeoRSS フォーマットの XML データを取得するための URL
PDF	地図データが描画された PDF ファイルを出力するための URL
GML	GML フォーマットの XML データを取得するための URL
SVG	SVG フォーマットのデータを取得するための URL

### 3.5. ベクトルレイヤー管理

「[レイヤー編集](#)」画面でベクトルレイヤーの詳細管理をおこないます。

#### 3.5.1. レイヤー並び順変更

レイヤーの表示順を変更します。表の並び順に Capability、プレビュー画面のレイヤーの順番が設定されます。

The screenshot shows the 'レイヤー編集' (Layer Edit) page with a table of layers. The table has columns for selection checkboxes, layer ID, name, and various action buttons (edit, settings, display, download, delete, and public/private settings). A red dashed box highlights the selection checkboxes and the '先頭' (First), '上へ' (Up), '下へ' (Down), and '最後' (Last) buttons. Two callout boxes provide instructions: one for selecting layers to move, and another for moving them up or down.

<input type="checkbox"/>	ID	名称	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開設定
<input type="checkbox"/>	test9_15	line_sample3a	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_14	line_sample2	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_13	line_sample1	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_12	line_sample4	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_20	point_sample2	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_21	point_sample3	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_22	polygon_sample1	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_23	polygon_sample2	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開
<input type="checkbox"/>	test9_24	polygon_sample3	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	削除	公開 非公開

#### 1) 移動するレイヤーの選択

移動するレイヤーのチェックボックスを選択します。複数のレイヤーの選択、並び順が離れているレイヤーも同時に選択して移動する事が出来ます。

#### 2) 並び順の変更

選択したレイヤーの並び順を変更します。

「先頭」

選択されたレイヤーを並び順の先頭へ移動します。

「上へ」

選択されたレイヤーの並び順を一つ上へ移動します。

「下へ」

選択されたレイヤーの並び順を一つ下へ移動します。

「最後」

選択されたレイヤーを並び順の最後へ移動します。

### 3.5.2. レイヤー設定

レイヤー情報を編集します。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、レイヤー設定ページがポップアップで表示されます。

The screenshot shows a 'レイヤー設定' (Layer Settings) dialog box with the following fields and callouts:

- レイヤタイトル** (Layer Title): Must be entered. Example: 'test'. Callout 1: '1. タイトル、説明、キーワード  
レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。  
タイトルは必ず記入して下さい。'
- 説明** (Description): Empty text area.
- キーワード** (Keywords): Text area. Callout 2: '2. 表示縮尺、範囲の表示  
Capabilities に記述する表示縮尺、範囲を設定します。'
- 表示縮尺** (Scale): Includes '表示最大縮尺' and '表示最小縮尺' dropdowns. Callout 2 also points to this section.
- 範囲** (Extent): Includes 'MinX', 'MinY', 'MaxX', 'MaxY' input fields and a '範囲取得' button. Callout 3: '3. 著作権情報  
レイヤーに登録したデータの著作権情報を記述します。'
- 著作権情報** (Copyright): Empty text area.
- 更新** (Update): Button at the bottom. Callout 4: '4. 更新  
記入された変更を更新します。'

#### 1) タイトル、説明、キーワード

レイヤーの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。この情報は WMS、WFS の Capabilities のレイヤーの情報に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 表示縮尺、範囲

Capabilities の Layer に記述する表示縮尺、最大範囲を設定します。

最大範囲の初期状態はレイヤーの実際の範囲が表示されます。

「範囲取得」は登録されているレイヤーの範囲を表示します。

#### 3) 著作権情報

Capabilities の Layer に記述するデータの著作権情報を記述します。

#### 4) 更新

記述された内容に従って、レイヤーの情報を更新します。



### 3.5.3. 属性設定

ベクトルレイヤーの属性の管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、属性設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

データベースの仕様により、全角英数字が使われた属性名、数字で始まる属性名は利用できません。半角カナはOSの違いが原因で読み取れないことがありますので、使用は推奨されません。

1. 属性詳細  
「属性名称」「属性タイプ」の表示、「名称の変更」を行います。

属性名	属性タイプ	変更
<input type="checkbox"/> 住所p	文字列	変更
<input type="checkbox"/> 名称	文字列	変更
<input type="checkbox"/> 番号	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 経度	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 緯度	数値(小数点あり)	変更
<input type="checkbox"/> 電話番号	数値(小数点あり)	変更

2. 属性追加  
属性名称と属性型を選択し属性を追加します。

3. 復元、選択削除、名前変更  
削除した属性の「復元」、選択した属性の「削除」「名前変更」を行います。

4. 削除した属性一覧  
削除した属性の一覧が表示されます。「復元」することで、属性をレイヤーで利用できるようにします。

#### 1) 属性詳細

属性の情報を表示します。チェックボックスを選択することで、属性の選択を行います。新たに属性名を記述し、「変更」出来ます。

#### 2) 属性追加

属性名を記述し、属性タイプを選択します。「属性追加」から新たに属性を作成します。

#### 3) 復元、選択削除、名前変更

##### 「復元」

以前、削除した属性を元にもどします。「4, 削除した属性」から復元したい属性を選択し「↑復元」から属性を利用できるようにします。

##### 「選択削除」

選択された属性を削除します。削除された属性は「4, 削除した属性」に移動します。

##### 「名前変更」

属性名を、記入された属性名に全て一括で更新します。

#### 4) 削除した属性一覧

元のレイヤーから削除された属性の一覧が表示されます。チェックボックスを選択することで、削除された属性を選択します。

### 3.5.4. 時系列設定

ベクトルレイヤーに時系列情報を持った属性が登録されている場合、時系列レイヤーとして登録を行えます。レイヤーに登録された属性の内、Date 型、Timestamp 型の属性が表示されます。

レイヤ設定 | 属性設定 | **時系列設定** | データ編集 | 凡例設定

ベクトルレイヤーの時間属性を設定することで、時系列を利用した配信を行います。

開始: 合併年 ▼ 終了: 指定無し ▼

設定

設定解除

1. 属性選択  
時系列情報をもった属性の一覧から選択します。

2. 設定  
時系列レイヤーとして設定します。

3. 設定解除  
レイヤーの時系列情報の設定を解除します。

#### 1) 属性選択

時系列情報を持った属性の一覧から、時系列の開始日時、終了日時を表す属性を選択します。時系列レイヤーとして登録するには開始の属性が必須となります。

#### 2) 設定

時系列属性を登録することで、レイヤーを時系列レイヤーとして登録します。時系列レイヤーとして登録されたレイヤーは WMS リクエストの URL に、TIME パラメータが必須となります。

#### 3) 設定解除

時系列レイヤーとして登録されたレイヤーの時系列属性設定を解除し、通常のベクトルレイヤーとして利用します。

### 3.5.5. データ編集

ベクトルレイヤーのデータの編集を行います。シェープファイルまたは、GeoJSON ファイルをアップロードすることで、既存のレイヤーに追加登録、データの差し替え、レイヤーを削除して再登録を行います。

レイヤ設定 | 属性設定 | 時系列設定 | **データ編集** | 凡例設定

ベクトルデータのアップロードを行い、登録されているレイヤを編集します。

- 追加(マージ)**  
レイヤにアップロードしたデータを追加します。  
※同じジオメトリ型のベクトルデータをアップロードします。  
※レイヤの属性名、属性型が一致したベクトルデータの属性を登録します。
- 差し替え**  
レイヤのデータを削除して、アップロードしたデータに差し替えます。  
※同じジオメトリ型のベクトルデータをアップロードします。  
※レイヤの属性名、属性型と一致したベクトルデータの属性を登録します。
- 再登録**  
レイヤを削除して、レイヤIDを変更せずにレイヤを新規登録します。  
※再登録後はスタイルを編集してください。

座標系: 世界測地系緯度経度

文字コード:    
※ファイルの文字コードがSJISの場合は選択します。

タイムゾーン: Asia/Tokyo  
※属性にTimestamp型が含まれる場合、タイムゾーンを指定して下さい。

データ形式:  シェープファイル  GeoJSON  
※アップロードするベクトルデータのデータ形式を選択します。

ファイル選択:  ファイルが選択されていません。

1. 追加 (マージ)  
レイヤーにデータを追加します。
2. 差し替え  
レイヤーデータを削除して、データを差し替えます。
3. 再登録  
レイヤーを削除して、新たにレイヤーを登録します。
4. アップロード設定  
アップロードするベクトルデータの座標系、文字コード、タイムゾーンを指定します。
5. データ形式  
アップロードするベクトルデータのデータ形式を選択します。
6. ファイル選択  
データ形式に従ってアップロードするZIPファイルを選択します。

5. アップロード  
設定に従ってファイルをアップロードします。

#### 1) 追加 (マージ)

レイヤーにアップロードしたベクトルデータを追加します。レイヤーの属性名、属性型と一致した属性データが追加されます。

#### 2) 差し替え

登録されているデータを削除して、アップロードしたベクトルデータでデータを差し替えます。

#### 3) 再登録

レイヤーを削除して、アップロードしたベクトルデータで新たにレイヤー登録します。レイヤーID を変更せずにレイヤーを登録できますが、スタイル設定は初期化されます。

4) アップロード設定

- ・座標系

アップロードするシェープファイルの座標系を指定します。

- ・文字コード

シェープファイルの属性データの文字コードが SJIS の場合はチェックします。

GeoJSON の文字コードが SJIS の場合はチェックします。

- ・タイムゾーン

属性データに Timestamp 型がある場合、タイムゾーンを設定します。

5) データ形式

アップロードするファイルの形式をシェープファイル、GeoJSON から選択します。

6) ファイル選択

PC 内の選択したデータ形式のデータを ZIP 圧縮したファイルから、アップロードするファイルを選択します。

7) アップロード

ベクトルデータをアップロードします。

### 3.5.6. 定期更新設定

ベクトルレイヤーを設定した更新設定に従ってシェープファイルまたは GeoJSON ファイルのダウンロードを行い、データの追加登録、差し替えを行います。

ベクトルレイヤーの定期更新設定を行います。

前回更新日時: 2017/02/25

更新停止  日時指定  一定間隔

ベクトルデータ取得URL  
http://server.domain.com/forest.zip  
※定期取得を行うベクトルデータのURLを記述して下さい。

追加(マージ)  
レイヤーにデータを追加します。  
※レイヤーの属性名、属性型が一致したデータを登録します。

差し替え  
レイヤーのデータを削除して差し替えます。  
※レイヤーの属性名、属性型と一致したデータを登録します。

データ形式:  シェープファイル  GeoJSON  
※ダウンロードするベクトルデータのデータ形式を選択します。

座標系: 世界測地系緯度経度

文字コード:  SJIS  UTF-8  
※ファイルの文字コードを選択します。

タイムゾーン: Asia/Tokyo  
※属性にTimestamp型が含まれる場合、タイムゾーンを指定して下さい。

定期更新設定

1. 前回更新日時  
更新が行われた場合に表示する日時です。
2. 更新日程設定  
レイヤーの更新日程の設定を行います。
3. ベクトルデータ取得 URL  
ダウンロード可能なデータの URL を入力します。
4. データ更新設定  
データの更新方法を追加(マージ)、差し換えから選択します。
5. データ形式  
更新に利用するデータ形式を選択します。
6. 座標系  
データに座標系が設定されていない場合に適応する座標系を選択します。
7. 文字コード  
属性データの文字コードを選択します。
8. タイムゾーン  
属性データの Timestamp 型のタイムゾーンを選択します。
9. 定期更新設定  
定期更新設定を設定します。

#### 1) 前回更新日時

定期更新設定に従ってレイヤーの更新が行われた場合、前回更新日時が表示されます。

#### 2) 更新日程設定

更新を行う日時の設定を「更新停止」「日時指定」「定期更新」から選択して設定します。

##### ・更新停止

定期更新を停止します。

更新停止  日時指定  定期更新

・日時指定

日時を指定して更新を行います。日時指定の場合、更新は1回のみ行われます。

更新停止 日時指定 定期更新

2017/03/17 13 時 20 分

・定期更新

「繰り返し」は定期更新設定を登録した時刻を基準に指定した間隔で更新を行います。

更新停止 日時指定 定期更新

繰り返し 毎時 毎日 毎週 毎月

0 日 0 時 15 分

「毎時」何分に更新を行うか設定します。

更新停止 日時指定 定期更新

繰り返し 毎時 毎日 毎週 毎月

10 分

「毎日」何時何分に更新を行うか設定します。

更新停止 日時指定 定期更新

繰り返し 毎時 毎日 毎週 毎月

15 時 10 分

「毎週」何曜日何時何分に更新を行うか設定します。

更新停止 日時指定 定期更新

繰り返し 毎時 毎日 毎週 毎月

週選択 水曜日 14 時 10 分

「毎月」何日何時何分に更新を行うか設定します。31日等、来月最終日より後の日時が指定されている場合は、来月の最終日に更新が行われます。

更新停止 日時指定 定期更新

繰り返し 毎時 毎日 毎週 毎月

15 日 10 時 10 分

3) ベクトルデータ取得 URL

ベクトルレイヤーの定期更新を行うため、ダウンロード可能なデータの URL を記述します。

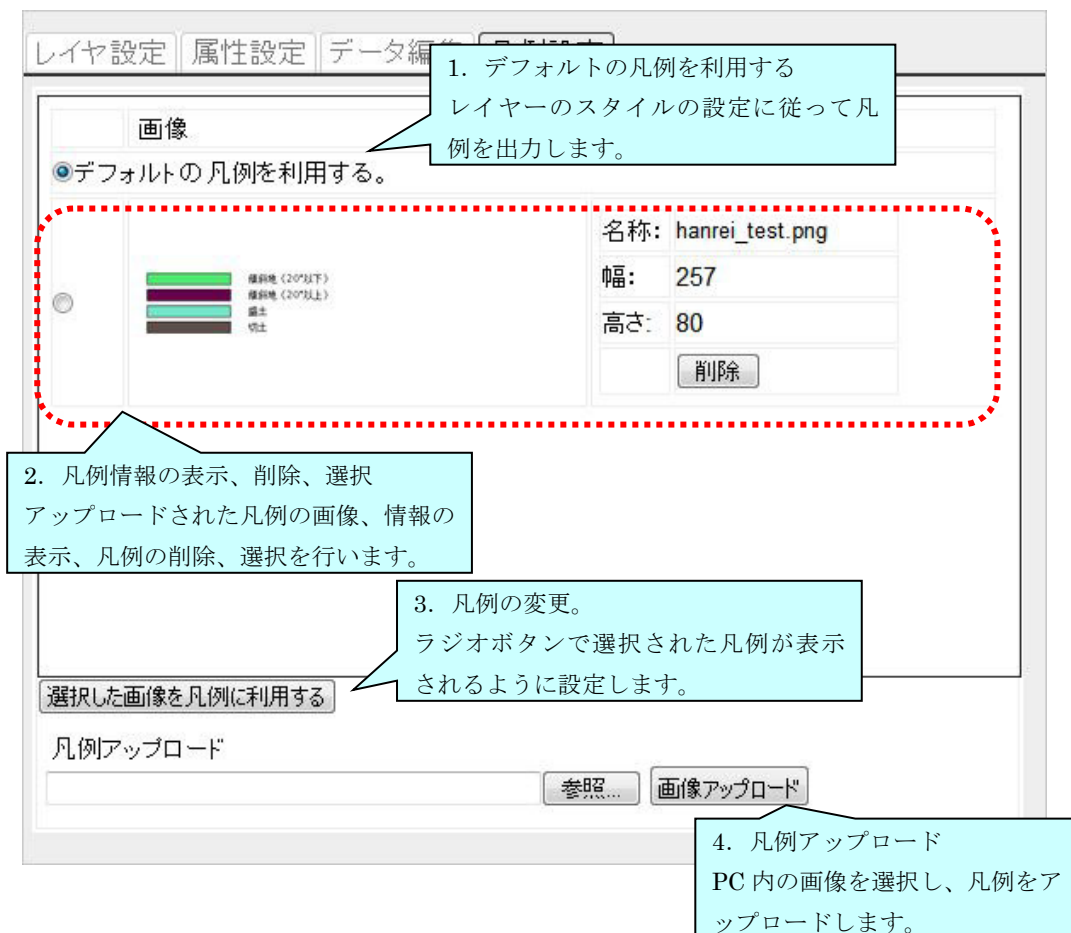
シェープファイルは ZIP 圧縮されたファイルの URL を記述して下さい。GeoJSON ファイルは ZIP 圧縮、もしくは拡張子「txt」「json」「geojson」のテキストファイルの URL を記述して下さい。

- 4) データ更新設定
  - ・ 追加(マージ)  
レイヤーにアップロードしたベクトルデータを追加します。レイヤーの属性名、属性型と一致した属性データが追加されます。
  - ・ 差し換え  
登録されているデータを削除して、アップロードしたベクトルデータでデータを差し替えます。レイヤーの属性名、属性型と一致した属性データが追加されます。
- 5) データ形式  
アップロードするファイルの形式をシェープファイル、GeoJSON から選択します。
- 6) 座標系  
更新に利用されるベクトルデータに座標系が設定されていない場合に、利用する座標系を設定します。
- 7) 文字コード  
シェープファイルの属性データの文字コードを SJIS か UTF-8 から選択します。  
GeoJSON の文字コードを SJIS か UTF-8 から選択します。
- 8) タイムゾーン  
属性データに Timestamp 型がある場合、タイムゾーンを設定します。
- 9) 定期更新設定更新  
定期更新設定を更新します。

### 3.5.7. 凡例設定

ベクトルレイヤーの凡例の管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、凡例設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

初期設定ではスタイルの設定に従って凡例が出力されますが、ユーザーが指定した画像に凡例を変更できます。



#### 1) デフォルトの凡例を利用する

レイヤーのスタイル設定に従って出力される凡例を利用します。初期状態では、この設定が選択されます。

#### 2) 凡例情報の表示、削除、選択

ラジオボタンを選択する事で、選択した凡例画像が選択状態になります。

「凡例画像」「凡例の名称」「画像サイズ」を表示します。「削除」から凡例画像を削除します。

#### 3) 凡例の変更

ラジオボタンで選択されている凡例を出力するように設定を変更します。

#### 4) 凡例アップロード

「参照」を押して自分のコンピュータの凡例画像を選択して下さい。「画像アップロード」を押すとアップロードされ凡例情報一覧に表示されます。



### 3.5.8. スタイル設定

ベクトルレイヤーのスタイル設定の管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、スタイル設定ページがポップアップに表示されます。

登録したレイヤーの描画設定を行います。

#### 1) 描画設定一覧

「描画設定」

描画設定の一覧を表示します。

自動的に描画の設定するフォームの表示を行い指定した設定値に従って、描画設定を自動的に作成します。

描画設定の値を確認し変更を行うことで、描画設定の詳細な編集を行います。

「エディタ」

XML形式のテキストを編集することで、スタイル設定を変更します。

2) 描画設定画面

「1, 描画設定一覧」で選択された描画設定画面が表示されます。

3) 凡例画像

レイヤーに設定されているスタイル設定の凡例画像を表示します。スタイル設定の更新時に凡例画像も更新されます。

4) 縮尺設定

設定された縮尺の最大値、最小値を表示します。

5) 属性の値確認

選択されたレイヤーの属性の値を表示します。

文字列型の属性は 30 ずつ表示されます。「値追加」で表示される属性値を追加します。

The screenshot shows a software interface element. At the top is a dropdown menu with 'TEXT' selected. Below it is a list box containing the characters '寺', '社', '所', and '小'. To the right of the list box are two small blue arrows, one pointing up and one pointing down. Below the list box is a button labeled '値追加'.

数値型の属性は「最大値」「最小値」「平均値」「標準偏差」を表示します。

The screenshot shows a software interface element. At the top is a dropdown menu with 'ROT' selected. Below it are four input fields, each with a label and a numerical value: '最大: 355', '最小: 0', '平均: 150.821429', and '偏差: 153.711395'.

### 3.5.9. スタイル描画設定一覧

ベクトルレイヤーのスタイル設定を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、スタイル描画一覧ページがポップアップ内のタブに表示されます。

登録されているスタイル設定の一覧を詳細表示します。描画設定では設定できない、詳細な設定を行います。

#### 「自動描画設定表示」

レイヤーの描画設定を自動的に作成するフォームを表示します。「3.5.8 スタイル自動描画設定」を参考にしてください。

#### 「共通」設定

レイヤーの描画設定は、色の設定一つに一つの描画設定が作成されます。描画設定の判別をつけるため、描画設定の個別の設定を行います。

凡例ラベル	<input type="text" value="Green Line"/>
表示最大縮尺:	<input type="text" value="500"/>
表示最小縮尺:	<input type="text" value="2500"/>

- ① 凡例ラベル  
凡例では色ごとに設定の名前を表示できます。「凡例ラベル」に記入することで凡例に名称を表示します。
- ② 最小縮尺、最大縮尺  
描画設定ごとに、表示できる縮尺の範囲を設定できます。

#### 「属性」設定

属性の値を利用して、描画設定の表示に制限をかける事が出来ます。

<input checked="" type="checkbox"/>	属性の値から表示制限を行う		
①	AND		
属性	条件式	値	削除
ID	<	1	削除
ID	>	20	削除
<input type="button" value="属性設定追加"/>			

- ① 複数の属性選択時の指定  
属性が追加され複数の条件で表示の制限を行う場合、「AND」「OR」のいずれかを選択する必要があります。
- ② 属性選択  
表示制限に利用する属性を選択します。
- ③ 条件式  
選択した属性の値と、記入した「④値」との条件式を選択します。  
「>」「≥」「<」「≤」「=」「≠」「null」「not null」から選択して下さい。

- ④ 値  
属性の値に対して、制限をかけるための値を記入します。  
「値」と「③条件式」から属性の値を利用して表示制限を設定します。
- ⑤ 削除  
属性設定を削除します。
- ⑥ 属性設定追加  
属性設定を追加します。複数の属性設定を指定するため「①複数の属性選択時の指定」を設定する必要があります。

### 「ポイント」設定

座標が一つしかない点の表示設定を行います。あらかじめ登録された点の形状の指定、外枠の線の設定を行います。アイコン画像を点として表示することも出来ます。

点を表示する

形状 四角

色 #ff0000

サイズ 6.0

透明度 1.0 (0~1.0)

画像 選択

- ① 点の形状  
地図に点を表示する際の形状を選択します。  
「丸」「四角」「X」「十字」  
点を指定した形状に設定します。  
「画像」  
アイコン画像を表示します。「②点の色」が選択できなくなり、「アイコン画像選択」で画像を指定できるようになります。
- ② 点の色  
点の形状で「画像」以外を指定した場合、点の塗りつぶし色を選択できます。
- ③ 点のサイズ  
点のサイズ、アイコン画像のサイズを指定します。数値のみ指定できます。
- ④ 点の透明度  
点の透明度を指定します。0~1 の間で数値のみ指定できます。
- ⑤ アイコン画像選択  
「①点の形状」で「画像」を選択した場合、画像選択フォームを表示し、登録したアイコン画像を選択できます。  
ログイン中のユーザー公開されているマップのアイコン画像を利用する事が出来ます。



画像を選択すると「選択画像」にアイコン画像の名前が表示されます。選択された画像でよろしければ、「適応」で設定に反映します。



点の外枠の表示設定を行います。  
詳細は、「ライン設定」を参考にして下さい。

「ライン」設定  
線の表示設定を行います。



- ① 種類  
線の形状を指定します。  
「直線」「点線」  
線を指定した形状で表示します。  
「鎖線」  
線を「⑥鎖線の間隔」で指定した間隔で、線を表示します。
- ② 線の色  
線の色を指定します。

- ③ 線の幅  
線の幅を指定します。数値しか記入できません。
- ④ 線の透明度  
線の透明度を指定します。0~1の間で数値のみ指定できます。
- ⑤ 鎖線の間隔  
「①線の形状」で「鎖線」を選択した場合、編集できるようになります。  
線の間隔を「区切り」で記入します。  
記入された数値は「線の長さ, 間隔の長さ, 線の長さ」の順番で鎖線が表現されます。

### 「ポリゴン」設定

開始点と、終了点と同じ位置にある、閉じた多角形の表示設定を行います。内側の面の塗りつぶしと、外枠の線の表示設定を行います。

- ① 面の塗りつぶし  
面の塗りつぶし方法を指定します。  
「塗りつぶし」  
指定した色で面を塗りつぶします。  
「画像」  
テクスチャ画像を面に並べて表示します。「②面の色」が選択できなくなり、「⑤テクスチャ画像選択」で画像を指定します。
- ② 面の色  
「①面の塗りつぶし」で「塗りつぶし」を選択した場合、色を選択できます。
- ③ 面の透明度  
面の透明度を指定します。0~1の間で数値のみ指定できます。
- ④ テクスチャサイズ  
「①面の塗りつぶし」で「画像」を選択した場合、テクスチャサイズを数値として id 来ます。
- ⑤ テクスチャ画像選択  
「①面の塗りつぶし」で「画像」を選択した場合、画像選択フォームが表示され、登録したテクスチャ画像を選択します。  
ログイン中のユーザー公開されているマップのアイコン画像を利用する事が出来ます。

<input checked="" type="checkbox"/>	外枠を表示する
線種	直線
線色	黒
線幅	1.0
透明度	1.0 (0~1.0)
間隔	鎖線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0

ポリゴンの外枠の表示設定を行います。  
 詳細は、「ライン設定」を参考にしてください。

### 「ラベル」設定

選択された属性の値がスタイル設定に従い、地図上に文字列で表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/>	ラベルを表示する
属性	ALIGN
色	黒
サイズ	15.0
表示位置	左,右 0.0 (負の値で左方向、正の値で右方向)
	上,下 0.0 (負の値で下方向、正の値で上方向)
回転	0.0 度

- ① ラベルの属性選択  
表示するレイヤーの属性を選択します。属性に含まれる文字列がラベルに表示されます。
- ② フォントの色  
フォントの色を設定します。
- ③ フォントのサイズ  
文字サイズを設定します。数値のみ入力できます。
- ④ フォントの表示位置  
ラベルの開始する位置を設定します。上下、左右それぞれ表示位置を設定できます。  
左, 右では負の値で左方向へ、正の値で右方向へ表示位置が移動します。  
下, 上では負の値で下方向へ、正の値で上方向へ表示位置が移動します。
- ⑤ ラベルの回転  
ラベルの表示時に角度をつけるか設定します。  
0度では中心から水平方向の右側にラベルが表示されます。  
90度では中心から垂直方向上側にラベルが表示されます。

#### 「描画設定削除」

描画設定を削除します。

削除後メッセージが表示され、「更新の適応」を行うことで、実際の描画設定から削除されます。

#### 設定1

「更新の適応」を行う事で、この描画設定は削除されます。

#### 「描画設定追加」

描画設定を追加します。

#### 「更新の適応」

各描画設定の更新を適応し、レイヤーの描画設定を更新します。



### 3.5.10. スタイル自動描画設定

ベクトルレイヤーのスタイル設定を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「スタイル自動描画設定」から、スタイル描画設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。指定した描画設定から自動的にスタイル設定を作成します。

#### 1) 描画設定対象レイヤー

描画設定の対象レイヤー名が表示されます。

#### 2) シンボルの色設定

レイヤーの属性の値を利用して色の描画を行います。「値ごとの描画」「値が含まれる範囲ごとの描画」「値の並びからの描画」を選択し、どのような色の表現を行うか指定することで、スタイル設定を作成します。

##### ① 属性の選択

描画設定を行う属性を選択します。

##### ② 属性の分割方法

描画をどのように行うか属性の分類方法を選択します。

選択した属性が「文字列型」である場合は、「属性の値ごとに分割」します。

選択した属性が「数値型」である場合は、以下の3つから選択します。

「属性の値ごとに分割」

「属性の値を等間隔で分割」

「属性の値を等量（小さい物から順に並べた属性を分割数ごとに選択）に分割」

③ 分割数

属性の値の分割数を設定します。この値より属性の値の数が少ない場合は、属性の値の数だけ分割されます。

④ 色の表現方法

色の描画方法を選択します。

「ランダム」


分割された値ごとに、自動的に色を作成して表現します。

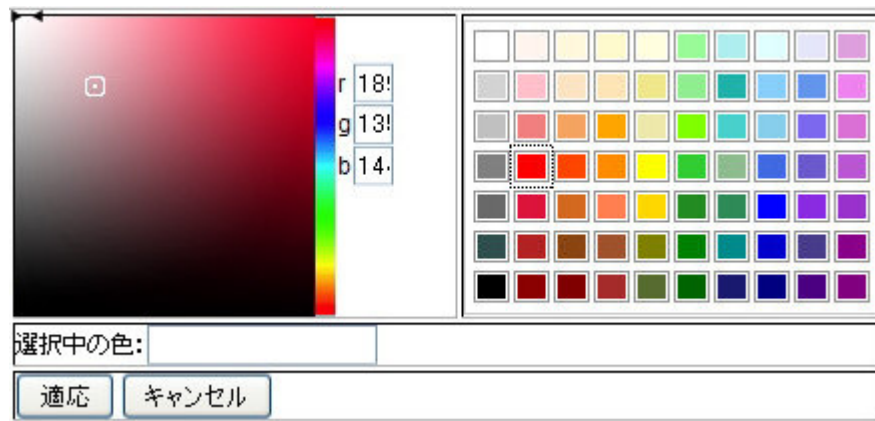
「グラデーション」

「⑤色の選択」で指定した「開始色」「終了色」に従って、値ごとに段階的に表現します。

⑤ 色の選択

「④色の表現方法」で「グラデーション」が指定された場合、「開始色」「終了色」の色を選択します。

 のボタンを押す事で、色設定フォームが表示されます。



色を選択し、「適応」から色を反映します。

⑥ 透明度

スタイル設定の透明度を指定します。0~1の間で設定でき、0では完全に透明、1では不透明に設定されます。

3) ラベルの表示設定

地図にレイヤーを表示する際、属性の値をラベルとして表示するか選択します。チェックボックスを選択する事で、ラベルの設定が行えます。

表示したい属性を選択して、ラベルのフォントの大きさを数値で指定して下さい。

4) 縮尺設定

レイヤーの表示を行う縮尺範囲を設定します。

マップの縮尺設定を行っている場合、その値が参考値としてあらかじめ設定されます。

「大縮尺」は地図を拡大する際の表示設定です。設定値以上に拡大しても地図が表示されません。

「小縮尺」は地図を縮小する際の表示設定です。設定値以上に縮小しても地図は表示されません。

5) 確認

指定したスタイルの設定を確認するため、確認フォームが表示されます。

6) 確認フォーム

「色設定」

指定された「属性の値」に対応する「色」が表示されます。「色選択」で色の変更、「値」で対応する属性の値を変更します。

「ラベル設定」

ラベルとして表示する「属性名」と「フォントサイズ」が表示されます。

「縮尺設定」

設定されたレイヤーの表示を行う縮尺範囲を表示します。

7) 描画実行

指定された表示設定でスタイル設定を作成します。

### 3.5.11. スタイルエディタ

ベクトルレイヤーのスタイル設定を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、エディタページがポップアップ内のタブに表示されます。



#### 1) スタイルエディタ

Styled Layer Descriptor (SLD) を記述します。既存のスタイル設定 (SLD) をテキストエディタで開き、コピーアンドペーストで貼り付けて下さい。

SLD の参照する属性を指定する PropertyName の属性名に全角英数字が含まれる場合、半角英数字に変換されます。

ExternalGraphic でアイコンやテクスチャを利用する際に、「アイコンアップロード」でアップロードしたアイコンやテクスチャを指定する場合は以下のようにします。

アップロードした画像の名称が「sample.png」の場合、<OnlineResource>の xlink:href では「xlink:href=" sample.png"」のように xlink:href="画像の名称"として下さい。

#### 2) スタイル更新

エディタに記述されている設定で、スタイル設定を更新します。

### 3.5.12. メタデータ設定

レイヤーのメタデータの管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のメタデータの「編集」から、レイヤーメタデータ設定ページがポップアップに表示されます。

メタデータ編集の詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

基本設定 | 詳細設定 | アップロード

メタデータ更新 | クリアリングハウス登録 | クリアリングハウスから削除

• 配布情報

詳細情報

オンライン

リンク	WMS
記述	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/geoserver/wf
リンク	WFS
記述	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/geoserver/wf

• メタデータ情報

メタデータ詳細

ファイル識別子	http://geoserver.digitalearth-lab.net:25001/main/me
親識別子	test9
日付(メタデータ作成日)	2011-02-07

• 参照系情報

参照系情報

タイトル	延焼危険区域
------	--------

- 1) 基本設定  
メタデータの必須項目のみを編集します。この項目の編集でメタデータに登録できます。  
問合せ先はマップのメタデータで記入した問い合わせ先が利用されます。
- 2) 詳細設定  
メタデータの詳細な編集を行います。
- 3) エディタ、アップロード  
エディタを利用して直接文章を編集します。  
詳細は「[エディタ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.6. ラスターマップ管理

座標系を持ったラスタ画像を登録します。主に航空写真等、複数の色情報を持ったカラー画像を登録します。

#### 3.6.1. 基本情報設定

ラスターマップの情報を編集します。縮尺設定を行いラスタレイヤの表示制限を行います。

マップ詳細情報編集

ID	raster	
タイトル <small>必須</small>	raster5	
説明	raster3	
キーワード	test4	
	<small>*単語と単語の間を","(カンマ)で区切って下さい。(例 防災 建物 避難)</small>	
表示縮尺	大縮尺: 1/ <input type="text" value="設定無し"/>	小縮尺: 1/ <input type="text" value="設定無し"/>
範囲	MinX: <input type="text" value="131.064667"/>	MinY: <input type="text" value="33.622171"/>
	MaxX: <input type="text" value="131.086237"/>	MaxY: <input type="text" value="33.635683"/>
	<input type="button" value="更新"/>	<input type="button" value="リセット"/>

1. タイトル、説明、キーワード  
「タイトル」「説明」「キーワード」の編集を行います。  
タイトルの記述は必須となります。

2. 表示縮尺範囲  
マップの表示縮尺の目安を設定します。

3. 四隅の範囲確認  
マップの範囲を表示します。ラスターマップで範囲は変更できません。

4. 更新  
記入された変更を更新します。

#### 1) タイトル、説明、キーワード

マップの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。ここの情報は WMS の Capabilities に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 表示縮尺範囲

マップの表示する縮尺範囲を設定します。ラスターマップでは、ここで設定された値に従って縮尺の表示範囲が設定されます。

「大縮尺」は地図を拡大する際の表示設定です。設定値以上に拡大しても地図が表示されません。

「小縮尺」は地図を縮小する際の表示設定です。設定値以上に縮小しても地図は表示されません。

#### 3) 四隅の範囲確認

マップの最大範囲を確認します。編集を行う事は出来ません。

#### 4) 更新

記述された内容に従って、マップの情報を更新します。

### 3.6.2. マップ公開管理

ユーザーごとにマップの公開設定を行います。ユーザーの権限が「編集者」の他のユーザーにマップを公開するか設定します。

詳細は、「[マップ共有設定](#)」を参照して下さい。

### 3.6.3. アップロード

ワールドファイルを持った画像をアップロードすることで、レイヤー登録を行います。

ラスターを一度アップロードすると、レイヤーを削除しない限り再度アップロードできません。

#### 新規レイヤ追加

##### データ登録

・画像をアップロードし、レイヤ登録します。

※画像データと対応

※複数の画像をZIP

※日本測地系デ

2. タイトル  
登録するデータのタイトルを必ず記入して下さい。

2. 座標系選択  
座標系は必ず選択して下さい。

3. ファイル選択  
アップロードするファイルを選択して下さい。

4. 送信  
選択した ZIP ファイルをアップロードします。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
ファイル選択	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="アップロード"/>

・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。

※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。

※座標系はEPSGコードを記入して下さい。

1. 登録状況確認  
データの登録作業が可能かどうか表示します。

5. 送信済みファイル選択  
登録するファイルを選択して下さい。

6. 登録  
選択した ZIP ファイルを登録します。

タイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい
	s_raster.zip <input type="button" value="登録"/>

登録できます。

#### 操作手順

##### 1) 登録状況確認

別のユーザーが登録作業をしている間は、データの登録作業が出来ません。現在、サーバーにデータが登録可能か表示します。

2) タイトル

レイヤーのタイトルを記入します。タイトルは必ず記入して下さい。

3) 座標系選択

座標系は必ず選択して下さい。詳細は「3.4.4 アップロード」を参照して下さい。

4) アップロードファイル選択

アップロードファイル選択の「参照」を押して、自分のコンピュータの中のファイルを選択します。画像ファイルとそれに対応するワールドファイル、もしくは Geotiff 画像を ZIP 圧縮したファイルをアップロードします。

複数の座標の定義された画像を一つの ZIP ファイルに圧縮したファイルをアップロードできます。この場合、複数の画像を一つのレイヤーに登録します。

5) 送信

選択したファイルをアップロードします。送信後、画像の変換を行います。

6) 送信済みファイル選択

インストール時に指定したディレクトリ(標準では/map)内に、アップロード用のディレクトリが作成されます。ユーザーごとにディレクトリが作成され、ログイン中のユーザーのフォルダ内に送信された zip ファイルの一覧が表示されます。

一覧に表示されたファイルから登録する zip ファイルを選択します。

・アップロード用ディレクトリへのパスの例

/map/upload/ユーザーID/raster/

既に画像がレイヤーとして登録されている場合、以下のような画面が表示されます。アップロードする場合、「[レイヤー編集](#)」でレイヤーを削除して下さい。

基本情報設定 レイヤー編集 **アップロード** メタデータ 出力形式一覧

**既にレイヤが登録されています。**

データを登録するには、登録されたレイヤを削除して下さい。

[レイヤー一覧に戻る](#)



### 3.6.4. レイヤー編集

ラスターマップでは、他のマップとは違いレイヤーが一つしか登録できません。そのため、マップの設定がそのままレイヤーの設定となります。

「レイヤー編集」では、マップのプレビューの確認と削除行います。



#### 操作手順

##### 1) 凡例

「[凡例設定](#)」を参考にして下さい。

##### 2) 地図プレビュー

マップに登録されているレイヤー全てを表示するプレビュー画面を、別ウィンドウで表示します。

##### 3) 公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうか設定します。初期設定では「公開」する設定になっております。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

##### 4) 削除

登録したレイヤーを削除します。

### 3.6.5. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.6.6. 出力確認

登録したレイヤーの出力形式を確認します。詳細は「[出力確認](#)」を参照して下さい。

#### 出力形式確認

ID	名称	WMS	KML	KMZ	GeoRSS	PDF	GML	SVG
<input checked="" type="checkbox"/> raster	raster5	<a href="#">WMS</a>						

### 3.7. WCS マップ管理

座標系を持ったラスター画像を登録します。主にグレースケールや白黒画像を登録します。

#### 3.7.1. 基本情報管理

WCS マップの基本情報を編集します。詳細は「[基本情報設定](#)」を参照して下さい。

#### 3.7.2. マップ公開管理

ユーザーごとにマップの公開設定を行います。ユーザーの権限が「編集者」の他のユーザーにマップを公開するか設定します。

詳細は、「[マップ共有設定](#)」を参照して下さい。

### 3.7.3. アップロード

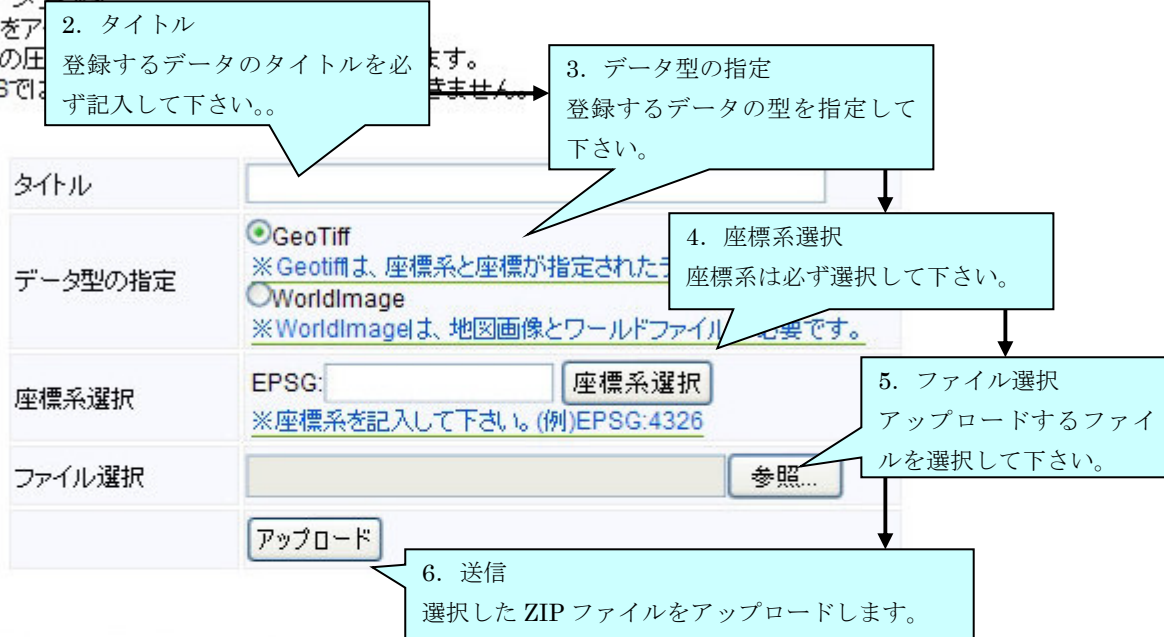
WCS マップに、座標系を持ったグレースケールや白黒画像を登録します。

アップロードするファイルは一つのレイヤーに一つの画像を登録できます。一度に複数の画像を登録する事は出来ません。

#### 新規レイヤ追加

##### データ登録

- ・画像をア
- ・一つの圧
- ・WCSで



- ・サーバにアップロードしたデータを指定し、登録します。
- ※FTP等を利用してサーバにアップロードしたzipファイルを登録します。
- ※座標系はEPSGコードを記入して下さい。



##### 操作手順

###### 1) 登録状況確認

別のユーザーが登録作業をしている間は、データの登録作業が出来ません。現在、サーバーにデータが登録可能か表示します。

###### 2) タイトル

レイヤーのタイトルを記入します。タイトルは必ず記入して下さい。

### 3) データ型の指定

WCS にデータを登録する際、「Geotiff」「WorldImage」を登録できますが、登録する際にどちらのデータ型を登録するか指定する必要があります。

「Geotiff」

座標と座標系が指定された Tiff 画像。

「WorldImage」

画像と画像形式に対応するワールドファイル。

### 4) 座標系選択

座標系は必ず選択して下さい。

選択方法の詳細は「[シェープファイルアップロード](#)」を参照して下さい。

### 5) アップロードファイル選択

アップロードファイル選択の「参照」を押して、自分のコンピュータの中のファイルを選択します。画像ファイルとそれに対応するワールドファイル、もしくは Geotiff 画像を ZIP 圧縮したファイルをアップロードします。

登録できる画像は一つのレイヤーに一つの画像データとなります。

### 6) 送信済みファイル選択

インストール時に指定したディレクトリ (標準では/map) 内に、アップロード用のディレクトリが作成されます。ユーザーごとにディレクトリが作成され、ログイン中のユーザーのフォルダ内に送信された zip ファイルの一覧が表示されます。

一覧に表示されたファイルから登録する zip ファイルを選択します。

・ アップロード用ディレクトリへのパスの例

/map/upload/ユーザーID/wcs/
-------------------------

### 7) 送信

選択したファイルをアップロードします。送信後、画像の変換を行います。

### 3.7.4. レイヤー編集

マップに登録されたレイヤーの管理を行います。レイヤーの基本情報、メタデータの編集から公開情報の編集を行います。また、スタイル設定や並び順を変更する事で、マップの描写を編集します。

レイヤー情報の編集の詳細は「[WCS レイヤー管理](#)」を参照して下さい。

基本情報設定 | アップロード | **レイヤー編集** | メタデータ | 出力形式一覧

① 選択レイヤー削除 | ② 先頭 | 上 | 下 | 最後

ID	名称	編集	スタイル	メタデータ	プレビュー	ダウンロード	公開設定	削除
<input type="checkbox"/> wcstest_1	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_0	ge						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> ③ wcstest_2	geo2	④	⑤	⑥	⑦		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	⑧ <input type="button" value="削除"/> ⑨
<input type="checkbox"/> wcstest_3	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_4	all						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_5	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_6	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_7	test1						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_8	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_9	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_10	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_11	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_12	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_13	teset						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> wcstest_14	test						<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	<input type="button" value="削除"/>

#### ① 選択レイヤー削除

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーを削除します。

#### ② レイヤー並び順変更

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーの並び順を変更する事で、レイヤー全体の並び順を変更します。

#### ③ レイヤーの種類

登録されたレイヤーのジオメトリの種類をアイコンで表示します。

ラスター

#### ④ レイヤー情報編集

レイヤーの基本情報、属性、凡例を編集するフォームをポップアップで表示します。

詳しくは「3.8.2 レイヤー設定」を参照して下さい。

⑤ スタイル設定

レイヤーの表示設定を編集するフォームをポップアップで表示します。  
詳しくは「[スタイル設定](#)」を参照して下さい。

⑥ レイヤーメタデータ編集

レイヤーのメタデータを編集するフォームをポップアップで表示します。  
詳しくは「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

⑦ レイヤープレビュー

レイヤーのみを表示するプレビュー画面を別ウィンドウで表示します。

⑧ レイヤー公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうか設定します。初期設定では「公開」する設定になっております。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

⑨ レイヤー削除

レイヤーを削除します。

### 3.7.5. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.7.6. 出力確認

登録したレイヤの出力形式を確認します。詳細は「[出力確認](#)」を参照して下さい。

ID	名称	WMS	KML	KMZ	GeoRSS	PDF	GML	SVG
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_1	test	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_0	ge	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_2	geo2	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_3	test	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_4	all	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_5	test	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_6	test	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_7	test1	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> wctest_8	test	<a href="#">WMS</a>	<a href="#">KML</a>	<a href="#">KMZ</a>	<a href="#">GeoRSS</a>	<a href="#">PDF</a>	<a href="#">GML</a>	

### 3.8. WCS レイヤー管理

「[レイヤー編集](#)」画面で WCS レイヤーの詳細管理を行います。

#### 3.8.1. レイヤー並び順変更

レイヤーの表示順を変更します。表の並び順に Capability、プレビュー画面のレイヤーの順番が設定されます。

詳細は「[レイヤー並び順変更](#)」を参照して下さい。

基本情報設定 | アップロード | **レイヤー編集** | メタデータ | 出力形式一覧

2. 並び順の変更  
選択したレイヤーを上下どの方向に並べるか選択します。

1. 移動するレイヤーの選択  
移動を行うレイヤーのチェックボックスを選択します。複数のレイヤーを同時に移動できます。

<input type="checkbox"/>	ID	名称	編集	設定	編集	表示	ダウンロード	公開設定	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_1	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_0	ge	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_2	geo2	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>			編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>			編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>			編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_7	test1	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_8	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_9	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_10	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_11	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_12	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_13	teset	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除
<input type="checkbox"/>	wctest_14	test	編集	設定	編集	表示		<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	削除



### 3.8.2. レイヤー設定

レイヤー情報を編集します。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、レイヤー設定ページがポップアップで表示されます。

The screenshot shows a web form for layer settings. At the top, there are two tabs: 'レイヤ設定' (Layer Settings) and '凡例設定' (Legend Settings). The form contains several sections:

- レイヤタイトル** (Layer Title): A text input field containing 'tif'. A red asterisk and the word '必須' (Required) are next to it.
- 説明** (Description): A text input field containing 'wcs2\_0'.
- キーワード** (Keywords): A text input field containing 'WCS, wcs2\_0'. Below it is a blue link: '\*単語と単語の間を","(カンマ)で区切って下さい。(例)防災,建物,避難'.
- 表示縮尺** (Scale): Two dropdown menus for '表示最大縮尺' (Maximum Scale) and '表示最小縮尺' (Minimum Scale), both set to '1/ 設定無し' (1/ No Setting). Below them is a note: '※ Capabilities に表示する縮尺を設定します。' (Set the scale to be displayed in Capabilities).
- 範囲** (Extent): Four input fields for 'MinX', 'MaxX', 'MinY', and 'MaxY' with numerical values.
- 著作権情報** (Copyright Information): An empty text input field.
- 更新** (Update): A button at the bottom left.

Four numbered callout boxes provide instructions:

- 1. タイトル、説明、キーワード**  
レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。  
タイトルは必ず記入して下さい。
- 2. 表示縮尺の表示**  
Capabilities のレイヤーに記述する表示縮尺を設定します。
- 3. 著作権情報**  
レイヤーに登録したデータの著作権情報を記述します。
- 4. 更新**  
記入された変更を更新します。

#### 1) タイトル、説明、キーワード

レイヤーの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。この情報は WMS、WFS の Capabilities のレイヤーの情報に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 表示縮尺範囲

Capabilities の Layer に記述する表示縮尺、最大範囲を設定します。

#### 3) 著作権情報

Capabilities の Layer に記述するデータの著作権情報を記述します。

#### 4) 更新

記述された内容に従って、レイヤーの情報を更新します。

### 3.8.3. 凡例設定

「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、凡例設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

初期設定ではスタイルの設定に従って凡例が出力されますが、ユーザーが指定した画像に凡例を変更できます。

詳細は、「[凡例設定](#)」を参照して下さい。

### 3.8.4. スタイル設定

WCS レイヤーのスタイル設定の管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、スタイル設定ページがポップアップに表示されます。

登録したレイヤーの描画設定を行います。

w\_0 スタイル設定

凡例

描画設定 エディタ

自動描画設定表

1. 塗り分け設定一覧  
レイヤーの塗り分けを行う設定ページを切り換えます。

表示最大縮尺: 0  
表示最小縮尺: 設定無し

ラベル	値	色	透明度	
0m以下	-10.0	#0000ff	1.0	削除
null	1.0	#0000ff	1.0	削除
15m	15.0	#7fff00	1.0	削除
20m	20.0	#ffff00	1.0	削除
25m	25.0	#ff7f00	1.0	削除
30m	30.0	#ff2a00	1.0	削除
30m以上	400.0	#ff0000	1.0	削除

2. 塗り分け設定画面  
選択された塗り分け設定の画面が表示されます。

3. 凡例画像  
設定されている塗り分け設定を表示します。

マップ表示縮尺

最大縮尺

最小縮尺

画像詳細

最大 320.35998535156  
最小 -7.25  
平均 28.058394963002  
偏差 46.466844649924

4. 縮尺範囲  
設定されている縮尺の範囲を表示します。

5. 画像の統計情報  
登録された画像の画素の値の統計情報を表示します。

色設定追加

更新の適応

#### 1) 塗り分け設定一覧

「描画設定」

詳細な設定の変更を行い、スタイル設定を行います。

「エディタ」

SLD形式のスタイル設定を直接記入する事で編集します。

2) 描画設定画面

「1, 塗り分け設定一覧」で選択された描画設定が表示されます。

3) 凡例画像

レイヤーに設定されているスタイル設定の凡例画像を表示します。スタイル設定の更新時に凡例画像も更新されます。

4) 縮尺設定

設定されている縮尺の最大値、最小値を表示します。

5) 画像の統計情報

選択されたレイヤーの画像の統計値を表示します。

「最大値」「最小値」「平均値」「標準偏差」が表示されます。

画像詳細	
最大値	255
最小値	69
平均値	145.21321133333
偏差	26.746161149979

### 3.8.5. スタイル描画設定

WCS レイヤーのスタイル設定を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、スタイル描画設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

登録されているスタイル設定を詳細表示します。

表示最大縮尺: 0

表示最小縮尺: 設定無し

ラベル	値	色	透明度	
0m以下	-10.0	#0000ff	1.0	<input type="button" value="削除"/>
null	1.0	#0000ff	1.0	<input type="button" value="削除"/>
5m	5.0	#007fff	1.0	<input type="button" value="削除"/>
10m	10.0	#00ffff	1.0	<input type="button" value="削除"/>
15m	15.0	#7ffff0	1.0	<input type="button" value="削除"/>
20m	20.0	#ffff00	1.0	<input type="button" value="削除"/>
25m	25.0	#ff7f00	1.0	<input type="button" value="削除"/>
30m	30.0	#ff2a00	1.0	<input type="button" value="削除"/>
30m以上	400.0	#ff0000	1.0	<input type="button" value="削除"/>

- ① 最小縮尺、最大縮尺  
描画設定ごとに、表示できる縮尺の範囲を設定できます。
- ② ラベル  
凡例に表示される、色設定のラベルを記入します。どの色がどの値を指定しているか確認に使用されます。
- ③ 値  
描画の分割を行う値を記入します。記述した値より大きい画素値が「⑥色」で設定した色に描画られます。  
設定されえる「値」は小さい値から順に設定します。値の並び順はスタイル設定作成時、自動的に整列します。
- ④ 色  
設定されている「⑤値」の範囲内の色を設定します。
- ⑤ 透明度  
設定ごとに透明度を指定します。0~1の間で設定でき、0では完全に透明、1では不透明に設定されます。

⑥ 削除

設定を削除します。

⑦ 色設定追加

設定を追加します。設定の最後尾に新たな色設定が追加されます。

label	0	#d71f1e	1.0	削除
-------	---	---------	-----	----

### 3.8.6. スタイル自動描画設定

指定した描画設定から自動的にスタイル設定を作成します。

① w\_0 自動描画設定

② シンボルの色設定

画像の分割方法 値を等間隔で色分け

分割数 10

色の表示方法 グラデーション

色の選択 開始色 #4231bf 終了色 #a81931

透明度 1.0

③ 表示大縮尺: 500 表示小縮尺: 100000

④ 確認 →

⑤ 色設定

色選択	値	透明度
0	#4231bf	-7.25
1	#4c2eb0	29.151109
2	#562ca2	65.552219
3	#602994	101.953328
4	#6a2786	138.354438
5	#752578	174.755548
6	#7f2269	211.156657
7	#89205b	247.557766
8	#931d4d	283.958876
9	#9d1b3f	320.359985

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 500 表示最小縮尺: 100000

⑥ 塗り分けの実行

1) 描画設定対象レイヤー

描画設定の対象レイヤー名が表示されます。

## 2) 属性値から分類設定

WCS レイヤーの画像の値を利用して色の描画を行います。「値を等間隔で色分け」することで、スタイル設定を作成します。

### ① 画像の分割方法

画像の値を「最大値」「最小値」から「②分割数」の値に従って、「値を等間隔で色分け」します。

### ② 分割数

画像の「最大値」「最小値」の差の「分割数」を設定します。

### ③ 色の表現方法

色の描画方法を選択します。

「ランダム」

分割された値ごとに、自動的に色を作成して表現します。

「グラデーション」

「④色の選択」で指定した「開始色」「終了色」に従って、値ごとに段階的に表現します。

### ④ 色の選択

「④色の表現方法」で「グラデーション」が指定された場合、「開始色」「終了色」の色を選択します。

### ⑤ 透明度

スタイル設定の透明度を指定します。0~1の間で設定でき、0では完全に透明、1では不透明に設定されます。

## 3) 縮尺設定

レイヤーの表示を行う縮尺範囲を設定します。

マップの縮尺設定を行っている場合、その値が参考値としてあらかじめ設定されます。

「大縮尺」は地図を拡大する際の表示設定です。設定値以上に拡大しても地図が表示されません。

「小縮尺」は地図を縮小する際の表示設定です。設定値以上に縮小しても地図は表示されません。

## 4) 確認

指定したスタイルの設定を確認するため、確認フォームを表示します。

## 5) 確認フォーム

「色設定」

指定された「属性の値」に対応する「色」が表示されます。「色選択」で色の変更、「値」で対応する属性の値を変更します。

「縮尺設定」

設定されたレイヤーの表示を行う縮尺範囲を表示します。

## 6) 塗り分けの実行

指定された表示設定でスタイル設定を作成します。

### 3.8.7. スタイルエディタ

WCS レイヤーのスタイル設定を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のスタイルの「設定」から、エディタページがポップアップ内のタブに表示されます。

スタイルを直接エディタで編集します。エディタの詳細は「3.4.10 エディタ」を参照して下さい。



#### 1) スタイルエディタ

Styled Layer Descriptor (SLD) を記述します。既存のスタイル設定 (SLD) をテキストエディタで開き、コピーアンドペーストで貼り付けて下さい。

ColorMapEntry の「quantity」は必ず小さい値から記述して下さい。登録時にエラーとなります。

#### 2) テキスト更新

エディタに記入されている設定で、スタイル設定を更新します。

### 3.8.8. メタデータ設定

レイヤーのメタデータの管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のメタデータの「編集」から、レイヤーメタデータ設定ページがポップアップに表示されます。

メタデータ編集の詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

## 3.9. KML マップ管理

### 3.9.1. 基本情報管理

KML マップの基本情報を編集します。詳細は「[基本情報設定](#)」を参照して下さい。

### 3.9.2. マップ公開管理

ユーザーごとにマップの公開設定を行います。ユーザーの権限が「編集者」の他のユーザーにマップを公開するか設定します。

詳細は、「[マップ共有設定](#)」を参照して下さい。



### 3.9.3. アップロード

KML マップに、KML, KMZ ファイルを登録します。

**新規レイヤ追加**

データ登録  
・KMLファイルを上ロードし、レイヤ  
※アップロードするファイルの拡張子は  
※KMLファイルで利用できる測地系は

1. タイトル  
登録するデータのタイトルを必ず記入して下さい。

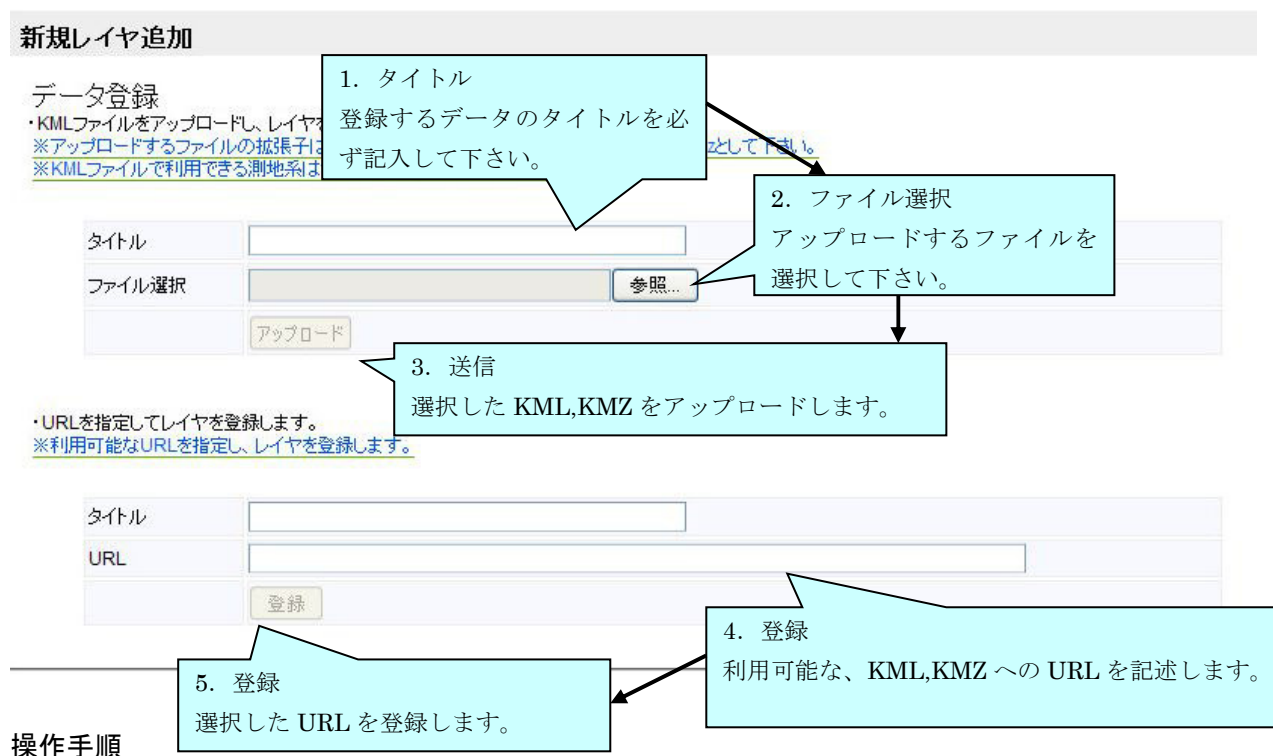
2. ファイル選択  
アップロードするファイルを選択して下さい。

3. 送信  
選択した KML, KMZ をアップロードします。

4. 登録  
利用可能な、KML, KMZ への URL を記述します。

5. 登録  
選択した URL を登録します。

操作手順



#### 1) タイトル

レイヤーのタイトルを記入します。タイトルは必ず記入して下さい。

#### 2) アップロードファイル選択

アップロードファイル選択の「参照」を押して、自分のコンピュータの中のファイルを選択します。KML、もしくは圧縮形式である KMZ をアップロードします。登録できる画像は一つのレイヤーに一つの KML となります。

#### 3) URL

サーバー管理者にあらかじめ指定されたディレクトリに zip 圧縮されたファイルを送信します。一覧に表示された送信されたファイルを選択します。

#### 4) 送信

選択したファイルをアップロードします。送信後、KML の変換を行います。

### 3.9.4. レイヤー編集

マップに登録されたレイヤーの管理を行います。レイヤーの基本情報、メタデータの編集から公開情報の編集を行います。



#### ① 選択レイヤー削除

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーを削除します。

#### ② レイヤーの種類

登録されたレイヤーの種類をアイコンで表示します。

XML レイヤー

#### ③ レイヤー情報編集

レイヤーの基本情報、更新設定、凡例を編集するフォームをポップアップで表示します。詳しくは「[KML レイヤー管理](#)」を参照して下さい。

#### ④ レイヤーメタデータ編集

レイヤーのメタデータを編集するフォームをポップアップで表示します。詳しくは「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

#### ⑤ レイヤープレビュー

レイヤーのみを表示するプレビュー画面を別ウィンドウで表示します。

#### ⑥ レイヤー公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうか設定します。初期設定では「公開」する設定になっております。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

#### ⑦ レイヤー削除

レイヤーを削除します。

### 3.9.5. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

## 3.10. KML レイヤー管理

### 3.10.1. レイヤー設定

レイヤー情報を編集します。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、レイヤー設定ページがポップアップで表示されます。

The screenshot shows the 'レイヤ設定' (Layer Settings) page with the following fields and callouts:

- レイヤタイトル** (Layer Title): KMLレイヤ. Callout 1: 1. タイトル、説明、キーワード  
レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。  
タイトルは必ず記入して下さい。
- 説明** (Description): KMLの登録テストです. Callout 1: 1. タイトル、説明、キーワード  
レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。  
タイトルは必ず記入して下さい。
- キーワード** (Keywords): KML, テスト. Callout 1: 1. タイトル、説明、キーワード  
レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。  
タイトルは必ず記入して下さい。
- 表示縮尺** (Scale): 表示最大縮尺: 設定無し, 表示最小縮尺: 設定無し. Callout 2: 2. 表示縮尺の表示  
レイヤーに設定されている表示縮尺を表示します。
- 範囲** (Range): MinX: 135.56, MinY: 36.14, MaxX: 135.61, MaxY: 36.2. Callout 2: 2. 表示縮尺の表示  
レイヤーに設定されている表示縮尺を表示します。
- 著作権情報** (Copyright Information): Empty. Callout 3: 3. 著作権情報  
Capabilities のレイヤーに著作権情報を記述します。
- 更新** (Update) button. Callout 4: 4. 更新  
記入された変更を更新します。

#### 1) タイトル、説明、キーワード

レイヤーの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。WMS、WFS の Capabilities のレイヤーの情報が反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 表示縮尺範囲

レイヤーの縮尺範囲を表示します。レイヤーのスタイルで設定された際の縮尺範囲の値が表示されます。

#### 3) 著作権情報

Capabilities のレイヤー情報に著作権情報が記述されます。

#### 4) 更新

記述された内容に従って、レイヤーの情報を更新します。

### 3.10.2. 更新設定

登録した KML レイヤーの更新設定を行います。

外部の KML を定期的を取得し、随時レイヤーの更新を行います。更新時刻はサーバーの Cron で設定された時刻となります。

レイヤ設定 更新設定 凡例設定

※取得先のURLを設定することで、レイヤを定期的に更新します。

更新URL:  ①

②

※レイヤの更新の設定を行います。

更新を行わない

更新を行う ③

④

① 更新 URL

KML へアクセス出来る URL を設定します。

② 更新

レイヤーのキャッシュを削除し、レイヤーを更新します。

③ 更新設定

レイヤーの更新設定を行います。

④ 設定更新

レイヤーの更新日時の設定を更新します。

### 3.10.3. 凡例設定

「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、凡例設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

初期設定ではスタイルの設定に従って凡例が出力されますが、ユーザーが指定した画像に凡例を変更できます。

詳細は、「[凡例設定](#)」を参照して下さい。

### 3.10.4. メタデータ設定

レイヤーのメタデータの管理を行います。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内のメタデータの「編集」から、レイヤーメタデータ設定ページがポップアップに表示されます。

メタデータ編集の詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.11. 時系列マップ管理

レイヤーごとに日時の情報を持ったラスター画像を複数登録します。指定された日時のラスター画像を出力します。

#### 3.11.1. 基本情報管理

時系列マップの基本情報を編集します。詳細は「[基本情報設定](#)」を参照して下さい。

#### 3.11.2. マップ公開管理

ユーザーごとにマップの公開設定を行います。ユーザーの権限が「編集者」の他のユーザーにマップを公開するか設定します。

詳細は、「[マップ共有設定](#)」を参照して下さい。

### 3.11.3. レイヤー登録

時系列を持つラスター画像を定期的を取得するレイヤーを設定します。

時系列データは、サーバローカルの指定ディレクトリ内からアクセス可能なディレクトリを設定するか、パッシブモードで接続できる FTP サーバーのディレクトリを設定します。

1. 接続設定  
時系列データの取得設定を選択します。

2. レイヤー設定  
レイヤーのタイトル、登録する時系列データの座標系を設定します。

3. データフォルダ設定  
時系列データの取得を行うディレクトリのパス、日時情報の取得設定、登録するデータの容量上限を設定します。

4. 日時設定  
データの登録開始日時、定期的に取得を実行する間隔、取得失敗時のリトライの間隔を設定します。  
日時のタイムゾーンを選択します。

5. メタデータ設定  
レイヤーの Capabilities 情報に記述する日時情報を設定します。

6. 登録  
選択した ZIP ファイルを登録します。

●ローカル接続設定 ○FTP接続設定

・ローカルフォルダ  
※ローカルフォルダから時系列データを取得します。

レイヤ設定

レイヤタイトル

座標系選択 EPSG:  座標系選択  
※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326

データフォルダ設定

ディレクトリパス time/   
※指定フォルダからの時系列データフォルダへのパスを記述します。

日時取得設定   
※ファイル名から日時を取得する文字列パターンを記述します。

容量上限 -1 MB  
※保存する時系列データの合計ファイルサイズの上限を設定します。

日時設定

開始日時 日付:   
時刻:   
※時系列データの更新開始日時を設定します。

取得間隔 0 日 0 時 0 分  
※時系列データを取得する間隔を設定します。

リトライ間隔 0 分  
※取得失敗時、再度取得するまでの間隔を設定します。

タイムゾーン設定 Asia/Tokyo  
※時系列データのタイムゾーンを指定します。日時はUTCに変換されます。

メタデータ設定

更新設定 ●自動設定 ○手動設定  
※日時情報の更新を自動で行うか設定します。

開始日時情報 日付:   
時刻:   
※Capabilitiesに出力するデータ登録開始日時を設定します。

終了日時情報 日付:   
時刻:   
※Capabilitiesに出力するデータ登録終了日時を設定します。

標準日時情報 日付:   
時刻:   
※日時を設定しない際に表示するデータ日時の設定を行います。

更新間隔情報 0 日 0 時 0 分  
※Capabilitiesに出力する、データの更新間隔を設定します。

登録

## 操作手順

### 1) 接続設定

時系列データの取得先がローカルフォルダかFTPサーバーか選択します。

#### ① ローカル接続設定

インストール先に作成される「time」フォルダから接続可能なフォルダを指定します。

#### ② FTP 接続設定

パッシブモードで接続できるFTPサーバーの接続設定を行います。

### 2) レイヤー設定

#### ① タイトル

レイヤーのタイトルを記述します。

#### ② 座標系

レイヤーとレイヤーに登録される時系列データの座標系を設定します。異なる座標系を持つ時系列データが含まれる場合は、座標系ごとにレイヤーに登録して下さい。

### 3) データフォルダ設定

#### ① ディレクトリパス

インストール先に作成される「time」フォルダから接続可能なフォルダを設定します。

「time」フォルダからの相対パスを記述して下さい。

#### ② 日時取得設定

データの日時には ISO8601 の定められた記述形式を利用します。時系列データの日時を設定する方法は以下の2通りとなります。

##### ・ index.txt

「ディレクトリパス」で指定したフォルダに「ファイル名」, 「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」形式の日時をタブ区切りで記述したテキストファイルを置きます。

一度登録に利用された index.txt はリネームされるため利用できなくなります。

##### ・ 文字列パターン

ファイル名からデータの日時を取得するための文字列パターンを記述します。index.txt が見つからない場合は、文字列パターンを利用してファイル名から日時を取得します。

日時の対応は年:「y」, 月:「M」, 日:「d」, 時:「H」, 分:「m」, 秒:「s」となり、パターンに日時以外の文字列が含まれる場合「'」シングルクォートで括ります。

画像の拡張子は記述しません。

(例)「2012-01-01T12:01:01.tif」の場合、「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」と記述

#### ③ 容量上限

定期的取得される時系列データのファイルサイズ合計の上限を設定します。上限を超えた場合、先に登録された時系列データから削除されます。

上限を無しにする場合は、値に-1を設定します。

### 4) 日時設定

時系列データの登録開始日時と更新間隔を設定します。

#### ① 開始日時

時系列データの開始日時を設定します。

時系列データをレイヤーに登録する際に、設定された日時以降のデータのみを登録します。

#### ② 取得間隔

時系列データを定期的取得する時間間隔を設定します。

設定された時間ごとにデータフォルダの時系列データを確認し、取得します。



### ③ リトライ間隔

定期取得で時系列データが取得できなかった場合、再度データフォルダを確認するまでの間隔を設定します。

取得間隔で設定された時間より長い間隔を設定することはできません。

### ④ タイムゾーン

取得した日時は UTC に変換して格納するため、登録する日時のタイムゾーンを選択します。

## 5) メタデータ設定

Capabilities のレイヤーに記述する日時情報を設定します。

### ① 更新設定

「自動設定」は、「日時設定」で設定した時系列データの更新間隔と、登録された時系列データの日時から最新、最古の日時情報を取得して日時情報の更新を行います。

「手動設定」は、設定された日時情報の更新を手動で行います。

### ② 開始日時情報

時系列データの登録期間の開始日時を設定します。

### ③ 終了日時情報

時系列データの登録期間の終了日時を設定します。

### ④ 標準日時情報

時系列データがリクエストされた際に、リクエストに日時が設定されていなかった場合表示する時系列データの日時を設定します。

### ⑤ 更新間隔情報

時系列データの登録期間中の更新間隔を設定します。

## 6) 登録

設定された時系列データの取得設定を送信して時系列レイヤーを登録します。

ローカル接続設定  FTP接続設定

・FTPサーバ  
※FTPサーバに接続して時系列データを取得します。

レイヤ設定	
レイヤタイトル	<input type="text"/>
座標系選択	EPSG: <input type="text"/> <input type="button" value="座標系選択"/> ※座標系を記入して下さい。(例)EPSG:4326
FTP 接続設定	
ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号	<input type="text" value="21"/>
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ディレクトリパス	※時系列データが保存されているフォルダのパスを記述します。
日時取得設定	※ファイル名から日時を取得する文字列/パターンを記述します。
容量上限	-1 MB ※保存する時系列データの合計ファイルサイズの上限を設定します。

### 7. FTP 接続設定

時系列データの取得を行う FTP サーバーの接続設定を行います。

## 7) FTP 接続設定

「接続設定」で FTP 接続設定を選択した場合、FTP 接続設定フォームが表示されます。FTP サーバーはパッシブモードで接続できる必要があります。

① ホスト名

FTP サーバーのアドレスを記述します。

② ポート番号

FTP サーバーに接続できるポート番号を記述します。

③ ユーザー名

FTP サーバーにログインできるユーザー名を記述します。

④ パスワード

FTP サーバーのログインパスワードを記述します。

⑤ ディレクトリパス

FTP サーバーにログインしたユーザーで参照できる、時系列データのディレクトリパスを記述します。

⑥ 日時取得設定

データの日時には ISO8601 の定められた記述形式を利用します。時系列データの日時を設定する方法は以下の 2 通りとなります。

・ index.txt

「ディレクトリパス」で指定したフォルダに「ファイル名」, 「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」形式の日時をタブ区切りで記述したテキストファイルを置きます。

一度登録に利用された index.txt はリネームされるため利用できなくなります。

・ 文字列パターン

ファイル名からデータの日時を取得するための文字列パターンを記述します。index.txt が見つからない場合は、文字列パターンを利用してファイル名から日時を取得します。

日時の対応は年:「y」, 月:「M」, 日:「d」, 時:「H」, 分:「m」, 秒:「s」となり、パターンに日時以外の文字列が含まれる場合「'」シングルクォートで括ります。

画像の拡張子は記述しません。

(例)「2012-01-01T12:01:01.tif」の場合、「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」と記述

⑦ 容量上限

定期的取得される時系列データのファイルサイズ合計の上限を設定します。上限を超えた場合、先に登録された時系列データから削除されます。

上限を無しにする場合は、値に-1を設定します。

### 3.11.4. レイヤー編集

マップに登録されたレイヤーの管理を行います。レイヤーの基本情報、メタデータの編集から公開情報の編集を行います。また、スタイル設定や並び順を変更する事で、マップの描写を編集します。

レイヤー情報の編集の詳細は「[時系列レイヤー管理](#)」を参照して下さい。



#### ① 選択レイヤー削除

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーを削除します。

#### ② レイヤー登録情報

登録された時系列データの時間範囲と取得間隔を表示します。

#### ③ レイヤー情報編集

レイヤーの基本情報、属性、凡例を編集するフォームをポップアップで表示します。  
詳しくは「[レイヤー設定](#)」を参照して下さい。

#### ④ スタイル設定

レイヤーの表示設定を編集するフォームをポップアップで表示します。  
詳しくは「[スタイル設定](#)」を参照して下さい。

#### ⑤ レイヤーメタデータ編集

レイヤーのメタデータを編集するフォームをポップアップで表示します。  
詳しくは「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

#### ⑥ レイヤープレビュー

レイヤーのプレビュー画面を別ウィンドウで表示します。

#### ⑦ レイヤー公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうか設定します。初期設定では「公開」する設定になっております。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

#### ⑧ レイヤー削除

レイヤーを削除します。



### 3.11.5. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.11.6. 出力確認

登録したレイヤーの出力形式を確認します。詳細は「[出力確認](#)」を参照して下さい。

出力形式確認								
ID	名称	WMS	KML	KMZ	GeoRSS	PDF	GML	SVG
 bosai1_0	防災マップ	<a href="#">WMS</a>						
 bosai1_1	防災マップ	<a href="#">WMS</a>						

### 3.12. 時系列レイヤー管理

時系列レイヤーの設定変更、確認を行います。

#### 3.12.1. レイヤー設定

レイヤー情報を編集します。「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、レイヤー設定ページがポップアップで表示されます。

The screenshot shows the 'レイヤー設定' (Layer Settings) page with the following fields and callouts:

- レイヤタイトル**: test (Callout: 1. タイトル、説明、キーワード レイヤーのタイトル、説明、キーワードを編集します。タイトルは必ず記入して下さい。)
- 説明**: (Empty field)
- キーワード**: (Empty field)
- 範囲**: MinX: 139.941136485895, MinY: 36.0923885410676, MaxX: 140.31051700893, MaxY: 36.3916065566733
- 更新設定**:  自動設定  手動設定 (Callout: 2. 更新設定 Capabilities のレイヤーに記述する日時情報を設定します。)
- 開始日時情報**: 日付: 1922-04-20, 時刻: 11:00:00 (Callout: ※Capabilitiesに出力するデータ登録開始日時を設定します。)
- 終了日時情報**: 日付: 1930-04-20, 時刻: 12:00:00 (Callout: ※Capabilitiesに出力するデータ登録終了日時を設定します。)
- 標準日時情報**: 日付: 1930-04-20, 時刻: 12:00:00 (Callout: ※日時を設定しない際に表示するデータ日時の設定を行います。)
- 更新間隔情報**: 10 日 0 時 0 分 0 秒 (Callout: ※Capabilitiesに出力するデータ更新間隔を設定します。)
- 時間情報出力設定**:  日時範囲 (開始日時/終了日時)  更新間隔 (開始日時/終了日時/更新間隔)  全ての日時 (日時1, 日時2, 日時3) (Callout: ※Capabilitiesに出力する時間情報の書式を設定します。)
- 削除設定**:  時系列画像を定期的に削除します。 0 日 0 時 0 分 0 秒 (Callout: ※登録時刻から設定した日時分経過した画像を削除します。)
- 著作権情報**: (Empty field) (Callout: 3. 著作権情報 レイヤーに登録したデータの著作権情報を記述します。)
- 更新** button (Callout: 4. 更新 記入された変更を更新します。)

#### 1) タイトル、説明、キーワード

レイヤーの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。この情報は WMS、WCS の Capabilities のレイヤーの情報に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 更新設定

Capabilities のレイヤーに記述する日時情報を設定します。

① 更新設定

「自動設定」は、「日時設定」で設定した時系列データの更新間隔と、登録された時系列データの日時から最新、最古の日時情報を取得して日時情報の更新を行います。

「手動設定」は、設定された日時情報の更新を手動で行います。

② 開始日時情報

時系列データの登録期間の開始日時を設定します。

③ 終了日時情報

時系列データの登録期間の終了日時を設定します。

④ 標準日時情報

時系列データがリクエストされた際に、リクエストに日時が設定されていなかった場合表示する時系列データの日時を設定します。

⑤ 更新間隔情報

時系列データの登録期間中の更新間隔を設定します。

3) 削除設定

登録した日時がサーバーの時刻から一定時間過ぎた時系列画像の削除を行う設定です。チェックを入れる事で削除設定を行います。

削除は時系列データの登録の際に、登録済みの時系列画像の日時を確認して行います。

4) 著作権情報

Capabilities の Layer に記述するデータの著作権情報を記述します。

5) 更新

記述された内容に従って、レイヤーの情報を更新します。

### 3.12.2. 時系列一覧

レイヤー設定   時系列一覧   取得設定   凡例設定			
先頭 << 前へ <a href="#">次へ</a> >> 最後			1-12 / 32件
合計サイズ:485KB / 上限サイズ:500MB			
ID	登録日時	プレビュー	削除
1	2013-01-10T10:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
2	2013-01-10T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
3	2013-01-10T12:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
4	2013-01-10T13:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
5	2013-01-20T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
6	2013-02-10T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
7	2013-02-11T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
8	2013-02-12T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
9	2013-02-13T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
10	2013-02-14T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
11	2013-02-15T11:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>
12	2013-02-15T12:10:00	<a href="#">表示</a>	<a href="#">削除</a>

① 時系列データ一覧

レイヤーに登録された時系列データの日時を表示します。

② 登録合計サイズ

レイヤーに登録された時系列データのサイズ合計と、レイヤーに設定された容量上限を表示します。

③ プレビュー表示

日時ごとの時系列データのプレビュー画面を別ウィンドウで開きます。

④ 削除

時系列データをレイヤーから削除します。

### 3.12.3. 取得設定

時系列データの取得設定を変更します。

レイヤ設定	時系列一覧	取得設定	凡例設定
<input checked="" type="radio"/> ローカル接続設定 <input type="radio"/> FTP接続設定			
①	登録設定		
②	定期取得	<input type="radio"/> 取得を行う <input checked="" type="radio"/> 取得を行わない	
レイヤ設定			
③	座標系	EPSG:2451 ※(例)EPSG:4326	
データフォルダ設定			
④	ディレクトリパス	time/timedata	
⑤	日時取得設定	yyyyMMddHHmmss ※年:y,月:M,日:d,時:H,分:m,秒:s ※例 yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss(2012-01-01T12:01:01.tif)	
⑥	容量上限	-1 MB ※上限を設定しない場合は-1を記入	
日時設定			
⑦	開始日時	日付:2012-08-01 時刻:20:00:00	
⑧	取得間隔	0 日 0 時 9 分	
⑨	スライ間隔	6 分	
⑩	タイムゾーン設定	Asia/Tokyo	
登録 <b>⑪</b>			

#### 操作手順

##### ① 接続設定

時系列データの取得先がローカルの場合「ローカル接続設定」か FTP サーバーの場合「FTP 接続設定」を選択します。

##### ② 定期取得

定期的に時系列データの取得を行うか設定します。

##### ③ 座標系

レイヤーとレイヤーに登録される時系列データの座標系を設定します。異なる座標系を持つ時系列データが含まれる場合は、座標系ごとにレイヤーを登録して下さい。

##### ④ ディレクトリパス

インストール先に作成される「time」フォルダから接続可能なフォルダを設定します。「time」フォルダからの相対パスを記述して下さい。

##### ⑤ 日時取得設定

時系列データの日時を設定する方法は以下の2通りとなります。

- ・ index.txt

「ディレクトリパス」で指定したフォルダに「ファイル名」, 「yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss」形式の日時をタブ区切りで記述したテキストファイルを置きます。

一度登録に利用された index.txt はリネームされるため利用できなくなります。

- ・ 文字列パターン

ファイル名からデータの日時を取得するための文字列パターンを記述します。index.txt が見つか



らない場合は、文字列パターンを利用してファイル名から日時を取得します。

日時の対応は年:「y」、月:「M」、日:「d」、時:「H」、分:「m」、秒:「s」となり、パターンに日時以外の文字列が含まれる場合「'」シングルクォートで括ります。

画像の拡張子は記述しません。

(例)「2012-01-01T12:01:01.tif」の場合、「yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss」と記述

#### ⑥ 容量上限

定期的を取得される時系列データのファイルサイズ合計の上限を設定します。上限を超えた場合、先に登録された時系列データから削除されます。

上限を無しにする場合は、値に-1を設定します。

#### ⑦ 開始日時

時系列データの開始日時を設定します。

時系列データをレイヤーに登録する際に、設定された日時以降のデータのみを登録します。

#### ⑧ 取得間隔

時系列データを定期的を取得する時間間隔を設定します。

設定された時間ごとにデータフォルダの時系列データを確認し、取得します。

#### ⑨ リトライ間隔

定期取得で時系列データが取得できなかった場合、再度データフォルダを確認するまでの間隔を設定します。

取得間隔で設定された時間より長い間隔を設定することはできません。

#### ⑩ タイムゾーン

取得した時系列データの日時を格納する際に UTC に変換を行います。日時のタイムゾーンを設定します。

#### ⑪ 登録

変更した時系列データ取得設定を更新します。

FTP接続設定	
① ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号	5432 ②
③ ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/> ④ <small>※変更がある場合は記述して下さい。</small>
⑤ ディレクトリパス	data/bosai/bosai5
⑥ 日時取得設定	yyyyMMddHHmmss <small>※年.y.月.M.日:d.時.H.分:m.秒:s ※例 yyyy-MM-ddTHH:mm:ss(2012-01-01T12:01:01.tif)</small>
⑦ 容量上限	-1 MB <small>※上限を設定しない場合は-1を記入</small>

「接続設定」でFTP接続設定を選択した場合、FTP接続設定フォームが表示されます。FTPサーバーはパッシブモードで接続できる必要があります。

#### ① ホスト名

FTPサーバーのアドレスを記述します。

#### ② ポート番号

FTPサーバーに接続できるポート番号を記述します。

③ ユーザー名

FTP サーバーにログインできるユーザー名を記述します。

④ パスワード

FTP サーバーのログインパスワードを記述します。

⑤ ディレクトリパス

FTP サーバーにログインしたユーザーで参照できる、時系列データのディレクトリパスを記述します。

⑥ 日時取得設定

データの日時には ISO8601 の定められた記述形式を利用します。時系列データの日時を設定する方法は以下の 2 通りとなります。

- ・ index.txt

「ディレクトリパス」で指定したフォルダに「ファイル名」, 「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」形式の日時をタブ区切りで記述したテキストファイルを置きます。

一度登録に利用された index.txt はリネームされるため利用できなくなります。

- ・ 文字列パターン

ファイル名からデータの日時を取得するための文字列パターンを記述します。index.txt が見つからない場合は、文字列パターンを利用してファイル名から日時を取得します。

日時の対応は年:「y」, 月:「M」, 日:「d」, 時:「H」, 分:「m」, 秒:「s」となり、パターンに日時以外の文字列が含まれる場合「'」シングルクォートで括ります。

画像の拡張子は記述しません。

(例)「2012-01-01T12:01:01.tif」の場合、「yyyy-MM-dd' T' HH:mm:ss」と記述

⑦ 容量上限

定期的取得される時系列データのファイルサイズ合計の上限を設定します。上限を超えた場合、先に登録された時系列データから削除されます。

上限を無しにする場合は、値に-1を設定します。

#### 3.12.4. 凡例設定

「[レイヤー編集](#)」のレイヤー一覧表内の「編集」から、凡例設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

初期設定ではスタイルの設定に従って凡例が出力されますが、ユーザーが指定した画像に凡例を変更できます。

詳細は、「[凡例設定](#)」を参照して下さい。

### 3.12.5. スタイル設定

登録したレイヤーの描画設定を行います。

- 1) 塗り分け設定一覧  
「描画設定」  
詳細な設定の変更を行い、スタイル設定を行います。  
「エディタ」  
SLD形式のスタイル設定を直接記入する事で編集します。
- 2) 描画設定画面  
「1, 塗り分け設定一覧」で選択された設定画面が表示されます。
- 3) 凡例画像  
レイヤーに設定されているスタイル設定の凡例画像を表示します。スタイル設定の更新時に凡例画像も更新されます。
- 4) 画像の最大、最小  
登録された時系列データの画素値の最大値、最小値を表示します。

### 3.12.6. スタイル描画設定

登録されているスタイルの設定を行います。

自動描画設定画面表示

①

②

表示最大縮尺: 500 ※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。  
表示最小縮尺: 250000 ※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

ラベル	値	色	透明度	
label0	0.0	#5000ff	1.0	削除
label1	1.0	#1900e5	1.0	削除
label2	2.0	#3800cc	1.0	削除
label3	3.0	#4c00b2	1.0	削除
label4	4.0	#660099	1.0	削除
label5	5.0	#7f007f	1.0	削除
label6	6.0	#990065	1.0	削除
label7	7.0	#b2004c	1.0	削除

色設定追加

更新の適応

⑨

#### ① 自動描画設定画面表示

時系列データのスタイル設定を、最大値から最小値の値から作成する画面を表示します。

#### ② 表示最小縮尺、表示最大縮尺

時系列データの表示される縮尺を設定します。

「表示最大縮尺」地図拡大時に設定した縮尺以下になると表示されません。

「表示最小縮尺」地図縮小時に設定した縮尺以上になると表示されません。

#### ③ ラベル

凡例に表示される色設定のラベルを記入します。

#### ④ 値

描画の分割を行う値を記入します。

記述した値より大きい画素値が「⑤ 色」で設定した色に描画されます。

値が小さい順に設定します。値の並び順は登録時に整列されます。

#### ⑤ 色

設定されている「④値」の範囲内の色を設定します。

#### ⑥ 透明度

設定ごとに透明度を指定します。

「0～1」の間で設定でき、「0」は完全に透明、「1」は不透明に設定されます。

#### ⑦ 削除

設定を削除します。

### ⑧ 色設定追加

色設定を追加します。設定の最後尾に新たな色設定が追加されます。

label	0	#d71f1e	1.0	削除
-------	---	---------	-----	----

### ⑨ 更新の適応

設定したスタイル設定に更新します。

## 3.12.7. スタイル自動描画設定

指定した描画設定から自動的にスタイル設定を作成します。

ame1\_0 自動描画設定

シンボルの色設定

① 画像の分割方法: 最大値、最小値から等間隔で色分け

② 分割数: 10

③ 色の表示方法: グラデーション

④ 色の選択: 開始色 #0000ff, 終了色 #ff0000

⑤ 透明度: 1.0

表示最大縮尺: 100 ※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

⑥ 表示小縮尺: 1000000 ※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

⑦ 確認

#### ① 属性値から分類設定

画像の最大値、最小値を等間隔で色分けすることで、スタイル設定を作成します。

#### ② 分割数

画像の最大値、最小値の差を分割する数を設定します。

#### ③ 色の表示方法

「グラデーション」で値ごとに段階的に表現します。

#### ④ 色の選択

グラデーションの「開始色」「終了色」の色を選択します。

#### ⑤ 透明度

設定ごとに透明度を指定します。

「0～1」の間で設定でき、「0」は完全に透明、「1」は不透明に設定されます。

#### ⑥ 縮尺設定

時系列レイヤーの表示を行う縮尺範囲を設定します。

#### ⑦ 確認

指定したスタイルの設定を確認するため、確認フォームを表示します。

ame1\_0 自動描画設定

色設定

色選択	値	ラベル	透明度
0	#0000ff	label0	1.0
1	#1900e5	label1	1.0
2	#8900cc	label2	1.0
3	#4c00b2	label3	1.0
4	#660099	label4	1.0
5	#71007f	label5	1.0
6	#990065	label6	1.0
7	#b2004c	label7	1.0
8	#cc0032	label8	1.0
9	#e50019	label9	1.0

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 100  
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 1000000  
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

描画設定 戻る

### ⑧ 色設定

自動描画設定で行った描画設定の確認を行います。  
色、値、ラベル、透明度の設定を編集できます。

### ⑨ 表示縮尺

設定されたレイヤーの表示を行う縮尺範囲を表示します。

### ⑩ 描画設定

自動描画設定をスタイル設定に反映します。

### ⑪ 戻る

自動塗り分け設定画面に戻ります。

## 3.12.8. スタイルエディタ

スタイルを直接エディタで編集します。エディタの詳細は「[エディタ編集](#)」を参照して下さい。

## 3.12.9. メタデータ設定

レイヤーメタデータ設定ページがポップアップに表示されます。  
メタデータ編集の詳細は「[メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.13. SOS マップ管理

Sensor Observation Service(以下 SOS)のインターフェースに基づき観測データを外部 SOS サーバから取得して e コミマップ等の Web-GIS に対して SOS マップを配信します。

#### 3.13.1. 基本情報設定

外部 SOS サーバにおける SOS サービスリクエスト URL を基本情報設定画面で入力して、SOS サービスの基本情報を取得し、必要に応じて編集します。

名前: admin

設定 ヘルプ ログアウト

## 相互運用gサーバ

地図管理

- マップ一覧
- ベクタ
- ラスタ
- WCS
- KML
- SVG
- 時系列
- SOS
- 選択マップ
- マップ新規作成
- カテゴリ一覧
- カテゴリテスト1
- カテゴリ新規作成
- カテゴリ管理

プレビュー

- プレビュー一覧

### マップ設定画面 <<マップ一覧に戻る

マップタイトル	SOSテスト
WMS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wmscapabilities?id=sos04270843
WFS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wfscapabilities?id=sos04270843

基本情報設定 ログ表示 レイヤー編集 メタデータ 出力形式一覧

#### マップ詳細情報編集

ID	sos04270843
タイトル <small>必須</small>	SOSテスト
説明	
キーワード	
SOSのURL	

登録 リセット

1. SOS サービスの URL を入力して GetCapabilities を実行します。  
GetCapabilities のレスポンスを受けて、画面が更新されます。

#### 1) SOS のサービス URL を入力

SOS サービスの URL を入力して登録ボタンを押下することで GetCapabilities を実行します。

#### 2) 登録ボタン押下後の基本情報設定画面更新

GetCapabilities のレスポンスを受けて、画面が更新されます。

- ① GetCapabilities リクエスト URL を表示します。
- ② GetCapabilities レスポンスのステーション総数を表示します
- ③ GetCapabilities レスポンスの観測種別数を表示します
- ④ 「範囲取得」ボタン押下によりステーション範囲を緯度、経度で表示します
- ⑤ 最新データ取得処理の更新開始日時と更新間隔を設定します  
現時刻から過去は無効、デフォルトは空欄とします
- ⑥ 過去データ取得処理の更新開始日時と更新間隔を設定します
- ⑦ 観測データ取得制限時間を設定します
- ⑧ 観測データ取得範囲を設定します  
デフォルトは空欄です。

相互運用gサーバ 名前: admin

[設定](#) [ヘルプ](#) [ログアウト](#)

地図管理

- マップ一覧
- カテゴリー
- WCS
- KML
- SYG
- 特長
- SOS
- 選択マップ
- マップ新規作成
- カテゴリー一覧
- カテゴリーリスト
- カテゴリー新規作成
- カテゴリー管理
- プレビュー
- プレビュー一覧

### マップ設定画面 [このマップ一覧に戻る](#)

マップタイトル	SOSテスト
WMS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wmscapabilities?id=sos04270843
WFS Capabilities	http://192.168.100.207/gserver/wfscapabilities?id=sos04270843

基本情報設定  表示 [レイヤー編集](#) [メタデータ](#) [出力形式一覧](#)

#### マップ詳細情報編集

ID	sos04270843					
タイトル	SOSテスト					
説明						
キーワード	<p>「車線と車道の境界」のレイヤーで区切って下さい。(車線、建物、森林)</p> <p>最大縮尺: 1/ 設定無し</p> <p>※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。</p> <p>最小縮尺: 1/ 設定無し</p> <p>※地図の縮小時、設定した縮尺以上を表示しません。</p>					
マップ表示縮尺						
SOSのURL	http://192.168.100.207/gserver/noaa/NV-airtemp.xml <span style="float: right;">①</span>					
ステーション数	1 <span style="float: right;">③</span>					
観測種別数	1					
範囲	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>MinX: 0</td> <td>MinY: 0</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>MaxX: 0</td> <td>MaxY: 0</td> </tr> </table> <input type="button" value="範囲取得"/>	MinX: 0	MinY: 0	④	MaxX: 0	MaxY: 0
MinX: 0	MinY: 0	④				
MaxX: 0	MaxY: 0					
(最新データ)						
更新開始日時	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/>					
更新間隔	0 日 0 時 0 分					
(過去データ)						
更新開始日時	日付: <input type="text"/> 時刻: <input type="text"/>					
更新間隔	0 日 0 時 0 分					
データ取得制限時間	0 時間					
観測データ取得範囲	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>日付FROM</td> <td><input type="text"/></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">⑧</td> </tr> <tr> <td>日付TO</td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	日付FROM	<input type="text"/>	⑧	日付TO	<input type="text"/>
日付FROM	<input type="text"/>	⑧				
日付TO	<input type="text"/>					

2. 登録ボタン押下後 GetCapabilities のレスポンスを受けて、画面が更新されます。

### 3.13.2. ログ表示

SOS サービスの取得状況を確認する場合はログ表示タブのログ表示を参照します。

#### 1) ログ表示

レイヤーの生成情報、外部 SOS サービスとの通信情報を表示します。

#### 2) 前回のバックグラウンドセンサーデータ DL 処理実績

前回の観測種別毎の DL 処理実績を表示します。



ログ表示

2014年03月12日 16:32:10	レイヤーが追加されました。観測種別ID: 2 観測種別名: sea_floor_depth_below_sea_surfaceレイヤID: sostest1_38レイヤ名: sea_floor_depth_below_sea_surface
2014年03月12日 15:59:41	レイヤーが追加されました。観測種別ID: 3 観測種別名: air_temperatureレイヤID: sostest1_37レイヤ名: air_temperature

前回のバックグラウンドセンサーデータDL処理実績

2014年03月13 16:30:00	定時処理を開始します。
2014年03月13 17:30:22	定時処理を終了します。

前回のデータ取得時間

観測種別	処理時間
waves	35.74sec
sea_water_temperature	12.35sec
winds	16.31sec
air_temperature	28.45sec
air_pressure_at_sea_level	18.22sec
currents	184.18sec
sea_water_electrical_conductivity	0.52sec
sea_water_salinity	3.00sec
sea_floor_depth_below_sea_surface	3.61sec

1. レイヤーの生成情報、外部SOS サービスとの通信情報を表示します

2. 前回の観測種別毎のDL処理実績を表示します

### 3.13.3. レイヤー編集

SOS のレイヤーは、GetCapabilities の結果取得されたセンサー種別を表します。レイヤー情報の編集の詳細は、「3. 14 SOS レイヤー管理」を参照してください。



#### ① レイヤー情報編集

レイヤーの基本情報、属性、凡例を編集するフォームをポップアップで表示します。詳しくは「3. 14. 1 レイヤー設定」を参照して下さい。

#### ② スタイル設定

レイヤーの表示設定を編集するフォームをポップアップで表示します。詳しくは「3. 14. 4 スタイル設定」を参照して下さい。

#### ③ レイヤーメタデータ編集

レイヤーのメタデータを編集するフォームをポップアップで表示します。詳しくは「3. 8. 8 メタデータ設定」を参照して下さい。

#### ④ レイヤープレビュー

レイヤーのプレビュー画面を別ウィンドウで表示します。

#### ⑤ レイヤー公開設定

レイヤーをクリアリングハウス経由で公開するかどうかを設定します。初期設定では「公開」する設定になっています。

「公開」を選択すると、出力される Capabilities に設定したレイヤーが記述されます。

#### ⑥ ダウンロード

「Shp」ボタンを押下すると、ある観測時点のレイヤーのシェープファイルを ZIP に圧縮したフォーマットでダウンロードします。

「CSV」ボタンを押下すると、範囲指定されたステーションが保有する期間指定の SOS データをカンマ区切り CSV ファイル形式でダウンロードできます。

「テキスト」ボタンを押下すると、範囲指定されたステーションが保有する期間指定の SOS データをタブ区切りテキストファイル形式でダウンロードできます。

ファイル種類	シェイプファイル	
観測時点	<input type="text"/>	
範囲	MinX: -136.15	MinY: 16.5
	MaxX: -63.5	MaxY: 56.63
ダウンロード		

2. 「シェープファイル」 ボタン押下時のポップアップ画面

ファイル種類	カンマ区切り CSV	
期間	From: <input type="text"/>	<input type="text"/>
	To: <input type="text"/>	<input type="text"/>
範囲	MinX: -136.15	MinY: 16.5
	MaxX: -63.5	MaxY: 56.63
ダウンロード		

3. 「CSV」 ボタン押下時のポップアップ画面

ファイル種類	タブ区切り TXT	
期間	From: <input type="text"/>	<input type="text"/>
	To: <input type="text"/>	<input type="text"/>
範囲	MinX: -136.15	MinY: 16.5
	MaxX: -63.5	MaxY: 56.63
ダウンロード		

4. 「テキスト」 ボタン押下時のポップアップ画面

#### 3.13.4. メタデータ編集

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「3.4.8 メタデータ編集」を参照して下さい。

### 3.14. SOS レイヤー管理

SOS レイヤーの設定変更、確認を行います。

#### 3.14.1. レイヤー設定

レイヤー情報を編集します。「3.13.3 レイヤー編集」のレイヤー一覧表内の「編集」から、レイヤー設定ページがポップアップで表示されます。

##### ① レイヤータイトル

GetCapabilities レスポンス結果のセンサー名称を表示します。名称を変更する場合上部の入力エリアに記入してください。

##### ② センサー情報データ有効期間

SOS サービスに保存されているデータの範囲です。

##### ③ センサー情報データ所有期間

相互運用 g サーバーのデータ更新スケジューリング機能によってデータが SOS サービスからダウンロードされている期間を示します。(この範囲であれば、クライアントは、データをマップ上で見ることができます)

レイヤ設定	属性設定	凡例設定
レイヤタイトル <small>*必須</small>	気温	
	air_temperature	
説明		
キーワード	※単語と単語の間を"."(カンマ)で区切って下さい。(例)防災,建物,避難	
センサー情報	データ有効期間:	2006-01-01 ~
	データ所有期間:	2014-02-13 ~ 2014-03-04
著作権情報		
更新		

#### 3.14.2. 属性設定

各レイヤーの属性は、ステーション ID, ステーション名称, ステーション位置 (緯度経度), グラフ表示用タグ, 時刻, 時刻有効範囲(開始/終了), センサー値で構成されます。属性項目の変更はできませんが、マップ上でステーションをクリックした場合に表示される属性項目の表示/非表示を制御することができます。

レイヤ設定		
属性設定		凡例設定
属性名	属性タイプ	表示
ステーションID	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
ステーション名称	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
ステーション位置(緯度)	数値(小数点あり)	<input type="radio"/> 表示 <input checked="" type="radio"/> 非表示
ステーション位置(経度)	数値(小数点あり)	<input type="radio"/> 表示 <input checked="" type="radio"/> 非表示
グラフ表示リンクタグ	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
時刻	文字列	<input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示
時刻有効範囲(開始)	文字列	
時刻有効範囲(終了)	文字列	
センサー値	数値(小数点あり)	

更新

### 3.14.3. 凡例設定

「3.13.3 レイヤー編集」のレイヤー一覧表内の「編集」から、凡例設定ページがポップアップ内のタブに表示されます。

初期設定ではスタイルの設定に従って凡例が出力されますが、ユーザーが指定した画像に凡例を変更できます。

詳細は、「3.5.5 凡例設定」を参照して下さい。

### 3.14.4. スタイル設定

登録したレイヤーの描画設定を行います。以下では、SOS レイヤー独自の実装分について説明し、他の操作については、「3.5.8 スタイル描画設定一覧」および「3.5.9 スタイル自動描画設定」を参照ください。

#### ① 凡例表示

「自動画面設定画面」にて指定の分割数の設定を行うと、凡例の色と属性が自動で分割されます。この場合、指定の分割数+1の描画設定が作成されます。最後の描画設定（この場合設定 11）はデータが無い場合等異常データの表示設定となります。

#### ② テンプレート画面

「テンプレート画面」を押下すると、「スタイルテンプレート」画面に遷移し、スタイル設定の「保存」「読込」「削除」ができます。

#### ③ 自動描画設定画面表示

「自動描画設定画面表示」を押下すると、「自動描画設定」画面に遷移し、属性の選択に応じた色の選択ができます。

#### ④ スタイルテンプレート保存

編集したスタイル設定をテンプレートに保存します。この場合名称入力エリアにテンプレート名称を入力してください。

#### ⑤ スタイルテンプレート読込

登録されているスタイルテンプレート（⑦のエリアに表示される）を選択し、呼び出します。

#### ⑥ スタイルテンプレート削除

登録されているスタイルテンプレート（⑦のエリアに表示される）を選択し、そのテンプレートを削除します。

c87\_75 スタイル設定

凡例

--5

-5 - 0

0 - 5

5 - 10

10 - 15

15 - 20

20 - 25

25 - 30

30 - 35

マップ表示縮尺

最大縮尺

最小縮尺

属性の値確認

VAL

最大

最少

平均

偏差

テンプレート

テンプレート画面

描画設定 エディタ

自動描画設定画面表示

設定1

凡例ラベル: --5

表示最大縮尺: 0 ※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 設定無し ※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

属性の値から表示制限を行う

AND

属性	条件式	値	削除
VAL	<	-5	削除

属性設定追加

点を表示する

形状: 丸

色: #0176ff

サイズ: 12.0

透明度: 1.0 (0~1.0)

画像: 選択

外枠を表示する

形状: 直線

線色: #ffffff

幅: 1.0

透明度: 0.0 (0~1.0)

間隔:  ※線の間隔を記入します。例 1.0,2.0,1.0

ラベルを表示する

属性: FROM

色: XXXXXXXXXX

サイズ: 15.0

表示位置: 左右 0.0 (負の値で左方向、正の値で右方向)

上下 0.0 (負の値で下方向、正の値で上方向)

回転: 0.0 度

設定1の削除

設定2

設定3

設定4

設定5

設定6

設定7

設定8

設定9

設定10

設定11

描画設定の追加

更新の適応

スタイルテンプレート

④ 保存 ⑤ 読み込み ⑥ 削除

名称

⑦ 気温10分割

c87\_75 自動描画設定

⑧ シンボルの色設定

属性の選択 VAL

属性の分割方法 値を等間隔で色分け

分割数 10

色の表示方法 HSV(時計回り)

⑨ 色の選択

開始色 #0000ff

終了色 #fd0a3b

透明度 1.0

最小値 -10

⑩ 最大値 40

ラベルを表示する

属性の選択 TIME

フォントサイズ 14

表示最大縮尺: 設定無し

※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 設定無し

※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

確認

色設定

色選択	値
0	#0000ff -10
1	#0177ff -5
2	#02ecff 0
3	#03fe9c 5
4	#04fe28 10
5	#57fe06 15
6	#cbfe07 20
7	#fdbd08 25
8	#fd4a09 30
9	#fd0a3b 35

⑪

透明度 1.0

表示縮尺設定

表示最大縮尺: 設定無し

※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 設定無し

※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

描画設定作成

#### ⑦ 登録済みテンプレート

名称エリアに入力し、「保存」すると現在編集中のスタイル設定がテンプレートとして登録されます。

#### ⑧ 自動描画設定・分割数

属性の選択で設定された属性の最小値～最大値（⑩で表示あるいは編集）を設定された分割数で分割します。

#### ⑨ 自動描画設定・色の選択

開始色と終了色を選択すると、「色の表示方法」で設定された方法で色が分割されます。色の分割の確認は、「確認」ボタンを押下して確認してください。

#### ⑩ 自動描画設定・最小値/最大値

デフォルトでは、「属性の選択」で選択された属性の最小値と最大値が入力されています。最小値～最大値を「属性の分割方法」の選択によって自動で分割します。任意の設定にしたい場合は、入力してください。

⑪ 自動描画設定・確認

色の設定とそれに付随する値が表示されます。

⑫ 異常データの表示

「自動画面設定画面」にて指定の分割数の設定を行うと、指定の分割数+1の描画設定となります。この場合最後の設定（分割数が10の場合は、「設定11」は、異常データの表示設定となります。

異常データとは、

- ・ある観測時点でデータが存在しない場合
  - ・同一時刻、同一時点において同一観測種別のデータが複数ある場合
- で定義されます。

凡例表示においてデフォルトで、ラベルの文字は「no data」、ラベルの図については、何も表示しない設定としています。ラベルの図を表示する場合、「点を表示する」をチェックし形状、色、サイズ等を設定してください。

sostest1\_37 スタイル設定

凡例

12

マップ表示縮尺

最大縮尺  
500.0

最小縮尺  
2500.0

属性の値確認

VAL

最大  
55.0

最少  
-38.0

平均  
11.47920

偏差  
11.20922

テンプレート

テンプレート画面

描画設定 エディタ

設定11

凡例ラベル no data

表示最大縮尺: 500  
※地図の拡大時に、設定した縮尺以下を表示しません。

表示最小縮尺: 2500  
※地図の縮小時に、設定した縮尺以上を表示しません。

属性の値から表示制限を行う

AND

属性	条件式	値	削除
VAL	NULL		削除

属性設定追加

点を表示する

形状 X

色 #a0522d

サイズ 6.0

透明度 1.0 (0~1.0)

画像 選択

外枠を表示する



### 3.14.5. プレビュー

登録したレイヤーの表示を行います。

#### ① 凡例表示

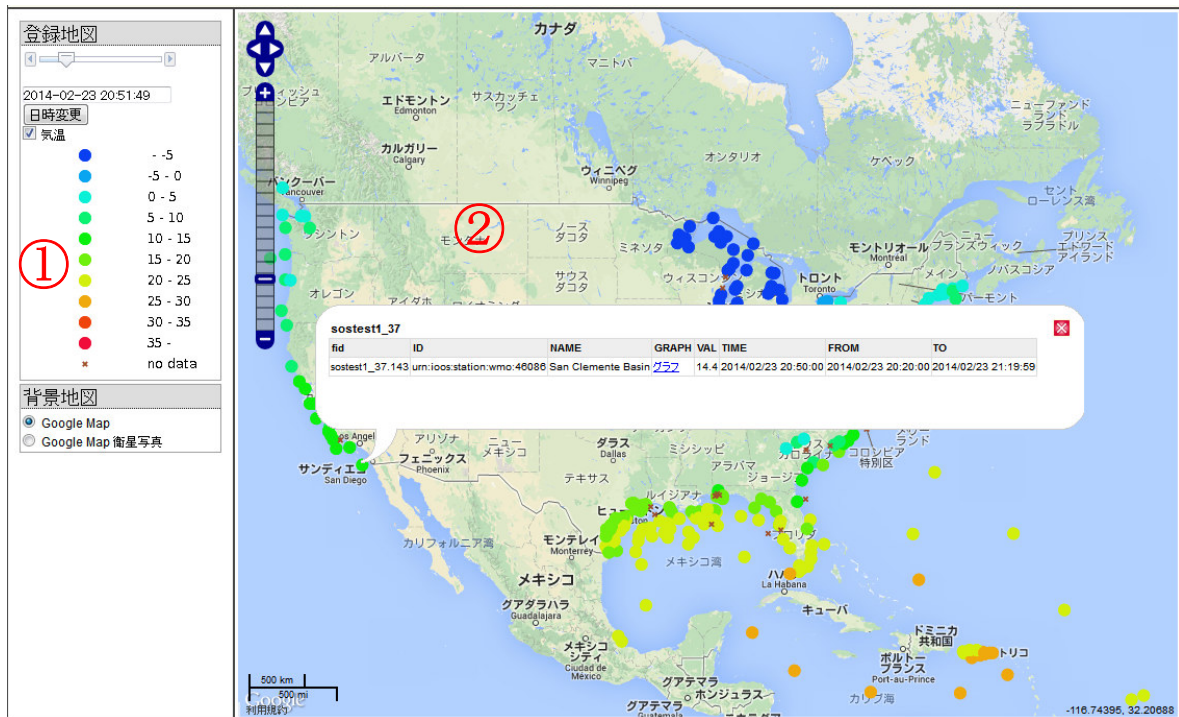
各レイヤーの「スタイル設定」にて設定された凡例が表示されます。

#### ② 属性表示

マップ上で表示されたシンボルを押下すると、「3.14.2 属性表示」で表示設定された属性のみが表示されます。

#### ③ グラフ表示

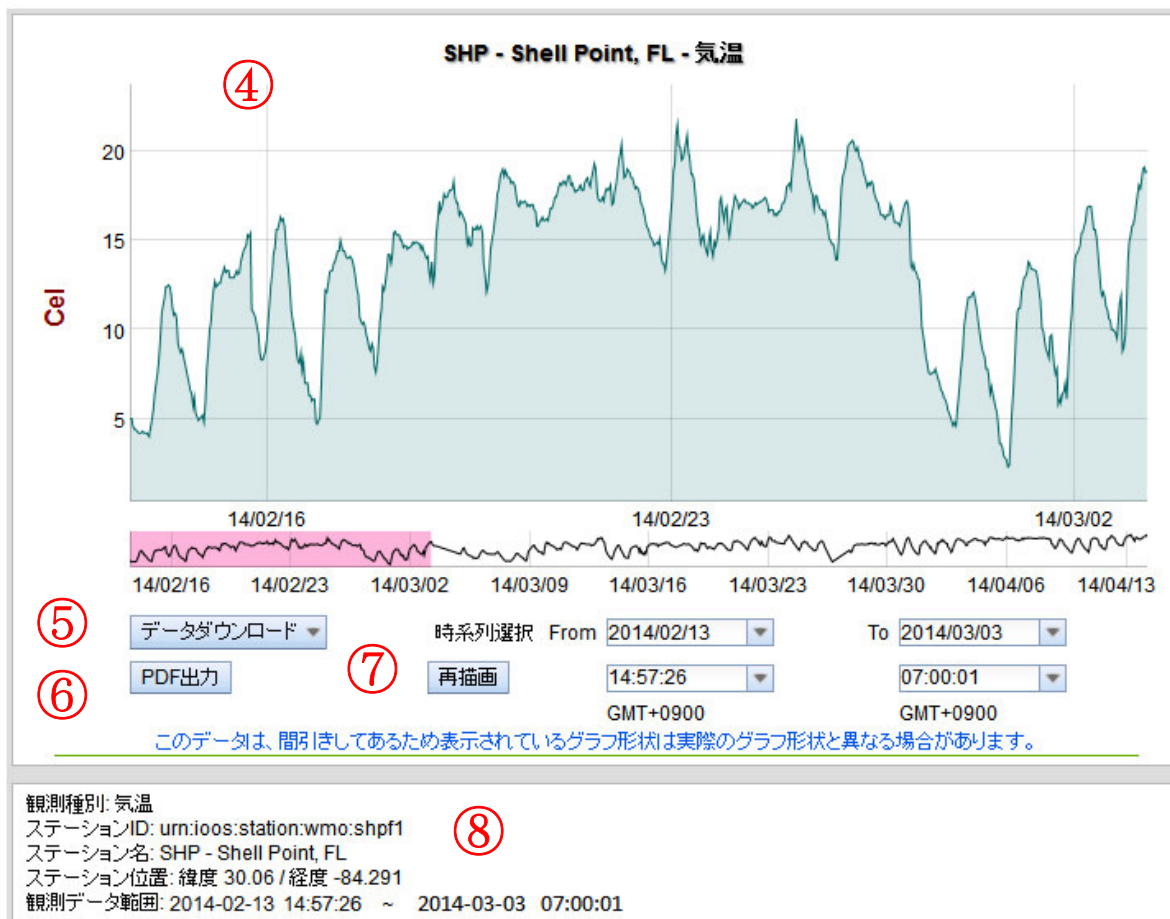
プレビューされたレイヤーの選択されたステーションが持つ時系列データがグラフ表示されます。



#### sostest1\_37

fid	ID	NAME	GRAPH VAL	TIME	FROM	TO
sostest1_37.425	urn:iocs:station:wmo:shpf1	SHP - Shell Point, FL	グラフ	17.2	2014/02/23 20:54:00	2014/02/23 20:51:00

#### ③



#### ④ グラフ表示

ステーションが持つ時系列データが別タブあるいは、別ウィンドウとしてグラフ表示されます。

マウスを横にドラッグするとドラッグした範囲が拡大されます。

マウスを縦にドラッグするとドラッグした範囲に縦軸が変更されます。

(注意) このデータは、間引きしてあるため表示されているグラフ形状は実際のグラフ形状と異なる場合があります。

#### ⑤ データダウンロード

グラフ上で表示されている時系列データを「カンマ区切り csv」あるいは「タブ区切り txt」でダウンロードできます。

#### ⑥ PDF 出力

グラフとステーション情報 (⑧) を PDF 形式で出力できます。

#### ⑦ 再描画

From, To エリアに描画範囲を入力すると入力された範囲でグラフが再描画されます。

#### ⑧ ステーション情報表示

時系列表示されているステーションの情報を表示します。

### 3.15. ユーザー選択マップ管理

ユーザー選択マップは、「ベクトルマップ」「WCS マップ」に登録されているレイヤーを引用する事で、一つのマップにまとめ表示します。

マップの作成したユーザー権限が「管理者」であれば、「ベクトルマップ」「WCS マップ」の全てのレイヤーを引用できます。ユーザー権限が「編集者」である場合、そのユーザーが作成したマップが「マップ公開設定」で公開されているマップのレイヤーのみ引用できます。

#### 3.15.1. 基本情報設定

選択マップの基本情報を設定します。

マップ詳細情報編集

ID	user1	
タイトル <small>*必須</small>	ユーザテスト1	
説明	test	
キーワード	test3です	
範囲	MinX:	139.417358
	MinY:	35.687515
	MaxX:	139.501801
	MaxY:	35.727879
	<input type="button" value="範囲取得"/>	
	<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="リセット"/>	

1. タイトル、説明、キーワード  
「タイトル」「説明」「キーワード」の編集を行います。  
タイトルの記述は必須となります。

2. 四隅の範囲  
マップを表示する全体の範囲を設定します。

3. 更新  
記入された変更を更新します。

#### 1) タイトル、説明、キーワード

マップの「タイトル」「説明」「キーワード」を記入します。ここの情報は WMS、WFS の Capabilities に反映されます。

「タイトル」は必ず記入して下さい。

「キーワード」は、単語と単語の間を「,」で区切って下さい。

#### 2) 四隅の範囲

マップの最大範囲を設定します。任意の数値を登録できます。

「範囲取得」は登録されているレイヤーの範囲を表示します。

#### 3) 更新

記述された内容に従って、マップの情報を更新します。

### 3.15.2. レイヤー一覧

引用されたレイヤーの一覧を表示します。

「ユーザー選択マップ」ではレイヤーの編集は出来ません。

<input type="checkbox"/>	レイヤID	レイヤ名	引用元マップID	説明	プレビュー	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_8	point_sample2	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_11	polygon_sample2	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	test10_1	point_sample3	test10	testa	表示	削除
<input type="checkbox"/>	test12_1	point_sample3	test12		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_2	line_sample2	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_6	line_sample6	ftest		表示	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	ftest_7	point_sample1	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_12	polygon_sample3	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_13	polygon_sample4	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_14	polygon_sample5	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_15	polygon_sample6	ftest		表示	削除
<input type="checkbox"/>	ftest_16	polygon_sample7	ftest		表示	削除

#### ① 選択レイヤー削除

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーを「ユーザー選択マップ」から削除します。

#### ② レイヤー並び順変更

レイヤー一覧のチェックボックスで選択されているレイヤーの並び順を変更する事で、レイヤー全体の並び順を変更します。

#### ③ 地図プレビュー

マップに登録されているレイヤー全てを表示するプレビュー画面を、別ウィンドウで表示します。

#### ④ レイヤーの種類

登録されたレイヤーのジオメトリの種類をアイコンで表示します。

- ポイント
- ライン
- ポリゴン
- ラスター

#### ⑤ レイヤープレビュー

レイヤーのみを表示する「プレビュー画面」を別ウィンドウで表示します。

#### ⑥ レイヤー削除

レイヤーを「ユーザー選択マップ」から削除します。

### 3.15.3. 利用可能なマップ一覧

利用可能な「ベクトルマップ」「WCS マップ」の一覧が表示されます。マップから必要なレイヤーを選択し引用します。

1. 絞り込み検索  
「マップの種類」「地図 ID」「タイトル」からマップを検索します。

2. 並び替え  
▲▼を押す事で、表を昇順、降順で並び替えます。

3. マップの種類  
登録されたマップの形式を表示します。

4. レイヤー追加  
レイヤー追加フォームを表示します。

5. プレビュー  
マップのプレビューを表示します。

マップの絞り込み

マップ一覧表示    ベクトルマップ一覧表示    WCSマップ一覧表示

地図検索

利用可能なマップ一覧

先頭 <<前へ 次へ>> 最後

地図ID ▲▼	タイトル ▲▼	説明	レイヤ追加	プレビュー
create	test		表示	表示
ftest			表示	表示
newmap1			表示	表示
newmap3			表示	表示
newmap4	newmap4	test	表示	表示
newwcs	testです	test1	表示	表示
tesr	bbjhkl,		表示	表示
test1	test1		表示	表示
test10	teset		表示	表示
test11	test11		表示	表示
test12	test12		表示	表示
test13	test13		表示	表示
test14	test15		表示	表示
test15	test15		表示	表示
test16	test16		表示	表示

1-30 / 63件

#### 1) 絞り込み検索

「ベクトルマップ一覧表示」「WCS マップ一覧表示」を利用してマップの種類で絞り込みます。登録されたマップの ID、タイトルからマップを検索します。一覧表に検索結果を表示します。

#### 2) 並び替え

「地図 ID」「タイトル」の横にある▲▼を押す事で、降順、昇順で表を並び替えます。

#### 3) マップの種類

地図 ID とそのマップの種類を表示します。

ベクトルマップ

WCS マップ

#### 4) レイヤー追加

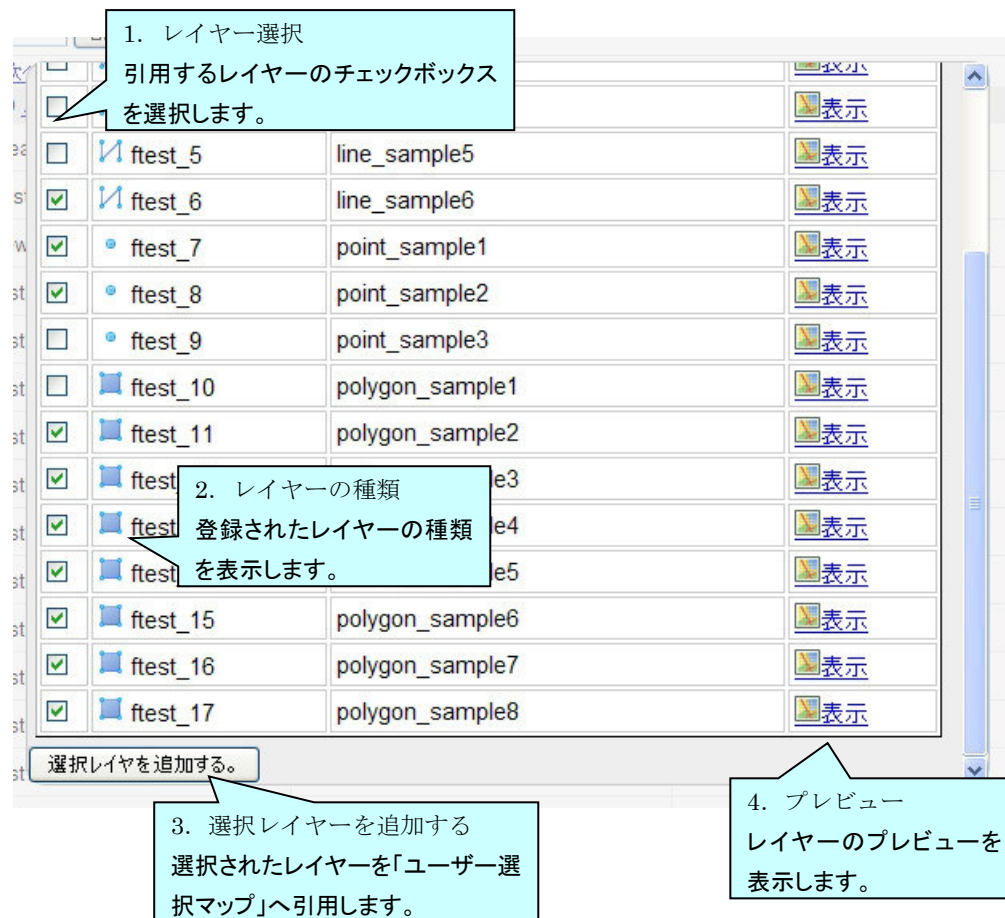
「ユーザー選択マップ」にレイヤーを追加するため、「レイヤー追加フォーム」を表示します。

#### 5) プレビュー

マップの全体プレビューを別画面に表示します。

### 3.15.4. レイヤー追加フォーム

「[利用可能なマップ一覧](#)」のレイヤー追加の「表示」からレイヤー追加フォームをポップアップで表示します。



#### 1) レイヤー選択

引用するレイヤーのチェックボックスを選択します。

#### 2) レイヤーの種類

登録されているレイヤーのジオメトリ型を表示します。

- ポイント
- 📏 ライン
- 📐 ポリゴン
- 🗺️ ラスター

#### 3) 選択レイヤーの追加

「選択レイヤーを追加する」から、選択されたレイヤーを「ユーザー選択マップ」へ引用します。

#### 4) プレビュー

レイヤーのプレビューを別画面で表示します。

### 3.15.5. メタデータ

クリアリングハウスへ登録するため、メタデータを作成します。メタデータが作成されていない場合、必要な項目をあらかじめ入力したメタデータが作成されます。

詳細は「[3.4.8 メタデータ編集](#)」を参照して下さい。

### 3.16. 設定画面

運用 g サーバーの設定を行います。「ユーザー設定」「問い合わせ先設定」「タイトル設定」のそれぞれのページで管理を行います。

#### 3.16.1. ユーザー設定

ユーザーの新規登録、登録したユーザーの編集を行います。

##### ユーザーの種類

権限	説明
管理者	運用 g サーバー設定、登録されたマップの編集を制限なく実行できます。
編集者	作成したマップの編集、他のユーザーから公開されているマップの引用を行えます。

The screenshot shows the 'ユーザー設定' (User Settings) page. At the top, there are navigation tabs: 'ユーザー設定', '問い合わせ先設定', '背景地図設定', 'クリアリングハウス設定', 'gサーバ設定', and 'マップ情報一覧'. The page is divided into two main sections: 'ユーザー登録' (User Registration) and 'ユーザー一覧' (User List).

**ユーザー登録** section includes a '新規ユーザー追加' (Add New User) button. Callout 1 points to this button, stating: '1. ユーザー登録 ユーザー登録フォームを表示します。' (1. User registration: Display the user registration form).

**ユーザー一覧** section shows a table of registered users. Callout 2 points to the table, stating: '2. ID, ユーザー名 登録されているユーザーの名称とIDが表示されます。' (2. ID, User name: The names and IDs of registered users are displayed).

The table has columns for 'ログインID', 'ユーザー名', '役割', '登録マップ一覧', '編集', and '削除'. It lists two users: 'admin' (Admin) and 'edituser' (Editor).

Callout 3 points to the '役割' (Role) column, stating: '3. ユーザー権限 ユーザーの権限を表示します。' (3. User permissions: Display the user's permissions).

Callout 4 points to the '登録マップ一覧' (Registered Map List) column, stating: '4. ダウンロード ユーザーが登録したマップ情報をダウンロードします。' (4. Download: Download the map information registered by the user).

Callout 5 points to the '削除' (Delete) column, stating: '5. 削除 ユーザーを削除します。' (5. Delete: Delete the user).

Callout 6 points to the '編集' (Edit) column, stating: '4. ユーザー編集 ユーザーの編集フォームを表示します。' (4. User edit: Display the user's edit form).

#### 1) ユーザー登録

ユーザーの登録フォームを表示します。「[ユーザー新規登録](#)」を参照して下さい。

#### 2) ID, ユーザー名

ユーザーの ID、名称を表示します。どちらも重複は出来ません。

#### 3) ユーザー権限

ユーザーの管理権限を表示します。

#### 4) ダウンロード

ユーザーが登録したマップ情報の一覧を CSV 形式のテキストデータで出力します。

5) ユーザー編集

ユーザーの編集フォームを表示します。「[ユーザー編集](#)」を参照して下さい。

6) 登録削除

ユーザーの登録を削除します。登録が削除されたユーザーが作成したマップは「管理者」権限を持ったユーザーのみ編集が可能となります。

スーパーユーザは削除することができません。

### 3.16.2. ユーザー新規登録

ユーザーを新規登録します。「[ユーザー設定](#)」の「ユーザー登録」からユーザー作成フォームが表示されます。

The screenshot shows a form titled "新規ユーザ追加" (New User Addition). It contains the following fields and callouts:

- 1. ログイン ID、ユーザー名**: Callout for the "ログインID" and "ユーザ名" fields, stating: "ログイン用の ID とユーザーの名称を記入します。" (Enter the ID for login and the user's name.)
- 2. パスワード**: Callout for the "パスワード" and "パスワード(再入力)" fields, stating: "ユーザーのパスワードを記入します。同じパスワードを 2 回記入する必要があります。" (Enter the user's password. You must enter the same password twice.)
- 3. ユーザー権限**: Callout for the "役割" (Role) dropdown menu, which is currently set to "管理者" (Administrator), stating: "登録するユーザーの権限を指定します。" (Specify the permissions for the user to be registered.)
- 4. 登録**: Callout for the "保存" (Save) button, stating: "ユーザーを登録します。" (Register the user.)

1) ログイン ID、ユーザー名

ログイン ID はユーザーがログインする際に記入する ID で、使用できる文字は半角英数字です。ログイン ID は登録後に変更出来ません。

ユーザー名は、利用中に表示されるユーザーの名称です。

2) パスワード

ユーザーがログインする際のパスワードを記入します。確認のため同じパスワードを 2 回記入して下さい。

使用できる文字は半角英数字のです。

3) ユーザー権限

ユーザーの権限を設定します。ログインユーザーが「管理者」の時のみ「管理者」権限のユーザーを作成する事が出来ます。

4) 登録

記述された内容に従ってユーザーを登録します。



### 3.16.3. ユーザー編集

ユーザーの情報を編集します。「[ユーザー設定](#)」の「編集」からユーザー編集フォームが表示されます。

The screenshot shows a web form titled "ユーザ情報の変更" (Change User Information). The form contains the following fields and elements:

- ログインID** (Login ID): manager
- ユーザ名** (User Name): [Empty text input field]
- 役割** (Role): 管理者 (Administrator) [Dropdown menu]
- 認証パスワード** (Authentication Password): \*ログイン中のユーザのパスワード (Password of the user currently logged in) [Password input field]
- 認証パスワード(再入力)** (Authentication Password (Re-entry)): \*ログイン中のユーザのパスワード (Password of the user currently logged in) [Password input field]
- 更新** (Update) [Button]
- [パスワードの変更](#) (Change Password) [Link]

Numbered callouts provide instructions for each step:

1. ユーザー名  
ユーザーの名称を記入します。
2. 権限の変更  
ユーザーの権限を選択します。
3. 認証パスワード  
ログイン中のユーザーのパスワードを記入します。
4. 認証パスワード (再入力)  
ログイン中のユーザーのパスワードを再度記入します。
5. 変更の保存  
変更内容を保存します。

- 1) ユーザー名  
ユーザーの名称を記入します。
- 2) 権限の変更  
ユーザーの権限を選択します。管理者の権限はログイン中のユーザーが管理者権限を持っている場合のみ変更できます。
- 3) 認証パスワード  
編集する権限を持った、ログイン中のユーザーのパスワードを入力します。
- 4) 認証パスワード (再入力)  
編集する権限を持った、ログイン中のユーザーのパスワードを再度入力します。
- 5) 変更の保存  
変更したユーザーの情報を保存します。

### 3.16.4. パスワード変更

ユーザーの情報を編集します。「[ユーザー設定](#)」の「編集」からユーザー作成フォームが表示されます。フォームの「パスワードの変更」でパスワード編集フォームに切り替えます。

The screenshot shows a web form titled "パスワードの変更" (Change Password). The form contains the following fields and elements:

- ログインID**: A text input field containing the value "manager".
- 認証パスワード**: A text input field with a placeholder text "※ログイン中のユーザのパスワード".
- 新しいパスワード**: A text input field with a placeholder text "※変更するユーザの新しいパスワード".
- 新しいパスワード(再入力)**: A text input field with a placeholder text "※変更するユーザの新しいパスワードを再入力".
- 更新**: A button at the bottom left.
- ユーザー情報の変更**: A link at the bottom right.

Four numbered callouts provide instructions for each field:

1. 認証パスワード  
ログイン中のユーザーのパスワードを記入します。
2. 新しいパスワード  
ユーザーの変更後のパスワードを記入します。
3. 新しいパスワード (再入力)  
ユーザーの変更後のパスワードを再度記入します。
4. 更新  
パスワードを更新します。

- 1) 認証パスワード  
編集する権限を持った、ログイン中のユーザーのパスワードを入力します。
- 2) 新しいパスワード  
ユーザーの新しいパスワードを入力します。
- 3) 新しいパスワード (再入力)  
ユーザーの新しいパスワードを再度入力します。
- 4) 更新  
ユーザーのパスワードを更新します。

### 3.16.5. ユーザー削除

登録したユーザーを削除します。「[ユーザー設定](#)」の「削除」からポップアップでユーザー削除フォームが表示されます。

The screenshot shows a form titled "ユーザの削除" (User Deletion). It contains the following fields and buttons:

- ユーザID: 2
- 名前: manager
- 認証パスワード: (empty field)
- 認証パスワード(再入力): (empty field)
- 削除 button

Callout 1 (top right): 1. 認証パスワード  
ログイン中のユーザーのパスワードを記入します。

Callout 2 (bottom left): 2. 削除  
ユーザーの削除を実行します。

Callout 3 (bottom right): 2. 認証パスワード (再入力)  
ログイン中のユーザーのパスワードを再度記入します。

#### 1) 認証パスワード

編集する権限を持った、ログイン中のユーザーのパスワードを入力します。

#### 2) 認証パスワード (再入力)

編集する権限を持った、ログイン中のユーザーのパスワードを再度入力します。

#### 3) 削除

ユーザーの削除を実行します。

### 3.16.6. 問い合わせ先設定

メタデータの「責任者情報」「問い合わせ先」に引用される問い合わせ先をあらかじめ作成します。

The screenshot shows the "問い合わせ先設定" (Contact Information Settings) page. It includes a navigation menu with "ユーザー設定" and "問い合わせ先設定". The main content area is titled "問い合わせ先の編集" (Edit Contact Information) and contains a sub-header "データの管理者への問い合わせ先を編" and a button "新規問い合わせ先作成". Below this is a table with columns "ID", "問い合わせ先名称", and "編集".

ID	問い合わせ先名称	編集
10	test1	編集
11	test2	編集

Callout 1 (top left): 1. 新規問い合わせ先作成  
新規問い合わせ先作成フォームを表示します。

Callout 2 (bottom right): 2. 問い合わせ先編集  
問い合わせ先編集フォームを表示します。

#### 1) 新規問い合わせ先作成

問い合わせ先の新規作成フォームを表示します。「[新規問い合わせ先作成](#)」を参照して下さい。

2) ID, 問い合わせ先名称

問い合わせ先の ID、名称を表示します。ID は重複出来ません。

3) 問い合わせ先編集

問い合わせ先の編集フォームを表示します。詳細は「[問い合わせ先編集](#)」を参照して下さい。

### 3.16.7. 新規問い合わせ先作成

問い合わせ先を新規に作成します。「[問い合わせ先設定](#)」の「新規問い合わせ先作成」から新規問い合わせ先作成フォームが表示されます。

The image shows a web form for creating a new contact. The form is titled '問い合わせ先入力フォーム' (Contact Information Input Form). It contains several input fields for personal and contact information, followed by a section for business hours and notes. A red dotted line highlights the main input area. Two callout boxes provide instructions: one pointing to the form fields and another pointing to the '連絡先追加' (Add Contact) button.

住所	
国	jpn
郵便番号	
都道府県名	
市区町村	
住所詳細	
電話番号	
ファクシミリ番号	
電子メールアドレス	
問合せ案内	
案内時間	
問合せのための手引き	
リンク	
記述	

連絡先追加

1. 問い合わせ先入力フォーム  
問い合わせ先を記入します。

2. 新規作成  
連絡先を新規作成します。

1) 問い合わせ先入力フォーム

問い合わせ先の情報を記入します。「問い合わせ先名称」は必ず記入して下さい。

2) 新規作成

入力された内容で問い合わせ先を作成します。

### 3.16.8. 問い合わせ先編集

問い合わせ先を編集します。「[問い合わせ先設定](#)」の問い合わせ一覧表の「編集」から問い合わせ先編集フォームが表示されます。

The screenshot shows a web form for editing contact information. The form is titled '問い合わせ先' (Contact Information) and contains several input fields. A red dotted line highlights the form area. Three callout boxes provide instructions:

- 1. 問い合わせ先入力フォーム  
問い合わせ先を記入します。
- 2. 変更の保存  
連絡先を変更します。
- 3. 削除  
連絡先を削除します。

住所	
国	jpn
郵便番号	
都道府県名	
市区町村	
住所詳細	
電話番号	
ファクシミリ番号	
電子メールアドレス	
問合せ案内	
案内時間	
問合せのための手引き	
リンク	
記述	

連絡先変更    連絡先削除

- 1) 問い合わせ先入力フォーム  
問い合わせ先の情報を記入します。「問い合わせ先名称」は必ず記入して下さい。
- 2) 変更の保存  
入力された内容で問い合わせ先の変更を保存します。
- 3) 削除  
問い合わせ先を削除します。

### 3.16.9. 背景地図設定

プレビュー画面で表示される基盤地図の設定を行います。

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | タイトル設定 | **背景地図編集** | クリアリングハウス編集

---

#### 背景地図新規登録

プレビュー画面の背景地図を追加します。

1. 背景地図追加画面表示  
背景地図追加画面を表示します。

#### 登録済み背景地図

登録された背景地図の設定を修正、削除します。

地図名称	URL	レイヤ名	フォーマット	削除
<input type="text" value="Sample"/>	<input type="text" value="http://sample.com/sample?"/>	<input type="text" value="sample"/>	<input type="text" value="image/png"/>	<input type="button" value="削除"/>

2. 背景地図設定の編集  
登録されている背景レイヤーの「名称」「URL」「レイヤー名」「フォーマット」の編集と削除を行います。

3. 背景地図更新  
編集内容に従って、背景地図を更新します。

#### 1) 背景地図追加画面表示

背景地図追加画面をポップアップで表示します。

#### 2) 背景地図設定の編集

登録されている背景地図の設定を編集します。

##### ① 地図名称

登録した背景地図の名称を記入します。プレビュー画面で表示される地図名称となります。

##### ② URL

WMS を取得可能な URL を記入します。

##### ③ レイヤー名

WMS のレイヤーを記述します。

##### ④ フォーマット

WMS の画像形式を設定します。

##### ⑤ 削除

背景地図設定を削除します。

#### 3) 背景地図更新

背景地図の編集内容を更新します。

### 3.16.10. 背景地図追加

#### 背景地図の新規登録

地図名称	<input type="text" value="sample"/>
URL	<input type="text" value="http://sample.net/sample/service/wms?"/>
レイヤ名	<input type="text" value="sample"/>
フォーマット	<input type="text" value="image/png"/>

1. 背景地図設定の編集  
登録されている背景レイヤーの「名称」「URL」「レイヤー名」「フォーマット」を設定します。

2. 背景地図登録  
背景地図を登録します。

#### 1) 背景地図設定の編集

背景地図に WMS の設定を行います。

##### ① 地図名称

登録した背景地図の名称を記入します。プレビュー画面で表示される地図名称となります。

##### ② URL

WMS を取得する URL を記入します。

##### ③ レイヤー名

WMS のレイヤーを記述します。

##### ④ フォーマット

WMS の画像形式を設定します。

#### 2) 背景地図更新

背景地図の編集内容を更新します。

### 3.16.11. クリアリングハウス設定

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | タイトル設定 | 背景地図設定 | **クリアリングハウス設定** | マップ情報一覧

**クリアリングハウス設定**  
クリアリングハウスのURLを登録します。

URL	http://server.domain.com/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService? <small>※クリアリングハウスに登録可能なURLを記述します。 ※URLは「/」まで記述して下さい。</small>
パラメータ	SERVICE=CSW&VERSION=2.0.2&REDIRECTURL=/CatalogueService/dummy.jsp <small>※登録時に必要なURLのパラメータを記述します。 ※設定しない場合は標準のパラメータを利用します。</small>
認証パスワード	<small>※ログイン中のユーザのパスワード</small>

設定更新 | 設定削除

1. URL 設定  
「URL」を編集します。

2. パラメータ設定  
リクエスト時に利用するパラメータを記述します。

3. 認証パスワード  
ログインユーザのパスワードを記入します。

4. 設定更新、削除  
設定の更新、削除を行います。

#### 1) クリアリングハウス設定

「URL」登録可能なクリアリングハウスの URL を記述します。防災科学技術研究所がリリースしている災害リスク情報クリアリングハウスの API の URL を入力してください。詳しくは災害リスク情報クリアリングハウスのドキュメントをご覧ください。

「パラメータ」は入力されない場合は災害リスク情報クリアリングハウスの標準のパラメータを利用します。パラメータが入力されている場合、クリアリングハウスへの編集を行う際に利用されます。

#### 2) 設定更新、削除

クリアリングハウスの設定を更新します。

設定更新、削除を行うためにはログインユーザのパスワードが必要となります。

### 3.16.12. クリアリングハウスユーザ設定

クリアリングハウスに編集を行う場合、クリアリングハウスへログインできるユーザの設定が必須となります。

**クリアリングハウス ログインユーザ設定**

●ログインユーザ設定  
●クリアリングハウスのログインユーザ選択

・クリアリングハウス ログインユーザ設定

ユーザID	user <small>※クリアリングハウスのログインユーザ</small>
パスワード	<small>※クリアリングハウスのログインパスワード</small>
確認用パスワード	<small>※もう一度入力して下さい</small>

ユーザ設定更新 | ユーザ設定削除

・クリアリングハウス ログインユーザの共有設定

共有	ユーザID	ユーザ名	権限
<input checked="" type="checkbox"/>	user1	user1	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	user2	user2	編集者
<input type="checkbox"/>	user3	user3	管理者

共有設定更新

1. 設定フォーム切り替え  
設定フォームの表示を切り替えます。

2. クリアリングハウスユーザ設定  
クリアリングハウスにログインを行うユーザ設定を行います。

3. 設定保存  
クリアリングハウスのユーザ設定を保存します。

4. 共有設定  
登録したクリアリングハウスのユーザ設定を、相互運用 g サーバの他のユーザと共有するか設定します。



## クリアリングハウス ログインユーザー設定

● ログインユーザー設定

● **クリアリングハウスのログインユーザー選択**

・クリアリングハウスにログインするユーザー選択

	クリアリングハウスログインID	登録ユーザー名
<input type="radio"/>	admin	admin
<input checked="" type="radio"/>	user1	user1

利用ユーザー設定更新

### 5. ログインユーザー設定

クリアリングハウスにログインを行うユーザーを選択します。

#### 1) 設定フォーム切り替え

クリアリングハウスのユーザー設定を行うフォームと、クリアリングハウスへログインを行うユーザー設定フォームの表示を切り替えます。

#### 2) クリアリングハウスユーザー設定

クリアリングハウスへの編集を行う際に利用されるクリアリングハウスのユーザー設定を行います。メタデータの編集や削除を行う際に利用されます。

#### 3) 設定保存、削除

クリアリングハウスのユーザー設定を保存、または削除します。

#### 4) 共有設定

登録したクリアリングハウスのユーザー設定を、他の相互運用 g サーバーのユーザーが利用可能にするため共有設定を行います。

#### 5) ログインユーザー設定

共有設定で共有された相互運用 g サーバーのユーザーは、クリアリングハウスにログインを行うユーザーの選択ができます。設定されたクリアリングハウスログイン ID を利用してクリアリングハウスにログインを行います。

### 3.16.13. g サーバー設定

ユーザ設定 | 問い合わせ先設定 | 背景地図設定 | クリアリングハウス設定 | **gサーバー設定** | マップ情報一覧

---

#### タイトル編集

サイトに表示されるタイトルを編集します。

現在のタイトル: 相互運用gサーバ

変更後のタイトル:

タイトル更新

1. 変更後のタイトル記入  
変更後のタイトルを記入します。

2. 更新  
タイトルを更新します。

---

#### タイムゾーン設定

サイトに登録する時系列データのタイムゾーンを設定します。

gサーバのタイムゾーン: Asia/Tokyo

タイムゾーン更新

3. gサーバのタイムゾーン  
デフォルトのタイムゾーンを設定します。

4. タイムゾーン更新  
デフォルトのタイムゾーンを更新します。

- 1) タイトルの記入  
変更する相互運用 g サーバーのタイトルを記入します。
- 2) タイトル更新  
相互運用 g サーバーのタイトルを更新します。更新は管理者権限をもったユーザーのみ行えます。
- 3) g サーバーのタイムゾーン  
相互運用 g サーバーの時系列データ登録の際に利用するデフォルトのタイムゾーンを選択します。
- 4) タイムゾーン更新  
相互運用 g サーバーのデフォルトのタイムゾーンを更新します。

### 3.16.14. マップ情報一覧

[ユーザ設定](#) | [問い合わせ先設定](#) | [タイトル設定](#) | [背景地図設定](#) | [クリアリングハウス設定](#) | **マップ情報一覧**

**マップ情報一覧**

マップごとにリクエスト可能なURL等が並びます。

1. マップ一覧移動  
マップの一覧の移動を行います。

2. 全マップ情報ダウンロード  
ログイン中のユーザーが取得できるマップ情報を全て取得します。

3. マップ情報ダウンロード  
マップの情報を、マップごとにダウンロードします。

ID	マップ名称	更新日時	ダウンロード
	全マップ情報取得		<a href="#">ダウンロード</a>
ame1	あめリスク		<a href="#">ダウンロード</a>
bosai1	防災マップ		<a href="#">ダウンロード</a>
kml	kml1		<a href="#">ダウンロード</a>
kml2	kml		<a href="#">ダウンロード</a>
mh	MH		<a href="#">ダウンロード</a>
mhtest	test	2013年 08月28日	<a href="#">ダウンロード</a>
mv	MV	2013年 08月28日	<a href="#">ダウンロード</a>
pr500	PR500		<a href="#">ダウンロード</a>
raster	raster1		<a href="#">ダウンロード</a>
raster2	raster		<a href="#">ダウンロード</a>
rr500	RR500		<a href="#">ダウンロード</a>
rs500	RS500		<a href="#">ダウンロード</a>
select	select1	2012年 06月27日	<a href="#">ダウンロード</a>
svg	svg	2013年 03月05日	<a href="#">ダウンロード</a>
test1	test1	2013年 03月20日	<a href="#">ダウンロード</a>
test2	test2	2013年 03月12日	<a href="#">ダウンロード</a>
test3	test3	2013年 08月28日	<a href="#">ダウンロード</a>
test4	test4	2013年 03月12日	<a href="#">ダウンロード</a>
test5	test5	2013年 03月12日	<a href="#">ダウンロード</a>
test7	test7	2013年 03月12日	<a href="#">ダウンロード</a>
test_test1	test1	2013年 09月02日	<a href="#">ダウンロード</a>
testraster	testraster	2013年 03月20日	<a href="#">ダウンロード</a>
testuser	testuser	2013年 03月20日	<a href="#">ダウンロード</a>
user1	user1	2013年 09月02日	<a href="#">ダウンロード</a>
user10	user10	2013年 03月21日	<a href="#">ダウンロード</a>

1) マップ一覧移動

マップの一覧表示の移動を行います。

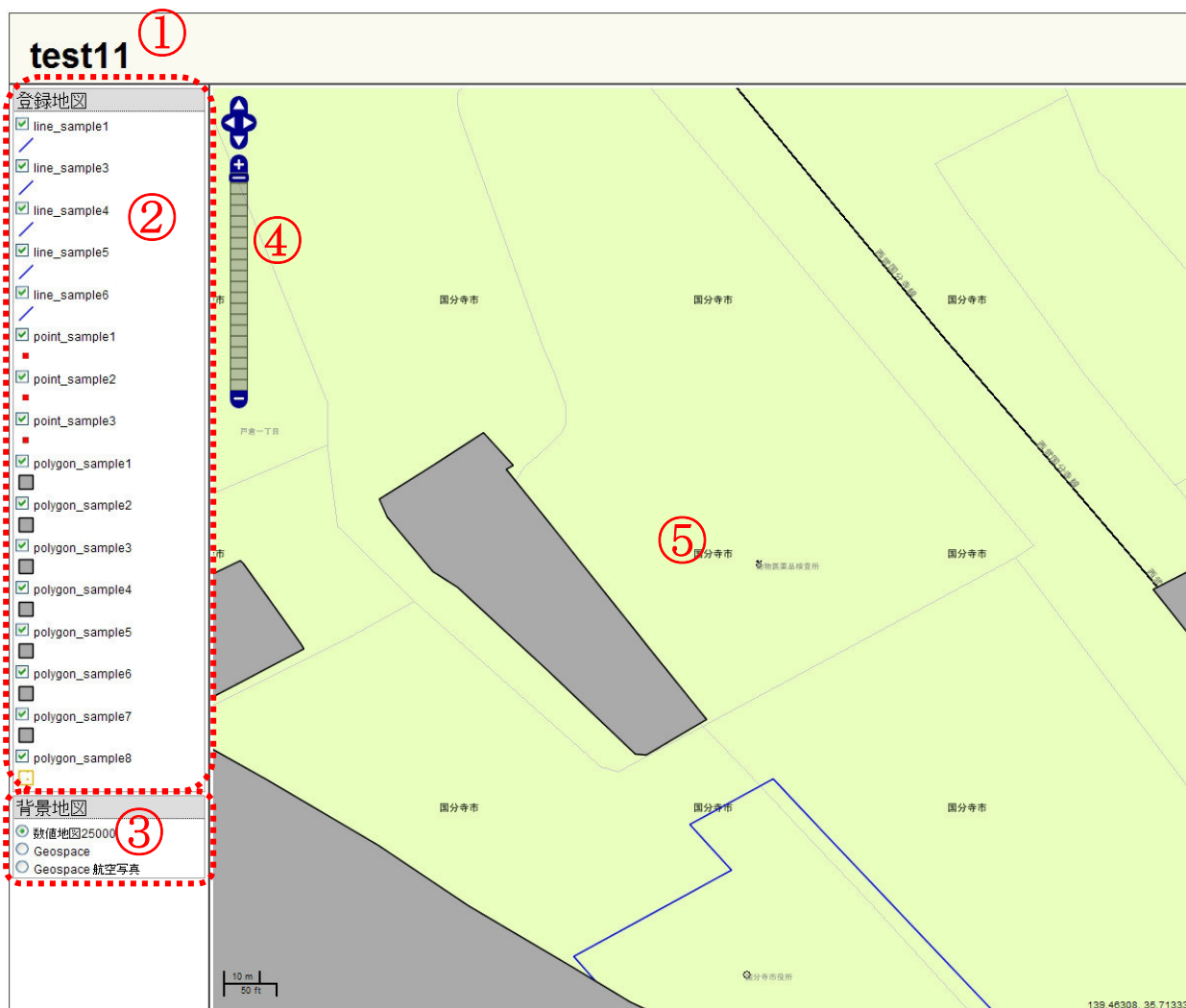
2) 全マップ情報ダウンロード

ログイン中のユーザーが取得可能なマップ情報を全て CSV 形式のテキストでダウンロードします。

3) マップ情報ダウンロード

マップ一覧からマップ情報を CSV 形式のテキストでダウンロードします。

### 3.17. プレビュー画面



#### 1) 地図タイトル

表示している地図のマップ名称、レイヤー名称が表示されます。

#### 2) 登録地図

表示している地図のレイヤー一覧です。チェックボックスの選択で「⑤地図表示画面」に表示するレイヤーの表示・非表示を切り換えます。





レイヤー名の下に表示される画像は、レイヤーの凡例です。

#### 3) 背景地図

レイヤーを表示する地図の背景地図です。ラジオボタンで表示を切り換えます。

4) 地図移動、縮尺変更

スライダーを動かす事で、地図の縮尺を変更します。

-  地図を上に移動します。
-  地図を左に移動します。
-  地図を右に移動します。
-  地図を下に移動します。

5) 地図表示画面

マップに登録された地図をレイヤーの並び順位表示します。

## 4. 備考

### 4.1. 対応フォーマット

#### 1) ベクトルデータ

##### ・シェープファイル

シェープファイルのアップロードには、必要とするファイルを同じフォルダで zip 形式に圧縮する必要があります。

複数のシェープファイルをアップロードする場合は、複数のベクトルデータを一つの zip 形式に圧縮してアップロードして下さい。

##### 必須ファイル

形式	説明
SHP	<a href="http://www.esri.com/products/gis_data/shape/">http://www.esri.com/products/gis_data/shape/</a>
SHX	同上
DBF	同上

##### 追加ファイル

形式	説明
PRJ	座標の投影法を WKT で記述したファイル。 アップロード時に、対応するファイルの座標系を指定せずに登録できます
SLD	<a href="http://www.opengeospatial.org/standards/sld">http://www.opengeospatial.org/standards/sld</a> アップロード時に、対応するファイルの表示設定を行います。

##### ・GeoJSON

##### 必須ファイル

形式	説明
GeoJSON	<a href="http://geojson.org/">http://geojson.org/</a>

##### 追加ファイル

形式	説明
SLD	<a href="http://www.opengeospatial.org/standards/sld">http://www.opengeospatial.org/standards/sld</a> アップロード時に、対応するファイルの表示設定を行います。

#### 2) ラスターデータ

ラスターデータのアップロードには、画像とそれに対応するワールドファイルを zip 形式に圧縮する必要があります。

複数のラスター画像を一つの zip 形式のファイルとしてアップロードすることで、モザイク画像として登録されます。

画像の形式と対応するファイルの拡張子は、下記の表を参考にして下さい。

フォーマット	画像拡張子	ワールドファイル拡張子
BMP	bmp	bpw
GIF	gif	gfw
JPEG	jpg jpeg	jgw
PNG	png	pgw
TIFF	tif tiff	tfw
GEOTIFF	tif tiff	-

### 3) KML データ

KML データは、Open Geospatial Consortium, Inc (OGC) で規定された OGC KML を使用します。

フォーマット	説明
KML	XML ベースで空間情報が記述されたファイル <a href="https://developers.google.com/kml/documentation/?hl=ja">https://developers.google.com/kml/documentation/?hl=ja</a>
KMZ	zip 形式で圧縮された KML ファイル

## 4.2. 投影法

### 1) 入力データの投影法

相互運用 g サーバーは、以下の投影法による入力に対応しています。

投影法	ベクトルデータ	ラスターデータ	KML データ
世界測地系 緯度経度 (EPSG:4612)	○	○	○
日本測地系 緯度経度 (EPSG:4301)	△※1	△※1	×
世界測地系 平面直角座標系 (第 1～19 系) (EPSG:2443～2460)	○	○	×
日本測地系 平面直角座標系 (第 1～19 系) (EPSG:30161～30178)	△※1	△※1	×
UTM 51N～55N (JGD2000) (EPSG:3097～3101)	○	○	×
UTM 51N～55N (Tokyo) (EPSG:3092～3096)	△※1	△※1	×
Proj ライブラリに登録された地理座標系※2	○	○	×

※1 Proj. 4 の epsg 設定の修正が必要になります

※2 アップロード時に EPSG コードを入力することで利用できます。

### 2) 出力データの投影法

相互運用 g サーバーは、以下の投影法データとして出力できます。

投影法	ベクトルデータ	ラスターデータ	KML データ
世界測地系 緯度経度 (EPSG:4612)	○	○	○
日本測地系 緯度経度 (EPSG:4301)	○	△※3	×
世界測地系 平面直角座標系 (第 1～19 系) (EPSG:2443～2460)	○	○	×
日本測地系 平面直角座標系 (第 1～19 系) (EPSG:30161～30178)	○	△※3	×
Spherical Mercator (Google Projection) (EPSG: 900913, 3785)	○	△※3	○

※3 Proj. 4 の epsg 設定の修正が必要になります。

Mapfile の "wms\_srs" に投影法を追加して下さい。